

新たな「将来ビジョン」策定に向けた  
市民意識調査報告書

令和5年3月

蕨市



# 目 次

第1章	はじめに.....	1
(1)	調査の目的.....	1
(2)	実施方法.....	1
(3)	有効回答数.....	1
(4)	報告書をご覧いただく際の注意事項.....	1
第2章	調査結果.....	2
(1)	【まちへの愛着】.....	2
(2)	【永住意識】.....	7
(3)	【将来のまち】.....	14
(4)	【まちづくり】.....	27
(5)	【重点施策】.....	64
(6)	【属性】.....	73



## 第1章 はじめに

### (1) 調査の目的

この調査は、令和6年度からスタートする新たな「将来ビジョン」の策定に当たり、市の取組に対する市民の意識等を把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的として実施しました。

### (2) 実施方法

この調査は、蕨市在住の市民3,000人を無作為抽出し、行政連絡員により調査票を配布しました。なお、回答方法は、郵送による調査票の返送またはウェブアンケートへの記入の選択制としました。

調査対象	蕨市在住の満18歳以上の市民3,000名 (住民基本台帳から各地区の年齢層別の人口比率に基づき男女別に無作為抽出)
調査方法	行政連絡員による調査票の配布、郵送またはウェブ上での回収 ※調査票は無記名で回答
調査期間	令和4年7月26日～令和4年9月2日

### (3) 有効回答数

本調査に対する有効回答数は次の通りです。

有効回答数	1,374票/3,000票
有効回答率	45.8%

### (4) 報告書をご覧いただく際の注意事項

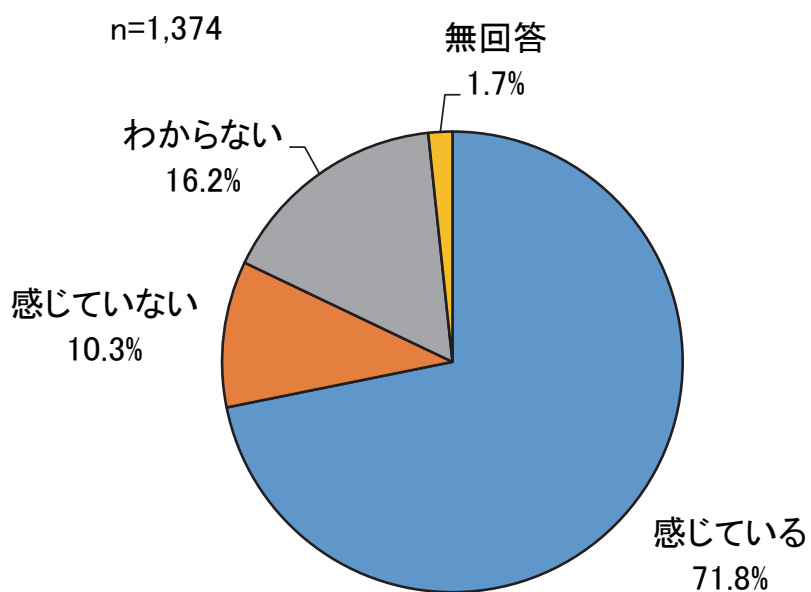
- ・ 図中の「n」(=number)は、設問に対する回答者数を示しています。
- ・ 構成比(%)は、設問に対する回答者数を母数として、小数点以下第2位を四捨五入して算出し、小数点以下第1位までを表示しています。このため、合計が必ずしも100%にならない場合があります。
- ・ 複数回答形式の設問については、設問に対する回答者数を母数として構成比(%)を算出しています。このため、合計が100%を超えることがあります。
- ・ 選択肢の文字数が多いものは、本文やグラフ・表中で省略した表現を用いています。
- ・ 表中、上段は実数を、下段は構成比(%)を示します。

## 第2章 調査結果

## (1) 【まちへの愛着】

問1 あなたは、蕨市に「自分のまち」としての愛着を感じていますか。(○印は1つ)

回答対象者(n=1,374)	集計値(件)	割合(%)	順位
感じている	987	71.8	1
感じていない	141	10.3	3
わからない	223	16.2	2
無回答	23	1.7	-



愛着を「感じている」が71.8%と最も多く、一方、「感じていない」が10.3%、「わからない」は16.2%となっています。

## 【属性別】

		回答対象者	感じている	感じていない	わからない	無回答
回答対象者		1,374	987	141	223	23
		100.0	71.8	10.3	16.2	1.7
年齢	18～19歳	18	12	2	4	-
		100.0	66.7	11.1	22.2	-
	20～29歳	128	78	22	28	-
		100.0	60.9	17.2	21.9	-
	30～39歳	191	119	30	41	1
		100.0	62.3	15.7	21.5	0.5
	40～49歳	206	132	25	49	-
		100.0	64.1	12.1	23.8	-
	50～59歳	239	171	23	39	6
	100.0	71.5	9.6	16.3	2.5	
60～69歳	209	161	17	30	1	
	100.0	77.0	8.1	14.4	0.5	
70～79歳	215	170	16	21	8	
	100.0	79.1	7.4	9.8	3.7	
80歳以上	133	120	1	7	5	
	100.0	90.2	0.8	5.3	3.8	
無回答	35	24	5	4	2	
	100.0	68.6	14.3	11.4	5.7	

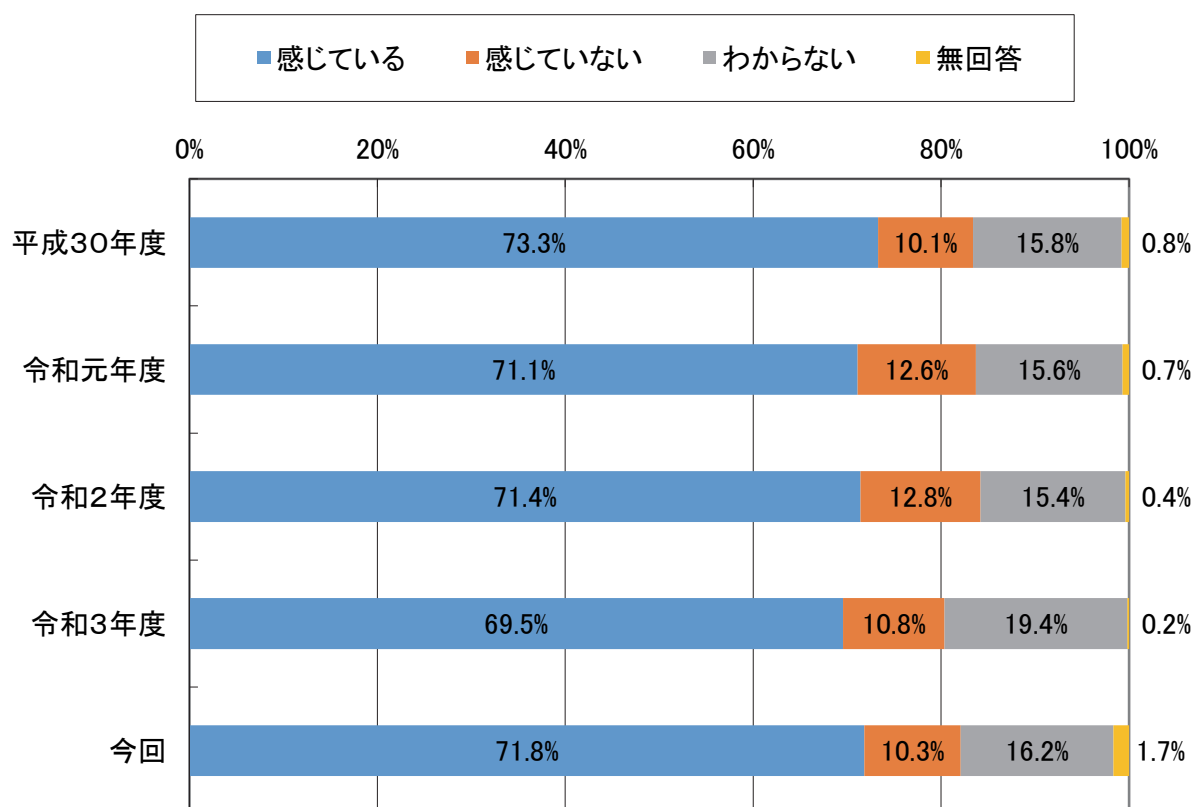
年代別にみると、年代が上がるにつれて「感じている」が多くなっており、10代～40代で6割程度、50代以上では7割以上、80代以上は9割を超えています。

## ●まちへの愛着×居住年数

		回答対象者	感じている	感じていない	わからない	無回答
回答対象者		1,374	987	141	223	23
		100.0	71.8	10.3	16.2	1.7
居住年数	1年未満	38	13	7	18	-
		100.0	34.2	18.4	47.4	-
	1～2年	64	29	18	17	-
		100.0	45.3	28.1	26.6	-
	3～4年	105	52	23	29	1
		100.0	49.5	21.9	27.6	1.0
	5～9年	144	90	16	34	4
		100.0	62.5	11.1	23.6	2.8
	10～19年	230	158	25	44	3
	100.0	68.7	10.9	19.1	1.3	
20～29年	221	171	17	30	3	
	100.0	77.4	7.7	13.6	1.4	
30年以上	535	449	30	46	10	
	100.0	83.9	5.6	8.6	1.9	
無回答	37	25	5	5	2	
	100.0	67.6	13.5	13.5	5.4	

居住年数別にみると、居住年数が長くなるほど「感じている」の割合が高くなる傾向にあります。特に、30年以上で「感じている」が8割を超えています。一方、1年未満では「わからない」が5割程度となっています。

●まちへの愛着（平成30年度からの推移）

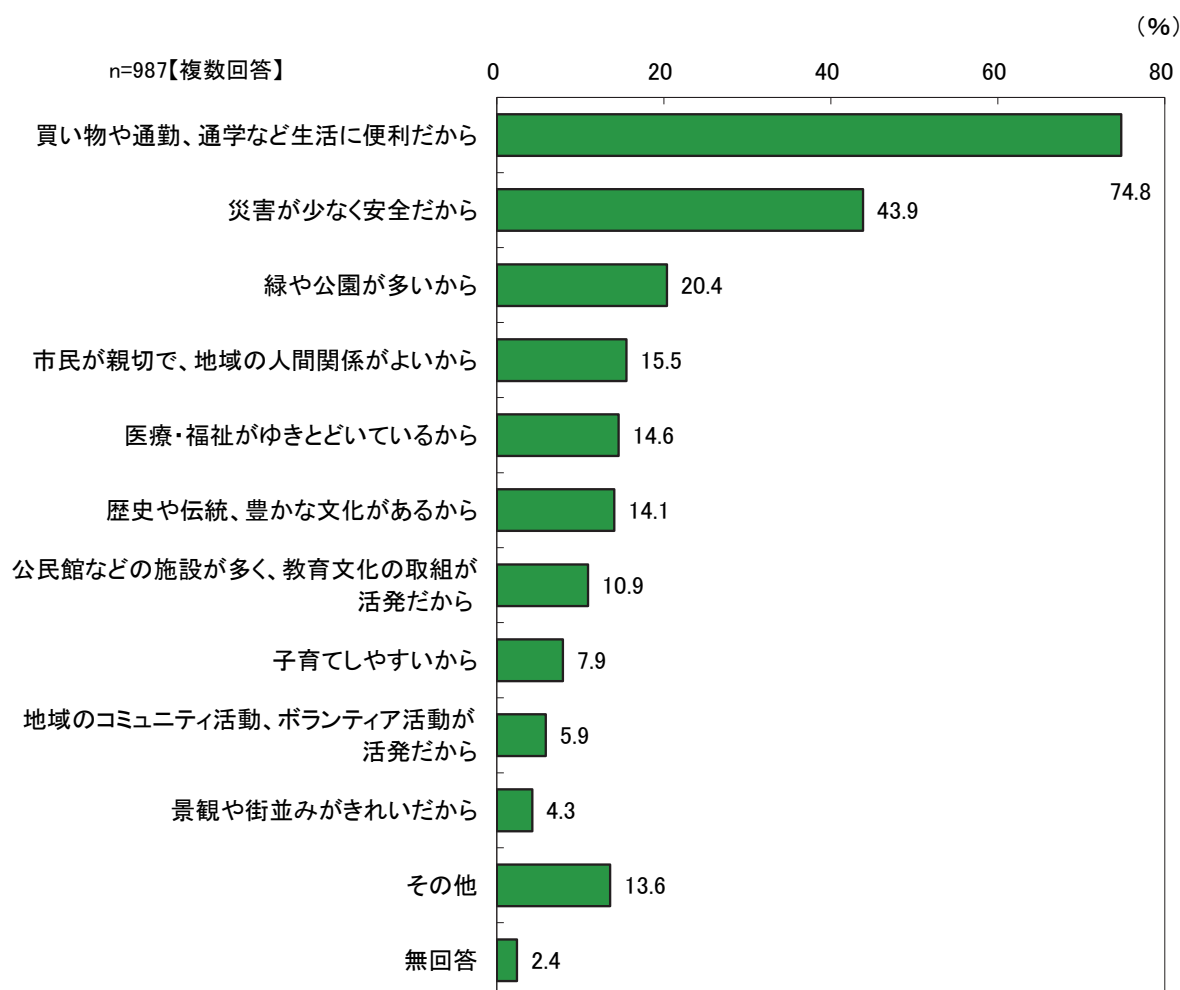




## 【問1で「1. 感じている」と答えた人のみ回答】

問2 愛着を感じている理由は何ですか。(○印は3つ以内)

回答対象者(n=987)	集計値(件)	割合(%)	順位
買い物や通勤、通学など生活に便利だから	738	74.8	1
災害が少なく安全だから	433	43.9	2
緑や公園が多いから	201	20.4	3
市民が親切で、地域の人間関係がよいから	153	15.5	4
医療・福祉がゆきとどいているから	144	14.6	5
歴史や伝統、豊かな文化があるから	139	14.1	6
公民館などの施設が多く、教育文化の取組が活発だから	108	10.9	7
子育てしやすいから	78	7.9	8
地域のコミュニティ活動、ボランティア活動が活発だから	58	5.9	9
景観や街並みがきれいだから	42	4.3	10
その他	134	13.6	-
無回答	24	2.4	-



「買い物や通勤、通学など生活に便利だから」が74.8%で最も多く、次いで「災害が少なく安全だから」(43.9%)、「緑や公園が多いから」(20.4%)、「市民が親切で、地域の人間関係がよいから」(15.5%)と続いています。まちへの愛着を感じている主な理由としては、生活の利便性と災害の少なさが挙げられています。

【属性別】

	回答対象者	災害が少なく安全だから	緑や公園が多いから	買い物や通勤、通学など生活に便利だから	公民館などの施設が多く、教育文化の取組が活発だから	医療・福祉がゆきとどいているから	景観や街並みがきれいだから	子育てしやすいから	歴史や伝統、豊かな文化があるから	地域のコミュニティ活動、ボランティア活動、ポ	市民が親切で、地域の人間関係がよいから	その他	無回答	
回答対象者	987 100.0	433 43.9	201 20.4	738 74.8	108 10.9	144 14.6	42 4.3	78 7.9	139 14.1	58 5.9	153 15.5	134 13.6	24 2.4	
年齢	18～19歳	12 100.0	5 41.7	1 8.3	9 75.0	- -	2 16.7	- -	2 16.7	1 8.3	3 25.0	1 8.3	- -	
	20～29歳	78 100.0	18 23.1	18 23.1	59 75.6	2 2.6	6 7.7	7 9.0	1 1.3	13 16.7	1 1.3	12 15.4	12 15.4	4 5.1
	30～39歳	119 100.0	31 26.1	26 21.8	89 74.8	7 5.9	11 9.2	3 2.5	20 16.8	13 10.9	4 3.4	15 12.6	24 20.2	3 2.5
	40～49歳	132 100.0	36 27.3	23 17.4	110 83.3	13 9.8	13 9.8	8 6.1	22 16.7	10 7.6	3 2.3	24 18.2	22 16.7	2 1.5
	50～59歳	171 100.0	63 36.8	38 22.2	136 79.5	15 8.8	11 6.4	11 6.4	14 8.2	30 17.5	9 5.3	26 15.2	27 15.8	7 4.1
	60～69歳	161 100.0	82 50.9	23 14.3	131 81.4	14 8.7	20 12.4	6 3.7	7 4.3	20 12.4	10 6.2	21 13.0	27 16.8	3 1.9
	70～79歳	170 100.0	119 70.0	38 22.4	117 68.8	33 19.4	45 26.5	4 2.4	9 5.3	31 18.2	10 5.9	20 11.8	11 6.5	1 0.6
	80歳以上	120 100.0	68 56.7	27 22.5	67 55.8	21 17.5	34 28.3	2 1.7	4 3.3	19 15.8	16 13.3	28 23.3	9 7.5	3 2.5
	無回答	24 100.0	11 45.8	7 29.2	20 83.3	3 12.5	2 8.3	1 4.2	1 4.2	1 4.2	4 16.7	4 16.7	1 4.2	1 4.2
	居住地区	錦町	128 100.0	58 45.3	21 16.4	84 65.6	13 10.2	21 16.4	13 10.2	10 7.8	28 21.9	10 7.8	21 16.4	18 14.1
北町		158 100.0	78 49.4	12 7.6	121 76.6	22 13.9	29 18.4	2 1.3	12 7.6	27 17.1	8 5.1	25 15.8	17 10.8	2 1.3
中央		311 100.0	140 45.0	49 15.8	249 80.1	24 7.7	44 14.1	11 3.5	23 7.4	41 13.2	15 4.8	48 15.4	46 14.8	8 2.6
南町		172 100.0	67 39.0	55 32.0	118 68.6	22 12.8	26 15.1	8 4.7	15 8.7	19 11.0	11 6.4	22 12.8	24 14.0	5 2.9
塚越		192 100.0	78 40.6	56 29.2	146 76.0	23 12.0	23 12.0	7 3.6	16 8.3	23 12.0	10 5.2	32 16.7	28 14.6	4 2.1
無回答		26 100.0	12 46.2	8 30.8	20 76.9	4 15.4	1 3.8	1 3.8	2 7.7	1 3.8	4 15.4	5 19.2	1 3.8	1 3.8

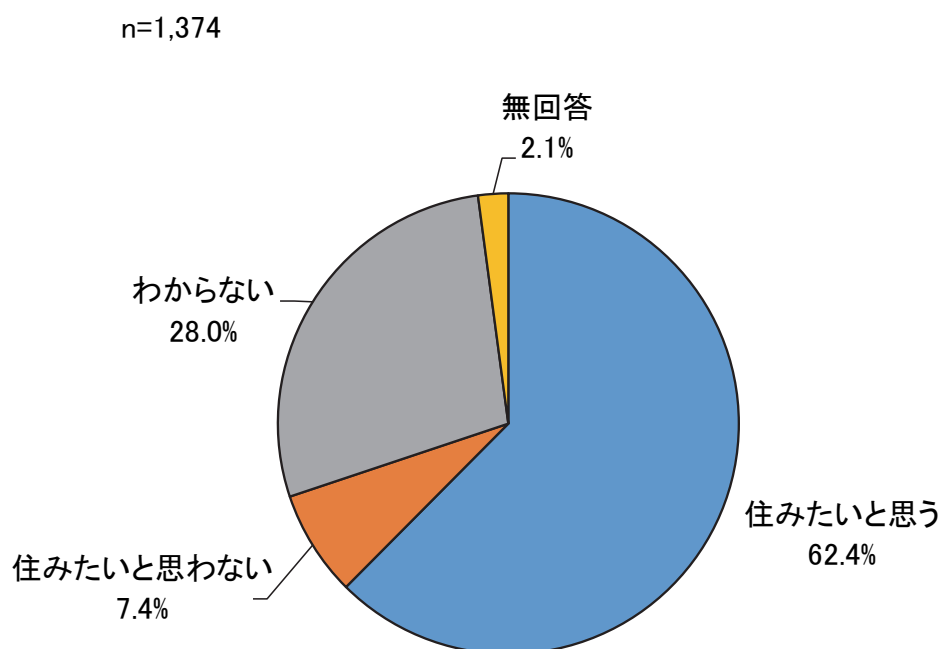
年代別にみると、70代未満では、「買い物や通勤、通学など生活に便利だから」が最も多くなっています。また、「災害が少なく安全だから」が年代が上がるにつれて多くなる傾向にあり、70代では7割となっています。

地区別にみると、中央では「買い物や通勤、通学など生活に便利だから」が8割程度と多く、錦町、南町と比較して10ポイント以上相違があります。また、「緑や公園が多いから」が南町では、32.0%であるのに対し、北町では7.6%と、20ポイント以上の相違がみられます。

## (2) 【永住意識】

問3 あなたは、これからもずっと蕨市に住みたいと思いますか。(○印は1つ)

回答対象者(n=1,374)	集計値(件)	割合(%)	順位
住みたいと思う	858	62.4	1
住みたいと思わない	102	7.4	3
わからない	385	28.0	2
無回答	29	2.1	-



これからも蕨市に「住みたいと思う」が62.4%と最も多く、一方、「住みたいと思わない」は7.4%、「わからない」は28.0%となっています。

【属性別】

		回答対象者	住みたいと思う	住みたいと思わない	わからない	無回答
回答対象者		1,374 100.0	858 62.4	102 7.4	385 28.0	29 2.1
年齢	18～19歳	18 100.0	11 61.1	3 16.7	4 22.2	-
	20～29歳	128 100.0	57 44.5	22 17.2	48 37.5	1 0.8
	30～39歳	191 100.0	95 49.7	27 14.1	67 35.1	2 1.0
	40～49歳	206 100.0	107 51.9	19 9.2	79 38.3	1 0.5
	50～59歳	239 100.0	141 59.0	11 4.6	85 35.6	2 0.8
	60～69歳	209 100.0	141 67.5	9 4.3	53 25.4	6 2.5
	70～79歳	215 100.0	164 76.3	9 4.2	30 14.0	12 5.6
	80歳以上	133 100.0	120 90.2	1 0.8	7 5.3	5 3.8
	無回答	35 100.0	22 62.9	1 2.9	12 34.3	-

年代別にみると、すべての年代で「住みたいと思う」が最も多く、80代以上では9割程度となっています。

●永住意識×居住年数

		回答対象者	住みたいと思う	住みたいと思わない	わからない	無回答
回答対象者		1,374 100.0	858 62.4	102 7.4	385 28.0	29 2.1
居住年数	1年未満	38 100.0	16 42.1	4 10.5	18 47.4	-
	1～2年	64 100.0	30 46.9	15 23.4	19 29.7	-
	3～4年	105 100.0	37 35.2	18 17.1	49 46.7	1 1.0
	5～9年	144 100.0	75 52.1	20 13.9	46 31.9	3 2.1
	10～19年	230 100.0	139 60.4	16 7.0	72 31.3	3 1.3
	20～29年	221 100.0	130 58.8	11 5.0	76 34.4	4 1.8
	30年以上	535 100.0	407 76.1	17 3.2	94 17.6	17 3.2
	無回答	37 100.0	24 64.9	1 2.7	11 29.7	1 2.7

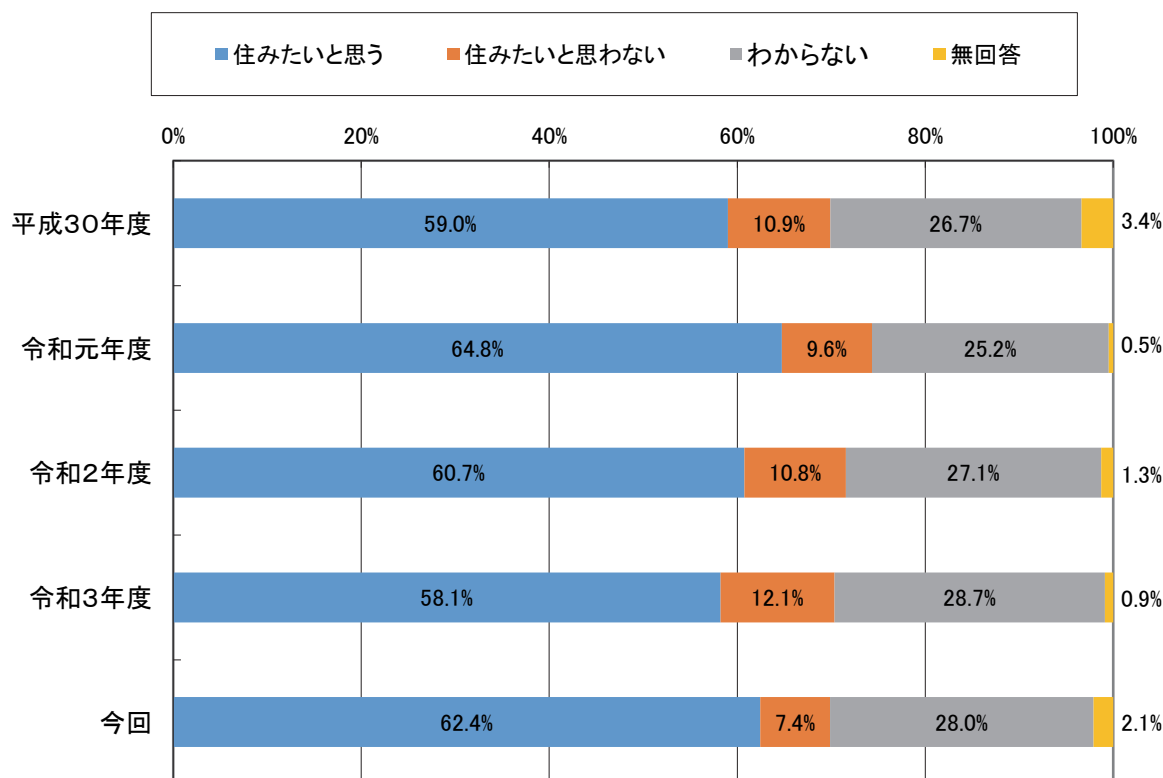
居住年数別にみると「住みたいと思う」は、居住年数が長くなるにつれて多くなる傾向に概ねあり、特に30年以上では7割を超えています。

●まちへの愛着×永住意識

		永住意識				
		回答対象者	住みたいと思う	住みたいと思わない	わからない	無回答
回答対象者		1,374	858	102	385	29
		100.0	62.4	7.4	28.0	2.1
まちへの愛着	感じている	987	749	20	197	21
		100.0	75.9	2.0	20.0	2.1
	感じていない	141	22	64	54	1
		100.0	15.6	45.4	38.3	0.7
	わからない	223	73	18	131	1
		100.0	32.7	8.1	58.7	0.4
	無回答	23	14	-	3	6
		100.0	60.9	-	13.0	26.1

まちへの愛着と永住意識の関係をみると、愛着を「感じている」と答えた人のうち「住みたいと思う」が75%を超えており、「住みたいと思わない」は2%程度にとどまっています。一方、愛着を「感じていない」と答えた人のうち「住みたいと思う」は15.6%となっています。

●永住意識（平成30年度からの推移）

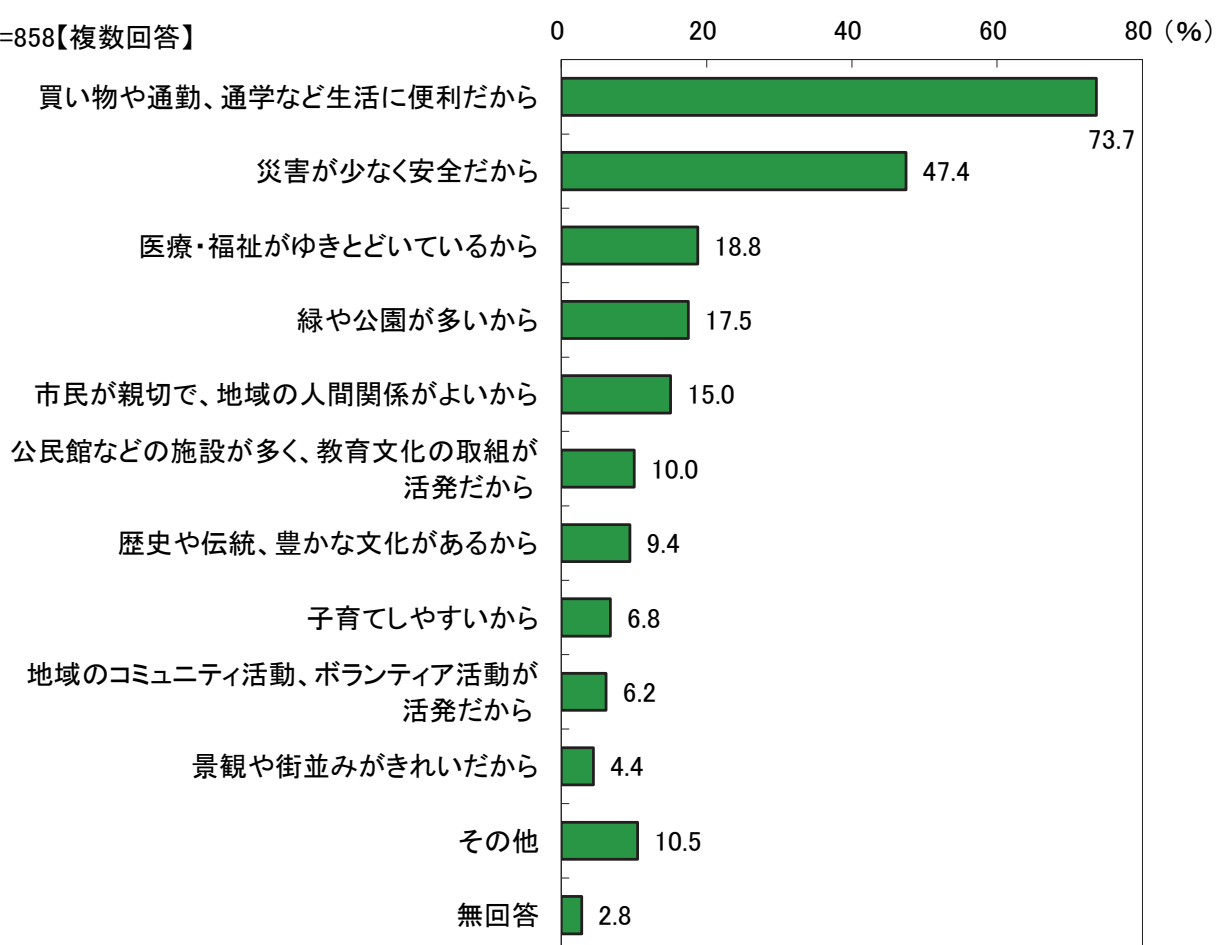


問4 住みたい（住みたくない）と思う理由は何ですか。最も近い理由を下欄からそれぞれお選びください。

（問4—1）「住みたいと思う理由」を教えてください。（○印は3つ以内）

回答対象者 (n=858)	集計値 (件)	割合 (%)	順位
買い物や通勤、通学など生活に便利だから	632	73.7	1
災害が少なく安全だから	407	47.4	2
医療・福祉がゆきとどいているから	161	18.8	3
緑や公園が多いから	150	17.5	4
市民が親切で、地域の人間関係がよいから	129	15.0	5
公民館などの施設が多く、教育文化の取組が活発だから	86	10.0	6
歴史や伝統、豊かな文化があるから	81	9.4	7
子育てしやすいから	58	6.8	8
地域のコミュニティ活動、ボランティア活動が活発だから	53	6.2	9
景観や街並みがきれいだから	38	4.4	10
その他	90	10.5	-
無回答	24	2.8	-

n=858【複数回答】



住みたいと思う理由としては、「買い物や通勤、通学など生活に便利だから」が73.7%、次いで「災害が少なく安全だから」（47.4%）と愛着を感じる理由と同じ項目が挙げられています。このほか、「医療・福祉がゆきとどいているから」（18.8%）、「緑や公園が多いから」（17.5%）、「市民が親切で、地域の人間関係がよいから」（15.0%）と続いています。

【属性別】

	回答対象者	災害が少なく安全だから	緑や公園が多いから	買い物や通勤、通学など生活に便利だから	公民館などの施設が活発だから	医療・福祉がゆきとどいているから	景観や街並みがきれいだから	子育てしやすいから	歴史や伝統、豊かな文化があるから	動、ボランティア活動	地域のコミュニティ活動	人間関係がよいから	市民が親切で、地域の	その他	無回答
回答対象者	858	407	150	632	86	161	38	58	81	53	129	90	24		
	100.0	47.4	17.5	73.7	10.0	18.8	4.4	6.8	9.4	6.2	15.0	10.5	2.8		
年齢	18～19歳	11	5	1	7	2	2	-	1	2	2	1	-	-	
		100.0	45.5	9.1	63.6	18.2	18.2	-	9.1	18.2	18.2	9.1	-	-	
	20～29歳	57	18	15	46	5	2	3	3	1	1	8	6	1	
		100.0	31.6	26.3	80.7	8.8	3.5	5.3	5.3	1.8	1.8	14.0	10.5	1.8	
	30～39歳	95	27	17	81	3	11	1	17	5	2	13	20	1	
		100.0	28.4	17.9	85.3	3.2	11.6	1.1	17.9	5.3	2.1	13.7	21.1	1.1	
	40～49歳	107	26	23	91	9	15	7	17	6	1	19	16	1	
		100.0	24.3	21.5	85.0	8.4	14.0	6.5	15.9	5.6	0.9	17.8	15.0	0.9	
	50～59歳	141	56	27	112	13	17	14	5	18	6	17	18	4	
		100.0	39.7	19.1	79.4	9.2	12.1	9.9	3.5	12.8	4.3	12.1	12.8	2.8	
60～69歳	141	73	19	103	13	25	6	3	14	13	20	13	3		
	100.0	51.8	13.5	73.0	9.2	17.7	4.3	2.1	9.9	9.2	14.2	9.2	2.1		
70～79歳	164	117	27	111	24	52	5	7	22	11	21	8	3		
	100.0	71.3	16.5	67.7	14.6	31.7	3.0	4.3	13.4	6.7	12.8	4.9	1.8		
80歳以上	120	74	18	67	15	34	1	4	12	14	26	9	8		
	100.0	61.7	15.0	55.8	12.5	28.3	0.8	3.3	10.0	11.7	21.7	7.5	6.7		
無回答	22	11	3	14	2	3	1	1	1	3	4	-	3		
	100.0	50.0	13.6	63.6	9.1	13.6	4.5	4.5	4.5	13.6	18.2	-	13.6		
居住地区	錦町	119	50	17	86	9	24	9	13	13	9	19	12	4	
		100.0	42.0	14.3	72.3	7.6	20.2	7.6	10.9	10.9	7.6	16.0	10.1	3.4	
	北町	134	70	7	99	18	34	3	6	19	7	20	15	2	
		100.0	52.2	5.2	73.9	13.4	25.4	2.2	4.5	14.2	5.2	14.9	11.2	1.5	
	中央	256	125	33	197	23	51	7	12	22	18	36	31	6	
		100.0	48.8	12.9	77.0	9.0	19.9	2.7	4.7	8.6	7.0	14.1	12.1	2.3	
	南町	164	68	43	116	17	26	12	11	12	6	23	18	4	
	100.0	41.5	26.2	70.7	10.4	15.9	7.3	6.7	7.3	3.7	14.0	11.0	2.4		
塚越	161	82	47	120	17	23	6	15	13	10	27	14	4		
	100.0	50.9	29.2	74.5	10.6	14.3	3.7	9.3	8.1	6.2	16.8	8.7	2.5		
無回答	24	12	3	14	2	3	1	1	2	3	4	-	4		
	100.0	50.0	12.5	58.3	8.3	12.5	4.2	4.2	8.3	12.5	16.7	-	16.7		

年代別にみると、70代未満では、「買い物や通勤・通学など生活に便利だから」が最も多く、20代～40代では8割以上となっていますが、70代以上では「災害が少なく安全だから」が最も多くなっています。また、「医療・福祉がゆきとどいているから」が70代以上では3割程度となっており、他の年代と比べて高くなっています。

地区別にみると、北町では「医療・福祉がゆきとどいているから」が25.4%と、他の地区と比べて5ポイント以上高くなっています。

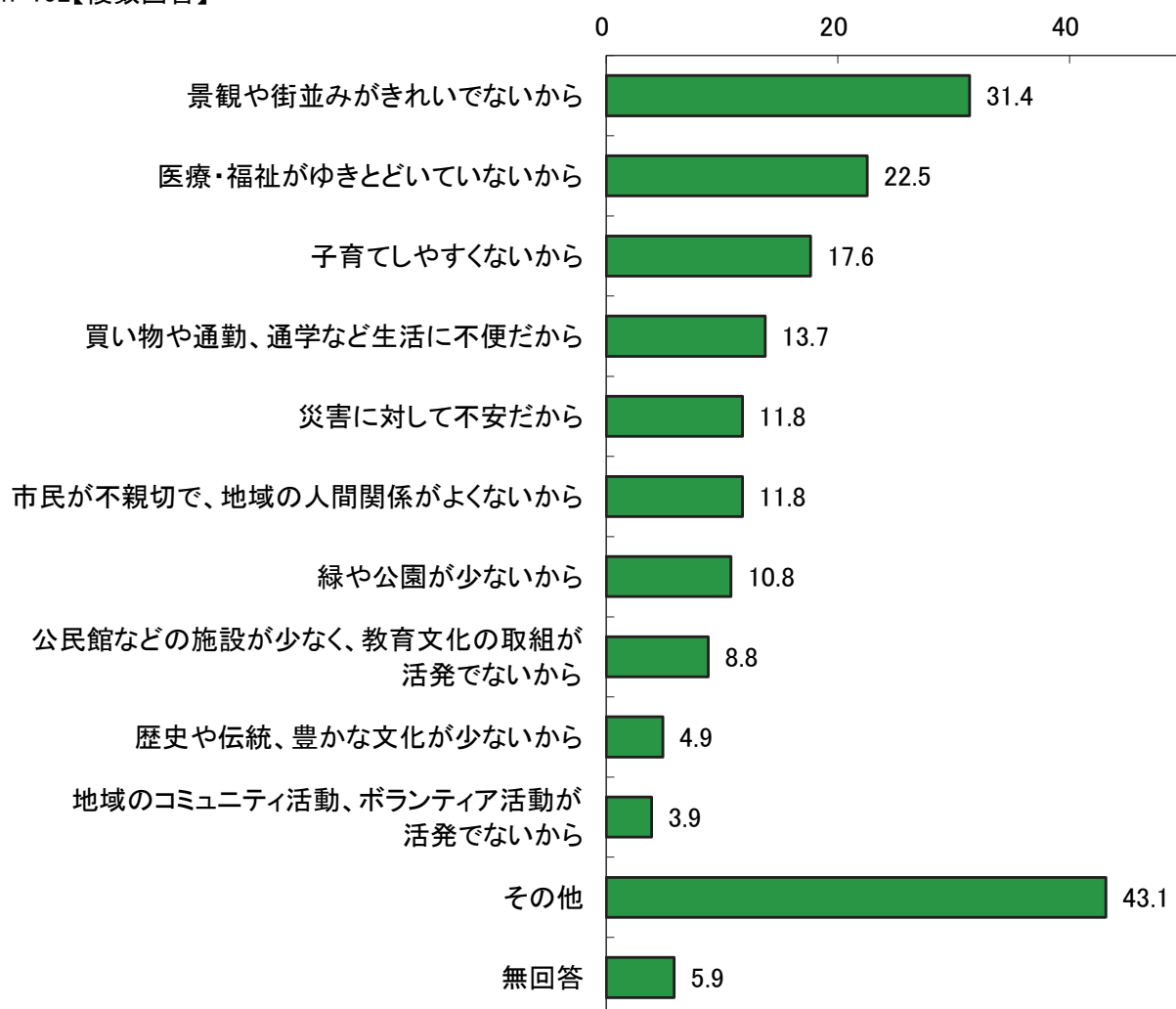
(問4—2)「住みたいと思わない理由」を教えてください。(○印は3つ以内)

回答対象者(n=102)	集計値(件)	割合(%)	順位
景観や街並みがきれいでないから	32	31.4	1
医療・福祉がゆきとどいていないから	23	22.5	2
子育てしやすすくないから	18	17.6	3
買い物や通勤、通学など生活に不便だから	14	13.7	4
災害に対して不安だから	12	11.8	5
市民が不親切で、地域の人間関係がよくないから	12	11.8	5
緑や公園が少ないから	11	10.8	7
公民館などの施設が少なく、教育文化の取組が活発でないから	9	8.8	8
歴史や伝統、豊かな文化が少ないから	5	4.9	9
地域のコミュニティ活動、ボランティア活動が活発でないから	4	3.9	10
その他	44	43.1	-
無回答	6	5.9	-



n=102【複数回答】

(%)



住みたいと思わない理由としては、「景観や街並みがきれいでないから」が31.4%と最も多く、次いで「医療・福祉がゆきとどいていないから」(22.5%)、「子育てしにくいから」(17.6%)と続いています。

※回答母数(102件)が少ないためクロス集計は行っていません。

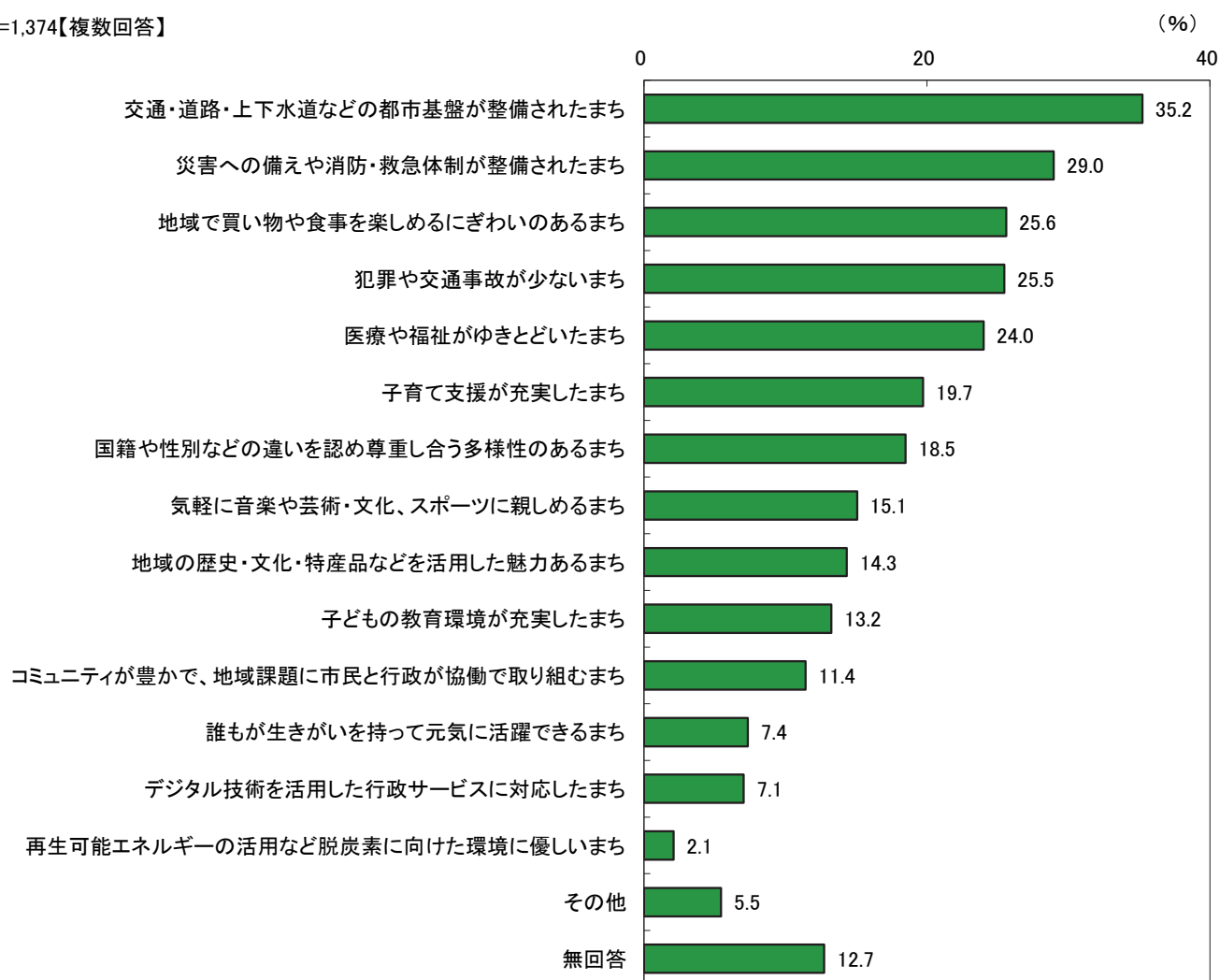
## (3) 【将来のまち】

問5 これまでの蕨市のまちづくりや、将来のまちづくりに向けて、あなたの考えをおたずねします。

(問5-1) あなたが、10年前の蕨市と比較して充実してきたと思うまちづくりの分野を下の1から15の中から5つ以内で選んでください。※居住歴が10年未満の方は、住み始めた時点との比較でお答えください。

回答対象者(n=1,374)	集計値(件)	割合(%)	順位
交通・道路・上下水道などの都市基盤が整備されたまち	484	35.2	1
災害への備えや消防・救急体制が整備されたまち	398	29.0	2
地域で買い物や食事を楽しめるにぎわいのあるまち	352	25.6	3
犯罪や交通事故が少ないまち	350	25.5	4
医療や福祉がゆきとどいたまち	330	24.0	5
子育て支援が充実したまち	271	19.7	6
国籍や性別などの違いを認め尊重し合う多様性のあるまち	254	18.5	7
気軽に音楽や芸術・文化、スポーツに親しめるまち	207	15.1	8
地域の歴史・文化・特産品などを活用した魅力あるまち	197	14.3	9
子どもの教育環境が充実したまち	182	13.2	10
コミュニティが豊かで、地域課題に市民と行政が協働で取り組むまち	157	11.4	11
誰もが生きがいを持って元気に活躍できるまち	101	7.4	12
デジタル技術を活用した行政サービスに対応したまち	97	7.1	13
再生可能エネルギーの活用など脱炭素に向けた環境に優しいまち	29	2.1	14
その他	75	5.5	-
無回答	175	12.7	-

n=1,374【複数回答】



10年前の蕨市と比較して充実してきたと思うまちづくりの分野については、「交通・道路・上下水道などの都市基盤が整備されたまち」が35.2%と最も多くなっています。次いで「災害への備えや消防・救急体制が整備されたまち」が29.0%、「地域で買い物や食事を楽しめるにぎわいのあるまち」「犯罪や交通事故が少ないまち」が25%程度となっています。

【属性別】

		回答対象者	災害への備えや消防・救急体制が整備されたまち	犯罪や交通事故が少ないまち	子育て支援が充実したまち	子どもの教育環境が充実したまち	誰もが生きがいを持って元気に活躍できるまち	医療や福祉がゆきとどいたまち	地域で買い物や食事を楽しめるにぎわいのあるまち	地域の歴史・文化・特産品などを活用した魅力あるまち	気軽に音楽や芸術・文化、スポーツに親しめるまち	再生可能エネルギーの活用など脱炭素に向けた環境に優しいまち	交通・道路・上下水道などの都市基盤が整備されたまち	コミュニティが豊かで、地域課題に市民と行政が協働で取り組むまち
回答対象者		1,374	398	350	271	182	101	330	352	197	207	29	484	157
		100.0	29.0	25.5	19.7	13.2	7.4	24.0	25.6	14.3	15.1	2.1	35.2	11.4
年齢	18～19歳	18	6	3	4	2	3	3	4	6	2	-	3	2
		100.0	33.3	16.7	22.2	11.1	16.7	16.7	22.2	33.3	11.1	-	16.7	11.1
	20～29歳	128	23	19	15	17	5	19	43	11	13	-	34	9
		100.0	18.0	14.8	11.7	13.3	3.9	14.8	33.6	8.6	10.2	-	26.6	7.0
	30～39歳	191	29	32	38	33	14	28	73	23	24	5	44	13
		100.0	15.2	16.8	19.9	17.3	7.3	14.7	38.2	12.0	12.6	2.6	23.0	6.8
	40～49歳	206	37	37	51	33	10	33	47	34	29	3	68	20
		100.0	18.0	18.0	24.8	16.0	4.9	16.0	22.8	16.5	14.1	1.5	33.0	9.7
	50～59歳	239	54	49	56	28	7	54	57	34	38	5	85	25
		100.0	22.6	20.5	23.4	11.7	2.9	22.6	23.8	14.2	15.9	2.1	35.6	10.5
60～69歳	209	77	61	40	24	18	55	54	33	34	7	92	27	
	100.0	36.8	29.2	19.1	11.5	8.6	26.3	25.8	15.8	16.3	3.3	44.0	12.9	
70～79歳	215	99	84	39	29	27	78	30	37	41	3	84	30	
	100.0	46.0	39.1	18.1	13.5	12.6	36.3	14.0	17.2	19.1	1.4	39.1	14.0	
80歳以上	133	58	51	21	12	17	47	38	15	22	4	59	27	
	100.0	43.6	38.3	15.8	9.0	12.8	35.3	28.6	11.3	16.5	3.0	44.4	20.3	
無回答	35	15	14	7	4	-	13	6	4	4	2	15	4	
	100.0	42.9	40.0	20.0	11.4	-	37.1	17.1	11.4	11.4	5.7	42.9	11.4	
居住地区	錦町	199	46	48	37	30	13	52	60	33	31	4	76	15
		100.0	23.1	24.1	18.6	15.1	6.5	26.1	30.2	16.6	15.6	2.0	38.2	7.5
	北町	221	76	67	46	26	11	49	58	26	35	3	87	30
		100.0	34.4	30.3	20.8	11.8	5.0	22.2	26.2	11.8	15.8	1.4	39.4	13.6
	中央	409	110	104	77	43	27	90	96	63	57	13	139	42
		100.0	26.9	25.4	18.8	10.5	6.6	22.0	23.5	15.4	13.9	3.2	34.0	10.3
	南町	239	73	58	47	41	28	76	66	36	37	5	86	32
		100.0	30.5	24.3	19.7	17.2	11.7	31.8	27.6	15.1	15.5	2.1	36.0	13.4
	塚越	266	79	58	57	38	21	51	66	36	42	2	80	33
		100.0	29.7	21.8	21.4	14.3	7.9	19.2	24.8	13.5	15.8	0.8	30.1	12.4
無回答	40	14	15	7	4	1	12	6	3	5	2	16	5	
	100.0	35.0	37.5	17.5	10.0	2.5	30.0	15.0	7.5	12.5	5.0	40.0	12.5	

	国籍や性別などの違いを認め尊重し合う多様なまち	デジタル技術を活用した行政サービスに対応したまち	その他	無回答	
回答対象者	254 18.5	97 7.1	75 5.5	175 12.7	
年齢	18～19歳	4 22.2	3 16.7	1 5.6	2 11.1
	20～29歳	28 21.9	10 7.8	10 7.8	15 11.7
	30～39歳	51 26.7	18 9.4	10 5.2	16 8.4
	40～49歳	39 18.9	20 9.7	24 11.7	20 9.7
	50～59歳	40 16.7	13 5.4	17 7.1	24 10.0
	60～69歳	35 16.7	14 6.7	9 4.3	24 11.5
	70～79歳	35 16.3	15 7.0	2 0.9	44 20.5
	80歳以上	17 12.8	2 1.5	2 1.5	22 16.5
	無回答	5 14.3	2 5.7	-	8 22.9
	居住地区	錦町	29 14.6	14 7.0	11 5.5
北町		45 20.4	15 6.8	11 5.0	29 13.1
中央		70 17.1	27 6.6	27 6.6	46 11.2
南町		47 19.7	20 8.4	12 5.0	27 11.3
塚越		57 21.4	19 7.1	14 5.3	41 15.4
無回答		6 15.0	2 5.0	-	10 25.0

年代別にみると、20代～30代では「地域で買い物や食事を楽しめるにぎわいのあるまち」が最も多く、40代以上では、「交通・道路・上下水道などの都市基盤が整備されたまち」が多くなっています。

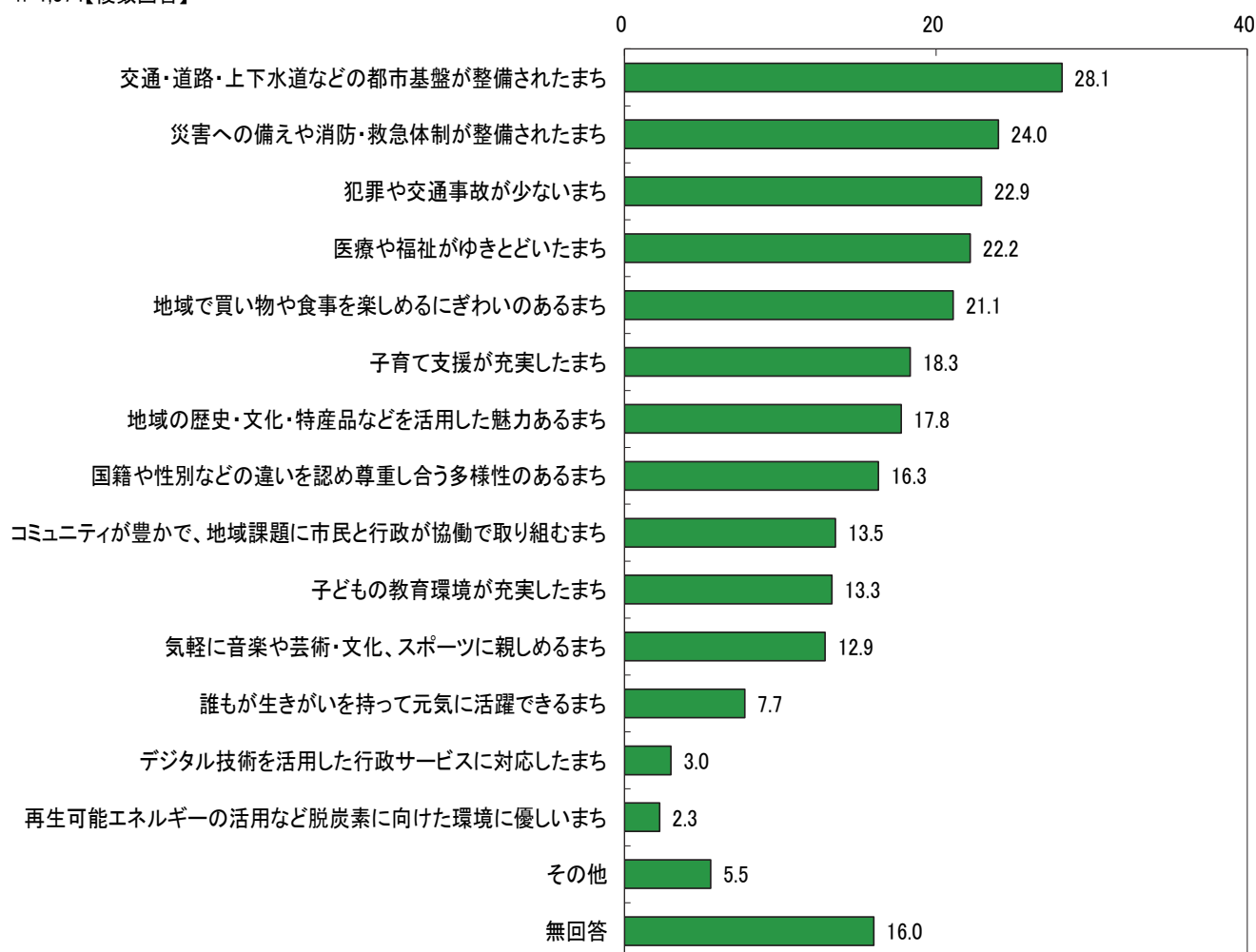
地区別にみると、すべての地区で「交通・道路・上下水道などの都市基盤が整備されたまち」が最も多く、3割を超えています。北町では「災害への備えや消防・救急体制が整備されたまち」(34.4%)、「犯罪や交通事故が少ないまち」(30.3%)が、錦町では「地域で買い物や食事を楽しめるにぎわいのあるまち」(30.2%)、南町では「医療や福祉がゆきとどいたまち」(31.8%)が、他の地区より比較的多くなっています。

(問5-2) あなたが、現在の蕨市の強みだと思えるまちづくりの分野を下の1から15の中から5つ以内で選んでください。

回答対象者(n=1,374)	集計値(件)	割合(%)	順位
交通・道路・上下水道などの都市基盤が整備されたまち	386	28.1	1
災害への備えや消防・救急体制が整備されたまち	330	24.0	2
犯罪や交通事故が少ないまち	315	22.9	3
医療や福祉がゆきとどいたまち	305	22.2	4
地域で買い物や食事を楽しめるにぎわいのあるまち	290	21.1	5
子育て支援が充実したまち	252	18.3	6
地域の歴史・文化・特産品などを活用した魅力あるまち	244	17.8	7
国籍や性別などの違いを認め尊重し合う多様性のあるまち	224	16.3	8
コミュニティが豊かで、地域課題に市民と行政が協働で取り組むまち	186	13.5	9
子どもの教育環境が充実したまち	183	13.3	10
気軽に音楽や芸術・文化、スポーツに親しめるまち	177	12.9	11
誰もが生きがいを持って元気に活躍できるまち	106	7.7	12
デジタル技術を活用した行政サービスに対応したまち	41	3.0	13
再生可能エネルギーの活用など脱炭素に向けた環境に優しいまち	31	2.3	14
その他	76	5.5	-
無回答	220	16.0	-

n=1,374【複数回答】

(%)



現在の蕨市の強みだと思えるまちづくりの分野については、「交通・道路・上下水道などの都市基盤が整備されたまち」が28.1%と最も多くなっています。次いで「災害への備えや消防・救急体制が整備されたまち」が24.0%、「犯罪や交通事故が少ないまち」「医療や福祉がゆきとどいたまち」「地域で買い物や食事を楽しめるにぎわいのあるまち」が2割程度となっています。

【属性別】

	回答対象者	災害への備えや消防・救急体制が整備されたまち	犯罪や交通事故が少ないまち	子育て支援が充実したまち	子どもの教育環境が充実したまち	誰もが生きがいを持って元気に活躍できるまち	医療や福祉がゆきとどいたまち	地域で買い物や食事を楽しめるにぎわいのあるまち	地域の歴史・文化・特産品などを活用した魅力あるまち	気軽に音楽や芸術・文化、スポーツに親しめるまち	再生可能エネルギーの活用など脱炭素に向けた環境に優しいまち	交通・道路・上下水道などの都市基盤が整備されたまち	コミュニティが豊かで、地域課題に市民と行政が協働で取り組みまち	
回答対象者	1,374 100.0	330 24.0	315 22.9	252 18.3	183 13.3	106 7.7	305 22.2	290 21.1	244 17.8	177 12.9	31 2.3	386 28.1	186 13.5	
年齢	18～19歳	18 100.0	4 22.2	3 16.7	3 16.7	4 22.2	- -	6 33.3	2 11.1	4 22.2	1 5.6	1 5.6	4 22.2	2 11.1
	20～29歳	128 100.0	15 11.7	17 13.3	20 15.6	19 14.8	6 4.7	15 11.7	38 29.7	21 16.4	16 12.5	2 1.6	34 26.6	10 7.8
	30～39歳	191 100.0	20 10.5	21 11.0	34 17.8	30 15.7	6 3.1	29 15.2	55 28.8	36 18.8	21 11.0	4 2.1	43 22.5	17 8.9
	40～49歳	206 100.0	29 14.1	28 13.6	45 21.8	27 13.1	12 5.8	38 18.4	38 18.4	45 21.8	23 11.2	2 1.0	38 18.4	20 9.7
	50～59歳	239 100.0	42 17.6	44 18.4	43 18.0	27 11.3	11 4.6	44 18.4	51 21.3	41 17.2	24 10.0	3 1.3	67 28.0	31 13.0
	60～69歳	209 100.0	67 32.1	59 28.2	38 18.2	23 11.0	14 6.7	54 25.8	40 19.1	39 18.7	31 14.8	5 2.4	77 36.8	34 16.3
	70～79歳	215 100.0	87 40.5	92 42.8	41 19.1	36 16.7	33 15.3	73 34.0	31 14.4	42 19.5	41 19.1	5 2.3	67 31.2	34 15.8
	80歳以上	133 100.0	57 42.9	43 32.3	25 18.8	13 9.8	21 15.8	40 30.1	29 21.8	13 9.8	18 13.5	6 4.5	47 35.3	33 24.8
	無回答	35 100.0	9 25.7	8 22.9	3 8.6	4 11.4	3 8.6	6 17.1	6 17.1	3 8.6	2 5.7	3 8.6	9 25.7	5 14.3
居住地区	錦町	199 100.0	39 19.6	40 20.1	27 13.6	19 9.5	14 7.0	39 19.6	44 22.1	40 20.1	33 16.6	8 4.0	57 28.6	29 14.6
	北町	221 100.0	62 28.1	55 24.9	45 20.4	29 13.1	16 7.2	56 25.3	42 19.0	48 21.7	28 12.7	2 0.9	65 29.4	32 14.5
	中央	409 100.0	95 23.2	94 23.0	69 16.9	54 13.2	35 8.6	93 22.7	89 21.8	63 15.4	44 10.8	9 2.2	119 29.1	44 10.8
	南町	239 100.0	64 26.8	60 25.1	52 21.8	39 16.3	19 7.9	63 26.4	51 21.3	43 18.0	34 14.2	6 2.5	60 25.1	40 16.7
	塚越	266 100.0	60 22.6	56 21.1	56 21.1	38 14.3	19 7.1	48 18.0	57 21.4	47 17.7	35 13.2	3 1.1	76 28.6	36 13.5
	無回答	40 100.0	10 25.0	10 25.0	3 7.5	4 10.0	3 7.5	6 15.0	7 17.5	3 7.5	3 7.5	3 7.5	9 22.5	5 12.5



		国籍や多様な性別などのあるまち	デジタル技術を活用した行政サービスに対応したまち	その他	無回答
回答対象者		224 16.3	41 3.0	76 5.5	220 16.0
年齢	18～19歳	7	-	1	4
		38.9	-	5.6	22.2
	20～29歳	23	5	6	13
		18.0	3.9	4.7	10.2
	30～39歳	51	5	9	23
		26.7	2.6	4.7	12.0
	40～49歳	34	8	24	34
		16.5	3.9	11.7	16.5
	50～59歳	32	4	22	33
		13.4	1.7	9.2	13.8
60～69歳	32	10	10	34	
	15.3	4.8	4.8	16.3	
70～79歳	27	4	4	41	
	12.6	1.9	1.9	19.1	
80歳以上	12	4	-	26	
	9.0	3.0	-	19.5	
無回答	6	1	-	12	
	17.1	2.9	-	34.3	
居住地区	錦町	28	5	12	29
		14.1	2.5	6.0	14.6
	北町	42	8	8	34
		19.0	3.6	3.6	15.4
	中央	57	8	27	59
		13.9	2.0	6.6	14.4
	南町	39	8	15	36
		16.3	3.3	6.3	15.1
	塚越	52	11	14	47
		19.5	4.1	5.3	17.7
無回答	6	1	-	15	
	15.0	2.5	-	37.5	

年代別にみると、20代～30代では「地域で買い物や食事を楽しめるにぎわいのあるまち」、40代では「子育て支援が充実したまち」「地域の歴史・文化・特産品などを活用した魅力あるまち」、50代～60代では「交通・道路・上下水道などの都市基盤が整備されたまち」、70代では「犯罪や交通事故が少ないまち」、80代以上では「災害への備えや消防・救急体制が整備されたまち」が最も多くなっています。

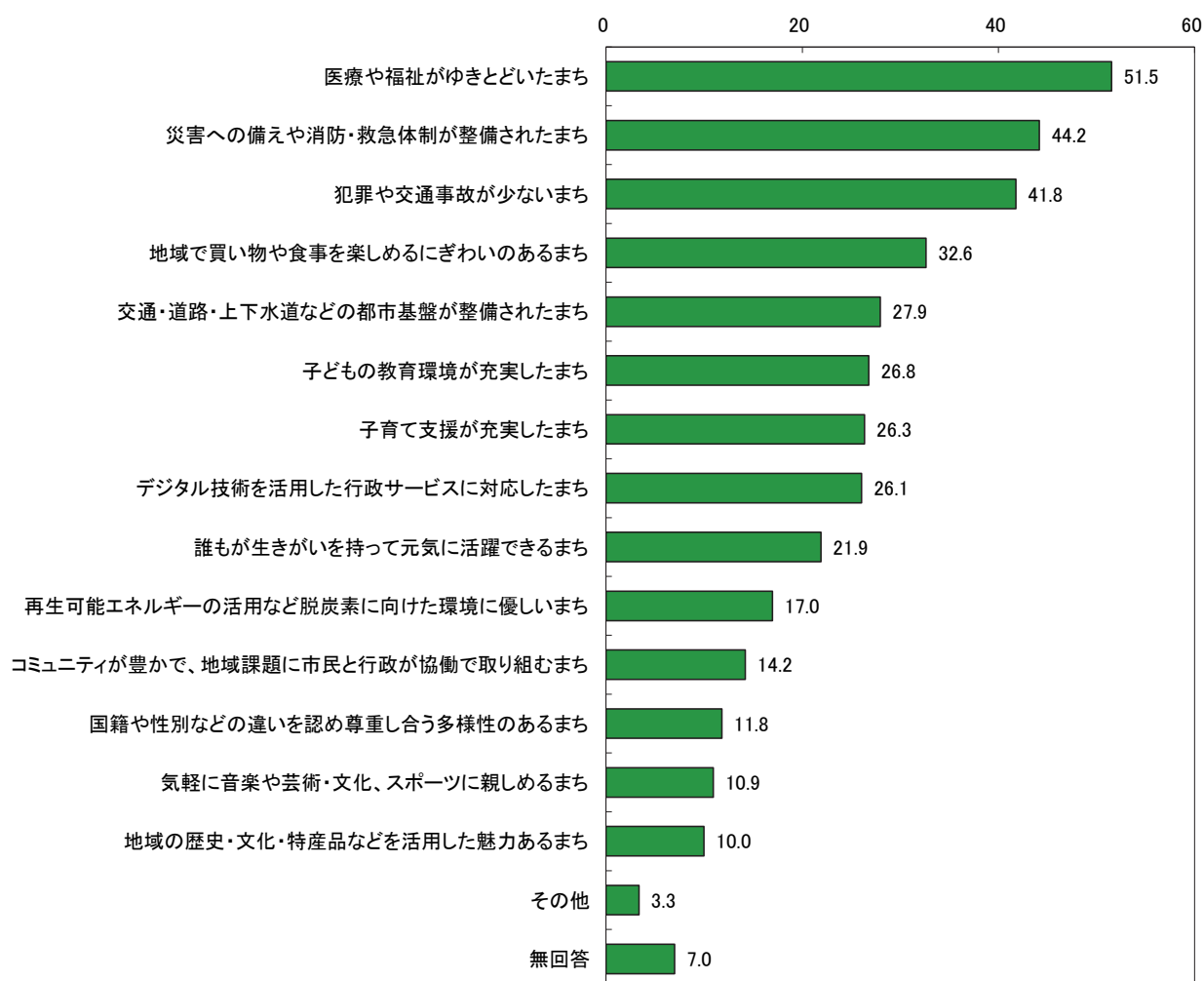
地区別にみると、南町では「災害への備えや消防・救急体制が整備されたまち」が、他の地区では「交通・道路・上下水道などの都市基盤が整備されたまち」が最も多くなっています。

(問5-3) あなたが、今後10年間で蕨市が特に力を入れるべきだと思うまちづくりの分野を下の1から15の中から5つ以内で選んでください。

回答対象者(n=1,374)	集計値(件)	割合(%)	順位
医療や福祉がゆきとどいたまち	708	51.5	1
災害への備えや消防・救急体制が整備されたまち	607	44.2	2
犯罪や交通事故が少ないまち	574	41.8	3
地域で買い物や食事を楽しめるにぎわいのあるまち	448	32.6	4
交通・道路・上下水道などの都市基盤が整備されたまち	384	27.9	5
子どもの教育環境が充実したまち	368	26.8	6
子育て支援が充実したまち	362	26.3	7
デジタル技術を活用した行政サービスに対応したまち	358	26.1	8
誰もが生きがいを持って元気に活躍できるまち	301	21.9	9
再生可能エネルギーの活用など脱炭素に向けた環境に優しいまち	233	17.0	10
コミュニティが豊かで、地域課題に市民と行政が協働で取り組むまち	195	14.2	11
国籍や性別などの違いを認め尊重し合う多様性のあるまち	162	11.8	12
気軽に音楽や芸術・文化、スポーツに親しめるまち	150	10.9	13
地域の歴史・文化・特産品などを活用した魅力あるまち	137	10.0	14
その他	46	3.3	-
無回答	96	7.0	-

n=1,374【複数回答】

(%)



今後 10 年間で蕨市が特に力を入れるべきだと思うまちづくりの分野については、「医療や福祉がゆきとどいたまち」が 51.5%と最も多くなっています。次いで「災害への備えや消防・救急体制が整備されたまち」「犯罪や交通事故が少ないまち」が 4 割程度と続いています。

【属性別】

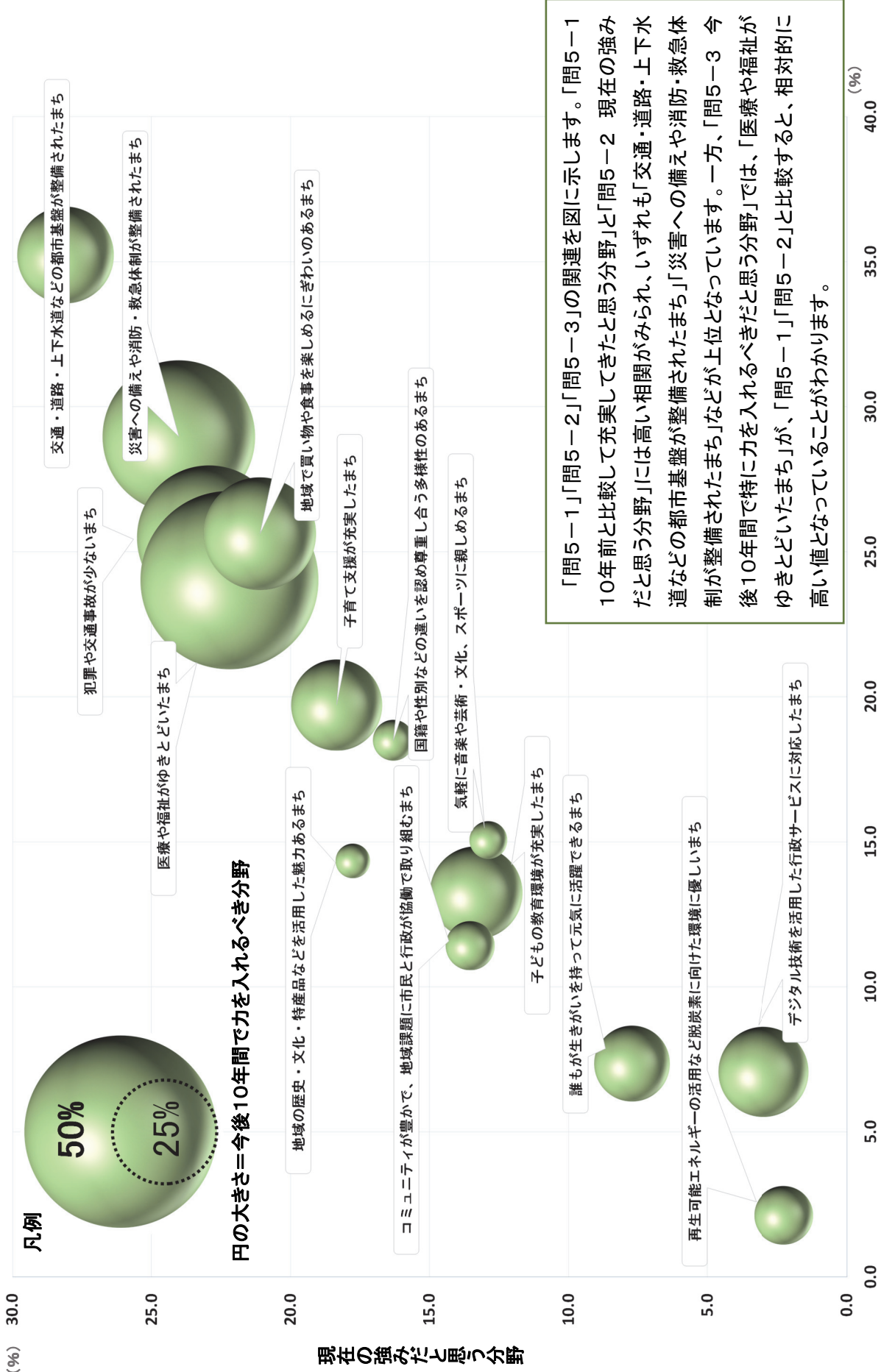
	回答対象者	災害への備えや消防・救急体制が整備されたまち	犯罪や交通事故が少ないまち	子育て支援が充実したまち	子どもの教育環境が充実したまち	誰もが生きがいを持って元気に活躍できるまち	医療や福祉がゆきとどいたまち	地域で買い物や食事を楽しめるにぎわいのあるまち	地域の歴史・文化・特産品などを活用した魅力あるまち	気軽に音楽や芸術・文化、スポーツに親しめるまち	再生可能エネルギーの活用など脱炭素に向けた環境に優しいまち	交通・道路・上下水道などの都市基盤が整備されたまち	コミュニティが豊かで、地域課題に市民と行政が協働で取り組むまち	
回答対象者	1,374 100.0	607 44.2	574 41.8	362 26.3	368 26.8	301 21.9	708 51.5	448 32.6	137 10.0	150 10.9	233 17.0	384 27.9	195 14.2	
年齢	18～19歳	18 100.0	7 38.9	8 44.4	2 11.1	3 16.7	2 11.1	5 27.8	4 22.2	- -	3 16.7	4 22.2	4 22.2	1 5.6
	20～29歳	128 100.0	46 35.9	53 41.4	53 41.4	48 37.5	14 10.9	53 41.4	40 31.3	12 9.4	12 9.4	13 10.2	38 29.7	15 11.7
	30～39歳	191 100.0	67 35.1	80 41.9	85 44.5	77 40.3	21 11.0	75 39.3	57 29.8	15 7.9	17 8.9	19 9.9	49 25.7	20 10.5
	40～49歳	206 100.0	99 48.1	108 52.4	53 25.7	67 32.5	28 13.6	116 56.3	75 36.4	18 8.7	18 8.7	30 14.6	61 29.6	28 13.6
	50～59歳	239 100.0	124 51.9	93 38.9	48 20.1	49 20.5	48 20.1	143 59.8	76 31.8	29 12.1	29 12.1	48 20.1	76 31.8	34 14.2
	60～69歳	209 100.0	100 47.8	87 41.6	44 21.1	46 22.0	51 24.4	112 53.6	65 31.1	24 11.5	31 14.8	45 21.5	57 27.3	32 15.3
	70～79歳	215 100.0	97 45.1	81 37.7	44 20.5	51 23.7	84 39.1	122 56.7	78 36.3	21 9.8	26 12.1	50 23.3	59 27.4	41 19.1
	80歳以上	133 100.0	56 42.1	52 39.1	26 19.5	23 17.3	45 33.8	68 51.1	41 30.8	15 11.3	13 9.8	21 15.8	35 26.3	20 15.0
	無回答	35 100.0	11 31.4	12 34.3	7 20.0	4 11.4	8 22.9	14 40.0	12 34.3	3 8.6	1 2.9	3 8.6	5 14.3	4 11.4
居住地区	錦町	199 100.0	88 44.2	71 35.7	58 29.1	55 27.6	41 20.6	98 49.2	63 31.7	25 12.6	26 13.1	26 13.1	66 33.2	29 14.6
	北町	221 100.0	94 42.5	92 41.6	60 27.1	64 29.0	44 19.9	117 52.9	91 41.2	23 10.4	18 8.1	40 18.1	65 29.4	39 17.6
	中央	409 100.0	186 45.5	184 45.0	97 23.7	99 24.2	88 21.5	217 53.1	151 36.9	39 9.5	43 10.5	67 16.4	103 25.2	50 12.2
	南町	239 100.0	108 45.2	96 40.2	57 23.8	63 26.4	62 25.9	118 49.4	74 31.0	25 10.5	33 13.8	47 19.7	74 31.0	43 18.0
	塚越	266 100.0	117 44.0	117 44.0	81 30.5	81 30.5	55 20.7	140 52.6	53 19.9	22 8.3	29 10.9	49 18.4	71 26.7	30 11.3
	無回答	40 100.0	14 35.0	14 35.0	9 22.5	6 15.0	11 27.5	18 45.0	16 40.0	3 7.5	1 2.5	4 10.0	5 12.5	4 10.0

	国籍や多様な性別などの特徴のあるまちを認め尊重し	デジタル技術を活用した行政サービスに対応したまち	その他	無回答	
回答対象者	162 11.8	358 26.1	46 3.3	96 7.0	
年齢	18～19歳	4 22.2	2 11.1	1 5.6	4 22.2
	20～29歳	17 13.3	45 35.2	-	7 5.5
	30～39歳	25 13.1	54 28.3	11 5.8	10 5.2
	40～49歳	20 9.7	70 34.0	10 4.9	8 3.9
	50～59歳	30 12.6	69 28.9	15 6.3	6 2.5
	60～69歳	32 15.3	52 24.9	2 1.0	15 7.2
	70～79歳	19 8.8	39 18.1	3 1.4	19 8.8
	80歳以上	13 9.8	21 15.8	4 3.0	18 13.5
	無回答	2 5.7	6 17.1	-	9 25.7
	居住地区	錦町	20 10.1	60 30.2	7 3.5
北町		16 7.2	65 29.4	4 1.8	17 7.7
中央		48 11.7	99 24.2	17 4.2	24 5.9
南町		32 13.4	63 26.4	8 3.3	13 5.4
塚越		43 16.2	66 24.8	10 3.8	19 7.1
無回答		3 7.5	5 12.5	-	10 25.0

年代別にみると、10代では「犯罪や交通事故が少ないまち」、20代では「犯罪や交通事故が少ないまち」「子育て支援が充実したまち」「医療や福祉がゆきとどいたまち」、30代では「子育て支援が充実したまち」、40代以上では「医療や福祉がゆきとどいたまち」が最も多くなっています。

地区別にみると、すべての地区で「医療や福祉がゆきとどいたまち」が最も多くなっています。また、「地域で買い物や食事を楽しめるにぎわいのあるまち」は、北町では41.2%であるのに対し、塚越では19.9%であり、20ポイント以上の相違がみられます。

● 相関関係図

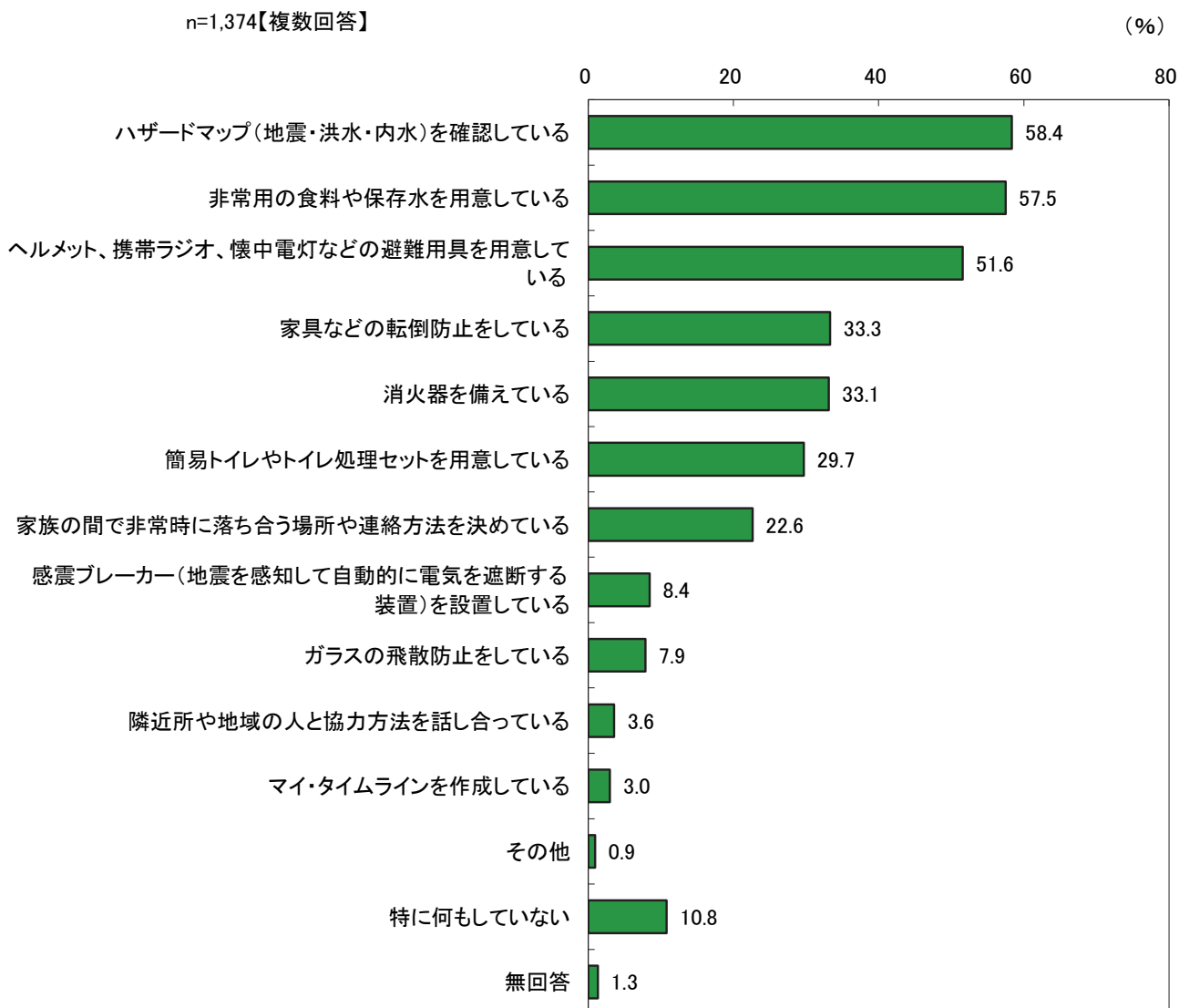


## (4) 【まちづくり】

&lt;防災について&gt;

問6 あなたの家では、地震や風水害などの災害に備えて何か準備をしていますか。  
(○印はいくつでも)

回答対象者 (n=1,374)	集計値(件)	割合(%)	順位
ハザードマップ(地震・洪水・内水)を確認している	802	58.4	1
非常用の食料や保存水を用意している	790	57.5	2
ヘルメット、携帯ラジオ、懐中電灯などの避難用具を用意している	709	51.6	3
家具などの転倒防止をしている	458	33.3	4
消火器を備えている	455	33.1	5
簡易トイレやトイレ処理セットを用意している	408	29.7	6
家族の間で非常時に落ち合う場所や連絡方法を決めている	311	22.6	7
感震ブレーカー(地震を感知して自動的に電気を遮断する装置)を設置している	116	8.4	8
ガラスの飛散防止をしている	108	7.9	9
隣近所や地域の人と協力方法を話し合っている	49	3.6	10
マイ・タイムラインを作成している	41	3.0	11
その他	13	0.9	-
特に何もしていない	148	10.8	-
無回答	18	1.3	-



災害への備えについて、「ハザードマップ（地震・洪水・内水）を確認している」が58.4%、「非常用の食料や保存水を用意している」が57.5%、「ヘルメット、携帯ラジオ、懐中電灯などの避難用具を用意している」が51.6%とそれぞれ半数を超えています。

一方、「特に何もしていない」は10.8%にとどまっており、概ね9割の人が災害への何らかの備えをしています。



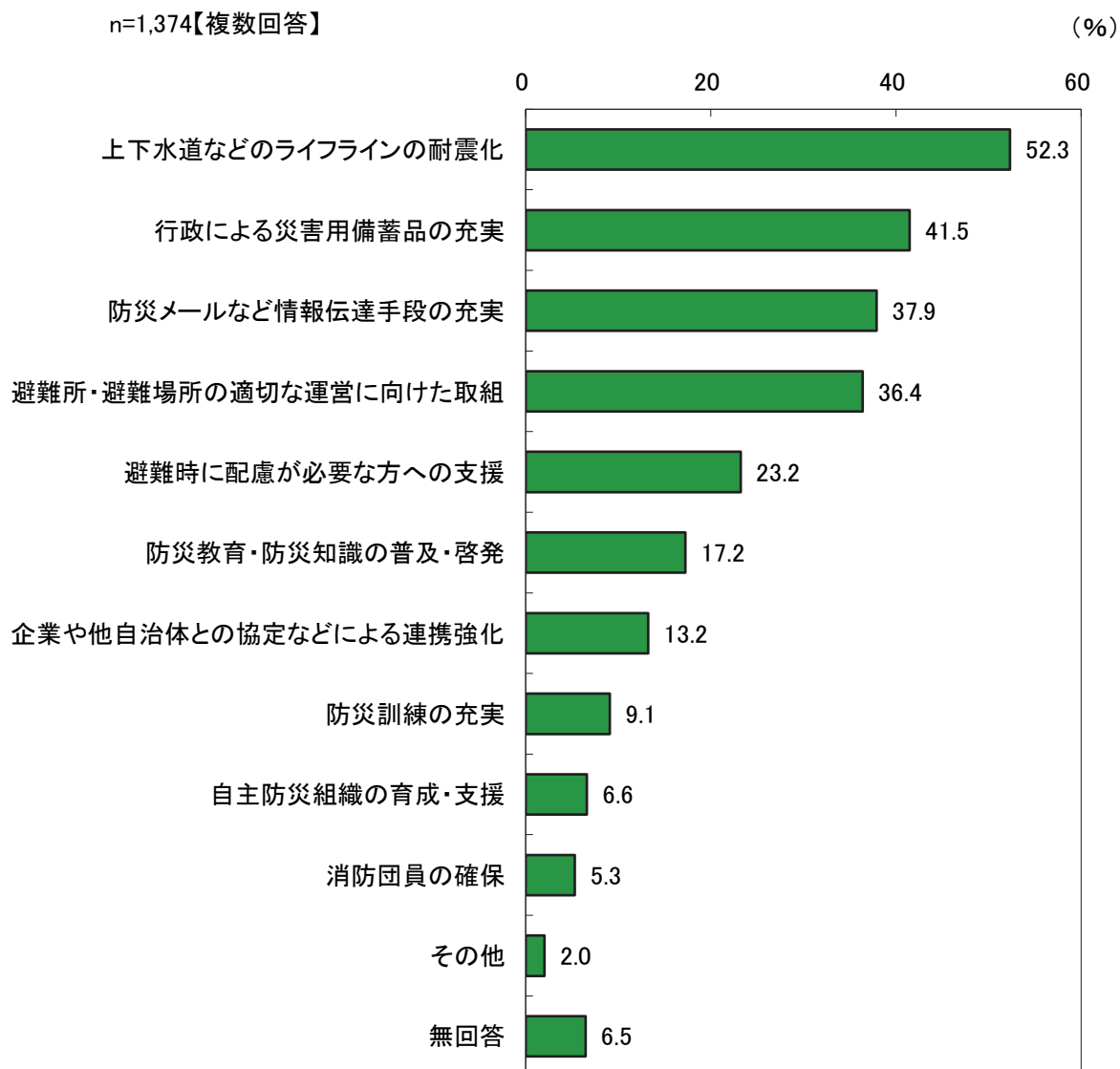
【属性別】

		回答対象者	ハザードマップ（地震・洪水・内水）を確認している	マイ・タイムラインを作成している	家具などの転倒防止をしている	ガラスの飛散防止をしている	消火器を備えている	非常用の食料や保存水を用意している	簡易トイレやトイレ処理セットを用意している	ヘルメット、携帯ラジオ、懐中電灯などの避難用具を用意している	家族の間で非常時に落ち合う場所や連絡方法を決めている	感震ブレイカー（地震を感じて自動的に電気を遮断する装置）を設置している	隣近所や地域の人と協力方法を話し合っている	その他	特に何もしていない	無回答
回答対象者		1,374	802	41	458	108	455	790	408	709	311	116	49	13	148	18
		100.0	58.4	3.0	33.3	7.9	33.1	57.5	29.7	51.6	22.6	8.4	3.6	0.9	10.8	1.3
年齢	18～19歳	18	6	1	7	3	6	11	2	9	4	2	1	-	2	-
		100.0	33.3	5.6	38.9	16.7	33.3	61.1	11.1	50.0	22.2	11.1	5.6	-	11.1	-
	20～29歳	128	55	6	46	5	38	71	33	54	27	4	1	-	22	-
		100.0	43.0	4.7	35.9	3.9	29.7	55.5	25.8	42.2	21.1	3.1	0.8	-	17.2	-
	30～39歳	191	100	5	58	14	29	101	42	76	43	3	7	2	34	2
		100.0	52.4	2.6	30.4	7.3	15.2	52.9	22.0	39.8	22.5	1.6	3.7	1.0	17.8	1.0
	40～49歳	206	119	6	66	9	45	117	77	94	56	15	2	4	23	-
		100.0	57.8	2.9	32.0	4.4	21.8	56.8	37.4	45.6	27.2	7.3	1.0	1.9	11.2	-
	50～59歳	239	151	8	84	23	88	154	79	129	56	21	7	2	15	1
		100.0	63.2	3.3	35.1	9.6	36.8	64.4	33.1	54.0	23.4	8.8	2.9	0.8	6.3	0.4
60～69歳	209	137	7	70	24	82	119	69	112	44	15	11	1	21	3	
	100.0	65.6	3.3	33.5	11.5	39.2	56.9	33.0	53.6	21.1	7.2	5.3	0.5	10.0	1	
70～79歳	215	144	4	73	17	93	123	57	132	43	32	13	2	20	4	
	100.0	67.0	1.9	34.0	7.9	43.3	57.2	26.5	61.4	20.0	14.9	6.0	0.9	9.3	1.9	
80歳以上	133	73	3	48	8	66	77	43	84	32	19	7	2	5	4	
	100.0	54.9	2.3	36.1	6.0	49.6	57.9	32.3	63.2	24.1	14.3	5.3	1.5	3.8	3.0	
無回答	35	17	1	6	5	8	17	6	19	6	5	-	-	6	4	
	100.0	48.6	2.9	17.1	14.3	22.9	48.6	17.1	54.3	17.1	14.3	-	-	17.1	11.4	

年代別にみると、50代～70代では「ハザードマップ（地震・洪水・内水）を確認している」が6割を超えており、年代が上がるにつれてその割合も高くなっています。一方、「特に何もしていない」と回答した人の割合は、他の年代と比べて、20代～30代で高くなっています。

問7 蕨市をより災害に強いまちにするためには、どのようなことが大切だと思いますか。  
(○印は3つ以内)

回答対象者(n=1,374)	集計値(件)	割合(%)	順位
上下水道などのライフラインの耐震化	719	52.3	1
行政による災害用備蓄品の充実	570	41.5	2
防災メールなど情報伝達手段の充実	521	37.9	3
避難所・避難場所の適切な運営に向けた取組	500	36.4	4
避難時に配慮が必要な方への支援	319	23.2	5
防災教育・防災知識の普及・啓発	237	17.2	6
企業や他自治体との協定などによる連携強化	182	13.2	7
防災訓練の充実	125	9.1	8
自主防災組織の育成・支援	91	6.6	9
消防団員の確保	73	5.3	10
その他	28	2.0	-
無回答	89	6.5	-



災害に強いまちにするために必要なことについては、「上下水道などのライフラインの耐震化」が52.3%と最も多く、半数を超えています。次いで「行政による災害用備蓄品の充実」が41.5%、「防災メールなど情報伝達手段の充実」が37.9%となっています。

【属性別】

	回答対象者	防災メールなど情報伝達手段の充実	防災教育・啓発	防災訓練の充実	上下水道などのライフラインの耐震化	避難時に配慮が必要な方への支援	避難所・避難場所の適切な運営に向けた取組	消防団員の確保	自主防災組織の育成・支援	行政による災害用備蓄品の充実	企業や他自治体との協定などによる連携強化	その他	無回答	
回答対象者	1,374	521	237	125	719	319	500	73	91	570	182	28	89	
	100.0	37.9	17.2	9.1	52.3	23.2	36.4	5.3	6.6	41.5	13.2	2.0	6.5	
年齢	18～19歳	18	6	2	1	6	5	6	2	1	5	1	-	2
		100.0	33.3	11.1	5.6	33.3	27.8	33.3	11.1	5.6	27.8	5.6	-	11.1
	20～29歳	128	43	26	11	55	32	49	10	5	50	17	3	5
		100.0	33.6	20.3	8.6	43.0	25.0	38.3	7.8	3.9	39.1	13.3	2.3	3.9
	30～39歳	191	61	36	14	103	27	66	14	12	78	21	6	14
		100.0	31.9	18.8	7.3	53.9	14.1	34.6	7.3	6.3	40.8	11.0	3.1	7.3
	40～49歳	206	88	41	16	108	39	82	6	8	90	37	7	13
		100.0	42.7	19.9	7.8	52.4	18.9	39.8	2.9	3.9	43.7	18.0	3.4	6.3
	50～59歳	239	96	42	19	127	46	98	7	12	105	49	4	11
		100.0	40.2	17.6	7.9	53.1	19.2	41.0	2.9	5.0	43.9	20.5	1.7	4.6
	60～69歳	209	84	35	16	130	47	75	8	16	90	25	1	11
		100.0	40.2	16.7	7.7	62.2	22.5	35.9	3.8	7.7	43.1	12.0	0.5	5.3
	70～79歳	215	83	38	24	109	71	74	12	26	86	18	1	15
		100.0	38.6	17.7	11.2	50.7	33.0	34.4	5.6	12.1	40.0	8.4	0.5	7.0
	80歳以上	133	45	16	22	63	45	40	13	11	55	13	4	11
		100.0	33.8	12.0	16.5	47.4	33.8	30.1	9.8	8.3	41.4	9.8	3.0	8.3
	無回答	35	15	1	2	18	7	10	1	-	11	1	2	7
		100.0	42.9	2.9	5.7	51.4	20.0	28.6	2.9	-	31.4	2.9	5.7	20.0

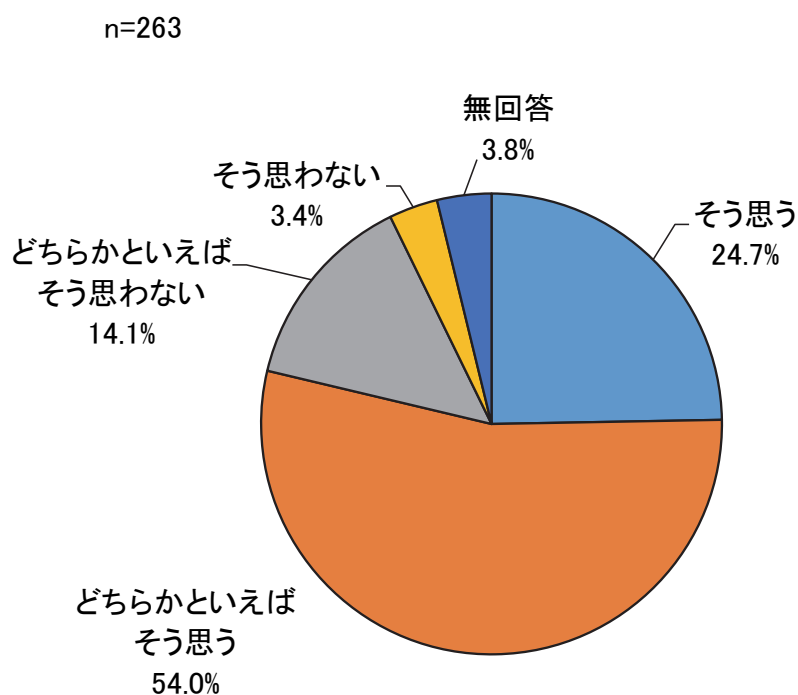
年代別にみると、すべての年代で「上下水道などのライフラインの耐震化」が最も多くなっています。

## &lt;子育てについて&gt;

問8～問10までは、18歳未満（高校卒業程度まで）のお子さんがある保護者の方におたずねします。

問8 蕨市は子育てしやすいまちだと思いますか。（○印は1つ）

回答対象者(n=263)	集計値(件)	割合(%)	順位
そう思う	65	24.7	2
どちらかといえばそう思う	142	54.0	1
どちらかといえばそう思わない	37	14.1	3
そう思わない	9	3.4	4
無回答	10	3.8	-



子育てしやすいまちについては、「そう思う」(24.7%)、「どちらかといえばそう思う」(54.0%)を合わせて、8割程度の方が子育てしやすいと感じていることがわかります。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」は合わせて2割以下となっています

【属性別】

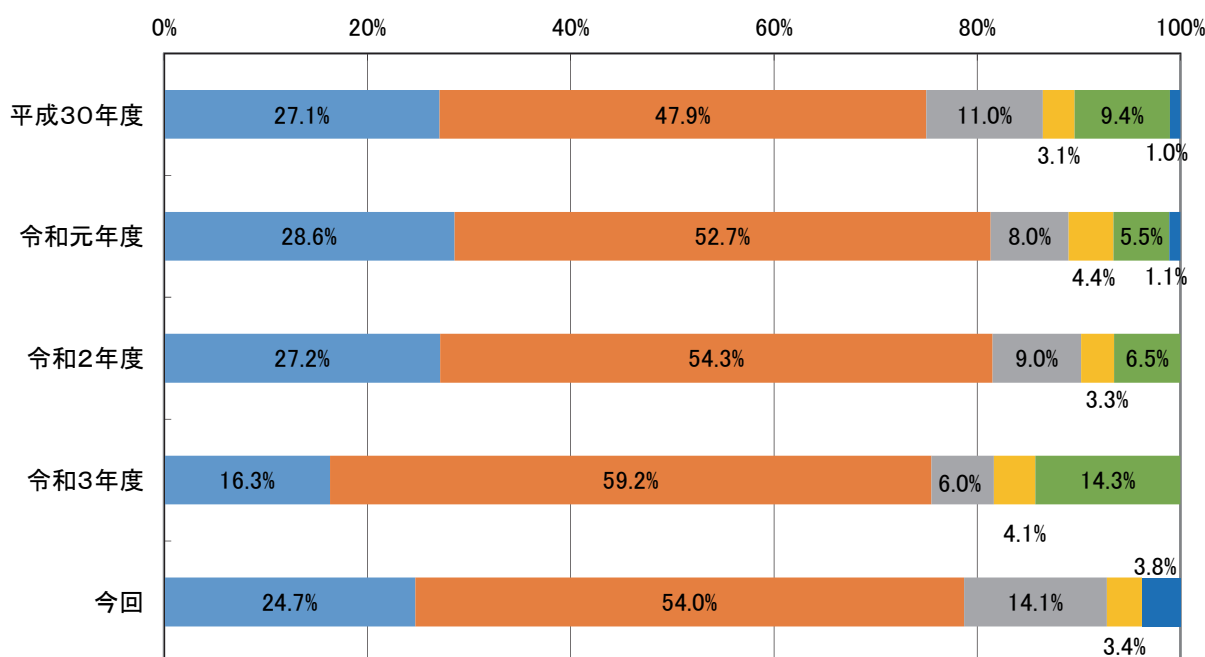
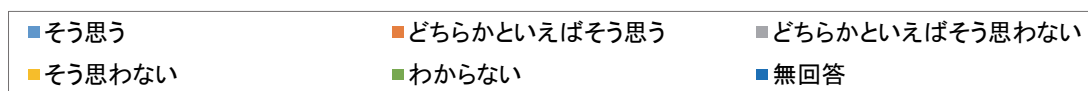
		回答対象者	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
回答対象者		263	65	142	37	9	10
		100.0	24.7	54.0	14.1	3.4	3.8
性別	男	99	27	49	14	4	5
		100.0	27.3	49.5	14.1	4.0	5.1
	女	162	38	92	22	5	5
		100.0	23.5	56.8	13.6	3.1	3.1
	その他	2	-	1	1	-	-
	100.0	-	50.0	50.0	-	-	
	無回答	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-
子どもの属性	子ども(未就学児)	114	24	62	19	4	5
		100.0	21.1	54.4	16.7	3.5	4.4
	子ども(小学生)	110	33	56	15	4	2
		100.0	30.0	50.9	13.6	3.6	1.8
	子ども(中学生)	62	16	35	6	3	2
	100.0	25.8	56.5	9.7	4.8	3.2	
	子ども(高校生)	63	15	37	6	2	3
		100.0	23.8	58.7	9.5	3.2	4.8

性別にみると、男女ともに「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が8割程度となっています。

子どもの属性別にみると、いずれの属性でも「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が8割程度となり、大きな差はみられません。

※子どもの属性別は複数回答可。

●子育てしやすいまち（平成30年度からの推移）

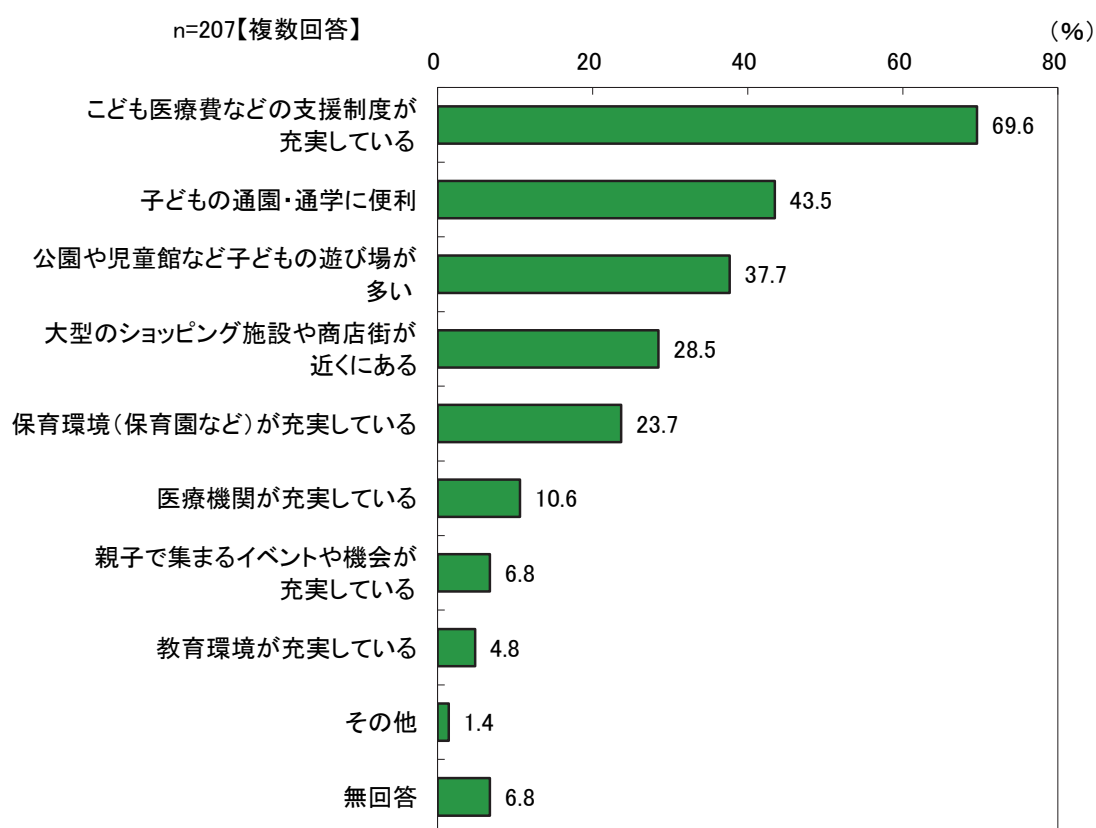


※平成30年度～令和3年度調査は、全数を回答対象としたうちから18歳未満の子がいる方の回答を抽出したものであり、また、「わからない」の選択肢もあることから参考値として示しています。

問8で「1. そう思う」「2. どちらかといえばそう思う」と答えた人のみ回答してください。

問9 子育てがしやすいと思う理由は何ですか。(○印は3つ以内)

回答対象者(n=207)	集計値(件)	割合(%)	順位
こども医療費などの支援制度が充実している	144	69.6	1
子どもの通園・通学に便利	90	43.5	2
公園や児童館など子どもの遊び場が多い	78	37.7	3
大型のショッピング施設や商店街が近くにある	59	28.5	4
保育環境(保育園など)が充実している	49	23.7	5
医療機関が充実している	22	10.6	6
親子で集まるイベントや機会が充実している	14	6.8	7
教育環境が充実している	10	4.8	8
その他	3	1.4	-
無回答	14	6.8	-



子育てがしやすいと思う理由については、「こども医療費などの支援制度が充実している」が69.6%と最も多くなっています。次いで、「子どもの通園・通学に便利」「公園や児童館など子どもの遊び場が多い」が4割程度と続いています。

## 【属性別】

		回答対象者	こども医療費などの支援制度が充実している	保育環境（保育園など）が充実している	教育環境が充実している	公園や児童館など子どもの遊び場が多い	子どもの通園・通学に便利	親子が集まるイベントや機会が充実している	医療機関が充実している	大型のショッピング施設や商店街が近くにある	その他	無回答
回答対象者		207	144	49	10	78	90	14	22	59	3	14
		100.0	69.6	23.7	4.8	37.7	43.5	6.8	10.6	28.5	1.4	6.8
性別	男	76	49	21	7	31	31	4	6	20	1	8
		100.0	64.5	27.6	9.2	40.8	40.8	5.3	7.9	26.3	1.3	10.5
	女	130	94	28	3	47	59	10	16	39	1	6
		100.0	72.3	21.5	2.3	36.2	45.4	7.7	12.3	30.0	0.8	4.6
	その他	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-
		100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
子どもの属性	子ども(未就学児)	86	62	25	-	42	27	6	8	25	1	7
		100.0	72.1	29.1	-	48.8	31.4	7.0	9.3	29.1	1.2	8.1
	子ども(小学生)	89	57	21	4	32	48	4	7	28	3	9
		100.0	64.0	23.6	4.5	36.0	53.9	4.5	7.9	31.5	3.4	10.1
	子ども(中学生)	51	30	10	3	18	29	3	5	13	1	3
		100.0	58.8	19.6	5.9	35.3	56.9	5.9	9.8	25.5	2.0	5.9
	子ども(高校生)	52	33	11	5	17	28	5	6	13	-	1
		100.0	63.5	21.2	9.6	32.7	53.8	9.6	11.5	25.0	-	1.9

※子どもの属性別は複数回答可。

性別にみると、男女いずれも「こども医療費などの支援制度が充実している」が最も多く、特に女性の方が5ポイント以上高くなっています。また、男性では「保育環境（保育園など）が充実している」（27.6%）、「教育環境が充実している」（9.2%）が女性に比べ5ポイント以上高くなっています。

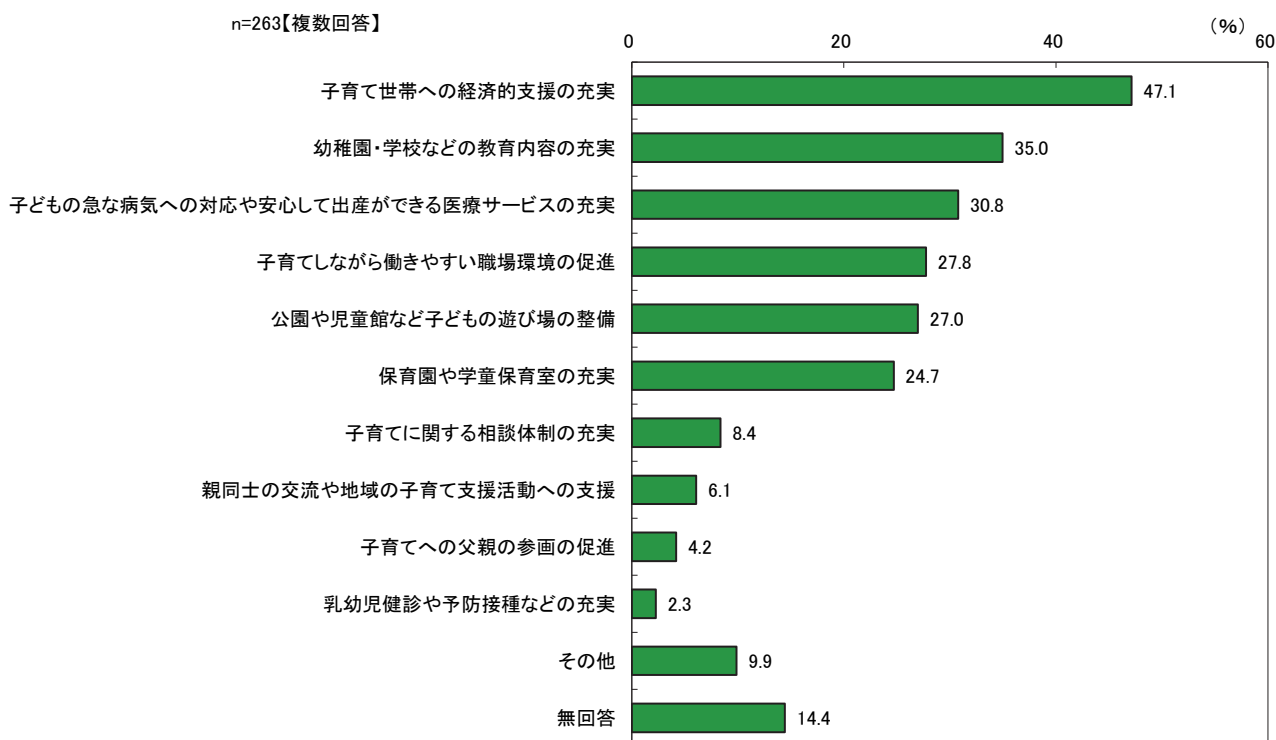
子どもの属性別にみると、概ね同じような傾向となっていますが、未就学児では「公園や児童館など子どもの遊び場が多い」が5割程度と高くなっています。



18歳未満（高校卒業程度まで）のお子さんがある保護者の方すべてがお答えください。

問10 厥市をより子育てしやすいまちにするためには、どのようなことが大切だと思いますか。（○印は3つ以内）

回答対象者 (n=263)	集計値 (件)	割合 (%)	順位
子育て世帯への経済的支援の充実	124	47.1	1
幼稚園・学校などの教育内容の充実	92	35.0	2
子どもの急な病気への対応や安心して出産ができる医療サービスの充実	81	30.8	3
子育てしながら働きやすい職場環境の促進	73	27.8	4
公園や児童館など子どもの遊び場の整備	71	27.0	5
保育園や学童保育室の充実	65	24.7	6
子育てに関する相談体制の充実	22	8.4	7
親同士の交流や地域の子育て支援活動への支援	16	6.1	8
子育てへの父親の参画の促進	11	4.2	9
乳幼児健診や予防接種などの充実	6	2.3	10
その他	26	9.9	-
無回答	38	14.4	-



子育てがしやすいまちにするために大切なことについては、「子育て世帯への経済的支援の充実」が47.1%と最も多くなっています。次いで、「幼稚園・学校などの教育内容の充実」が35.0%、「子どもの急な病気への対応や安心して出産ができる医療サービスの充実」が30.8%となっています。

## 【属性別】

		回答対象者	子育て世帯への経済的支援の充実	保育園や学童保育室の充実	幼稚園・学校などの教育内容の充実	公園や児童館など子どもの遊び場の整備	子育てに関する相談体制の充実	子どもの急な病気への対応や安心して出産ができる医療サービスの充実	乳幼児健診や予防接種などの充実	子育てしながら働きやすい職場環境の促進	親同士の交流や地域の子育て支援活動への支援	子育てへの父親の参画の促進	その他	無回答
回答対象者		263	124	65	92	71	22	81	6	73	16	11	26	38
		100.0	47.1	24.7	35.0	27.0	8.4	30.8	2.3	27.8	6.1	4.2	9.9	14.4
性別	男	99	56	19	43	24	12	26	-	18	6	4	11	15
		100.0	56.6	19.2	43.4	24.2	12.1	26.3	-	18.2	6.1	4.0	11.1	15.2
	女	162	68	45	49	47	10	55	6	54	10	6	15	22
		100.0	42.0	27.8	30.2	29.0	6.2	34.0	3.7	33.3	6.2	3.7	9.3	13.6
	その他	2	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1
		100.0	-	50.0	-	-	-	-	-	50.0	-	50.0	-	50.0
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
子どもの属性	子ども(未就学児)	114	57	33	41	34	8	31	4	26	4	4	6	21
		100.0	50.0	28.9	36.0	29.8	7.0	27.2	3.5	22.8	3.5	3.5	5.3	18.4
	子ども(小学生)	110	53	27	40	34	5	32	2	26	5	5	14	17
		100.0	48.2	24.5	36.4	30.9	4.5	29.1	1.8	23.6	4.5	4.5	12.7	15.5
	子ども(中学生)	62	32	14	20	21	6	25	1	18	4	3	8	6
		100.0	51.6	22.6	32.3	33.9	9.7	40.3	1.6	29.0	6.5	4.8	12.9	9.7
	子ども(高校生)	63	31	10	20	12	8	28	-	24	7	3	6	5
		100.0	49.2	15.9	31.7	19.0	12.7	44.4	-	38.1	11.1	4.8	9.5	7.9

※子どもの属性別は複数回答可。

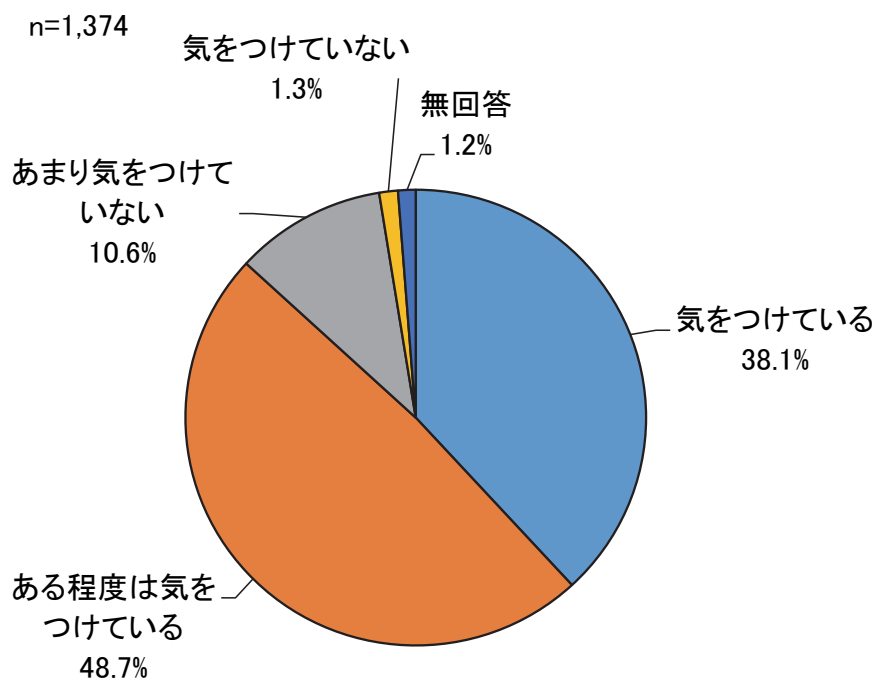
性別にみると、男女いずれも「子育て世帯への経済的支援の充実」が最も多くなっていますが、特に男性では女性より10ポイント以上多くなっています。また、男性では、女性と比較して「幼稚園・学校などの教育内容の充実」(43.4%)が、女性では、男性に比べ「子育てしながら働きやすい職場環境の促進」(33.3%)が、それぞれ10ポイント以上多くなっています。

子どもの属性別にみると、概ね同じ様な傾向となりますが、「子どもの急な病気への対応や安心して出産ができる医療サービスの充実」「子育てしながら働きやすい職場環境の促進」は、子どもの年齢が上がるにつれて多くなっています。

## &lt;健康づくりについて&gt;

問11 あなたは、日頃、自分の健康に気をつけていますか。(○印は1つ)

回答対象者(n=1,374)	集計値(件)	割合(%)	順位
気をつけている	524	38.1	2
ある程度は気をつけている	669	48.7	1
あまり気をつけていない	146	10.6	3
気をつけていない	18	1.3	4
無回答	17	1.2	-

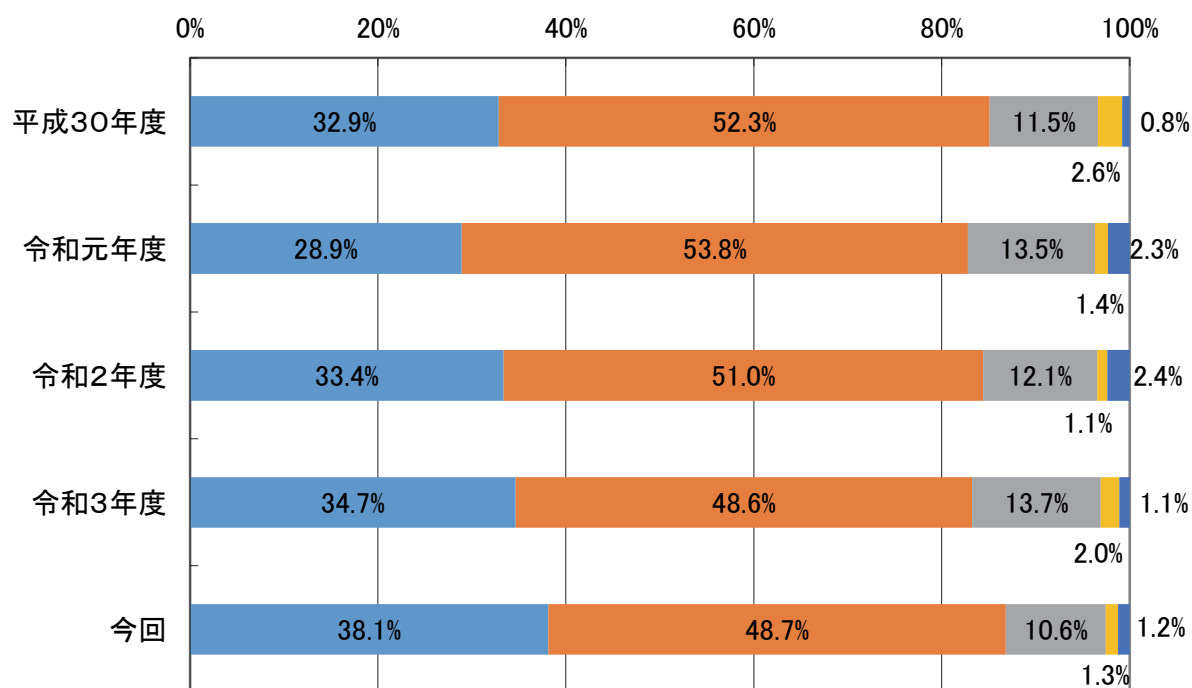
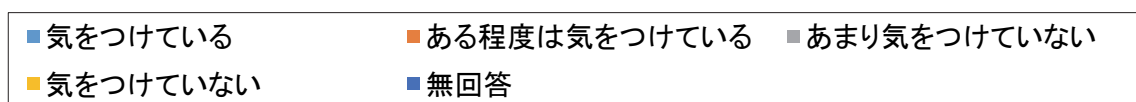


自分の健康については、「気をつけている」「ある程度は気をつけている」を合わせて8割以上となっています。一方、「あまり気をつけていない」が10.6%と1割程度となっています。

【属性別】

		回答対象者	気をつけている	ある程度は気をつけている	あまり気をつけていない	気をつけていない	無回答
回答対象者		1,374	524	669	146	18	17
		100.0	38.1	48.7	10.6	1.3	1.2
年齢	18～19歳	18	6	9	3	-	-
		100.0	33.3	50.0	16.7	-	-
	20～29歳	128	41	64	16	7	-
		100.0	32.0	50.0	12.5	5.5	-
	30～39歳	191	36	120	34	1	-
		100.0	18.8	62.8	17.8	0.5	-
	40～49歳	206	59	110	35	2	-
		100.0	28.6	53.4	17.0	1.0	-
	50～59歳	239	93	116	25	3	2
	100.0	38.9	48.5	10.5	1.3	0.8	
60～69歳	209	86	105	16	2	-	
	100.0	41.1	50.2	7.7	1.0	-	
70～79歳	215	107	91	10	2	5	
	100.0	49.8	42.3	4.7	0.9	2.3	
80歳以上	133	82	39	5	1	6	
	100.0	61.7	29.3	3.8	0.8	4.5	
無回答	35	14	15	2	-	4	
	100.0	40.0	42.9	5.7	-	11.4	

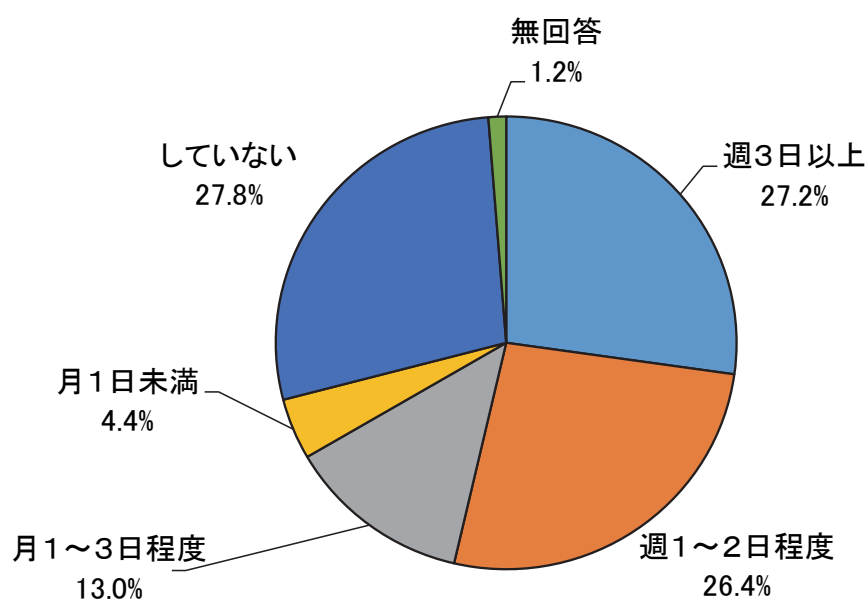
年代別にみると、60代以下では「ある程度は気をつけている」、70代以上では「気をつけている」が最も多くなっています。一方、「気をつけていない」「あまり気をつけていない」は、40代までは2割近くに達しています。



問12 あなたは、どのくらいの頻度で運動・スポーツをしていますか。(○印は1つ)  
 ※運動、スポーツにはウォーキング、ラジオ体操など軽度なものも含まれます。

回答対象者 (n=1,374)	集計値(件)	割合(%)	順位
週3日以上	374	27.2	2
週1～2日程度	363	26.4	3
月1～3日程度	178	13.0	4
月1日未満	60	4.4	5
していない	382	27.8	1
無回答	17	1.2	-

n=1,374



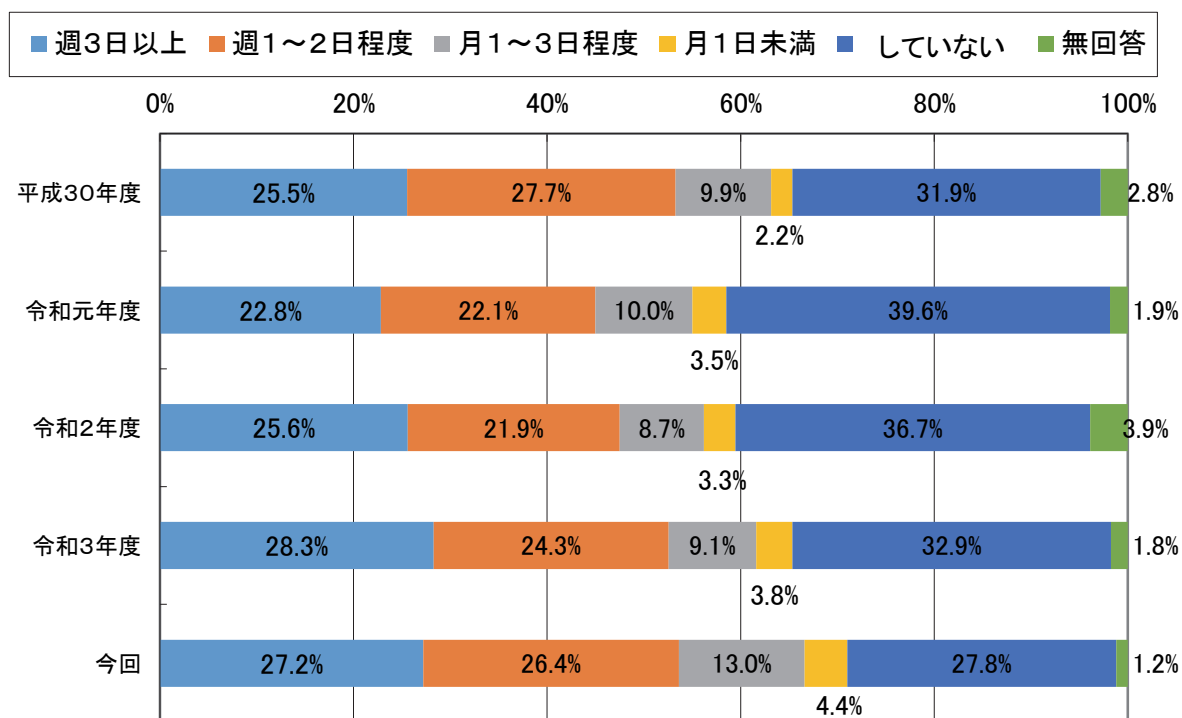
運動・スポーツの頻度については、「週3日以上」「週1～2日程度」を合わせて5割以上と半数以上の人が週に1回以上の運動を実施しています。一方、「していない」が27.8%と3割程度の人が日ごろから運動習慣がない結果となっています。

【属性別】

	回答対象者	週3日以上	週1～2日程度	週1日程度	月1日未満	していない	無回答	
回答対象者	1,374	374	363	178	60	382	17	
	100.0	27.2	26.4	13.0	4.4	27.8	1.2	
年齢	18～19歳	18	2	6	7	-	3	-
		100.0	11.1	33.3	38.9	-	16.7	-
	20～29歳	128	25	42	21	6	34	-
		100.0	19.5	32.8	16.4	4.7	26.6	-
	30～39歳	191	30	43	34	16	67	1
		100.0	15.7	22.5	17.8	8.4	35.1	0.5
	40～49歳	206	47	55	36	14	53	1
		100.0	22.8	26.7	17.5	6.8	25.7	0.5
	50～59歳	239	59	70	30	14	64	2
		100.0	24.7	29.3	12.6	5.9	26.8	0.8
60～69歳	209	63	58	28	7	53	-	
	100.0	30.1	27.8	13.4	3.3	25.4	-	
70～79歳	215	88	56	11	1	56	3	
	100.0	40.9	26.0	5.1	0.5	26.0	1.4	
80歳以上	133	49	27	6	2	42	7	
	100.0	36.8	20.3	4.5	1.5	31.6	5.3	
無回答	35	11	6	5	-	10	3	
	100.0	31.4	17.1	14.3	-	28.6	8.6	

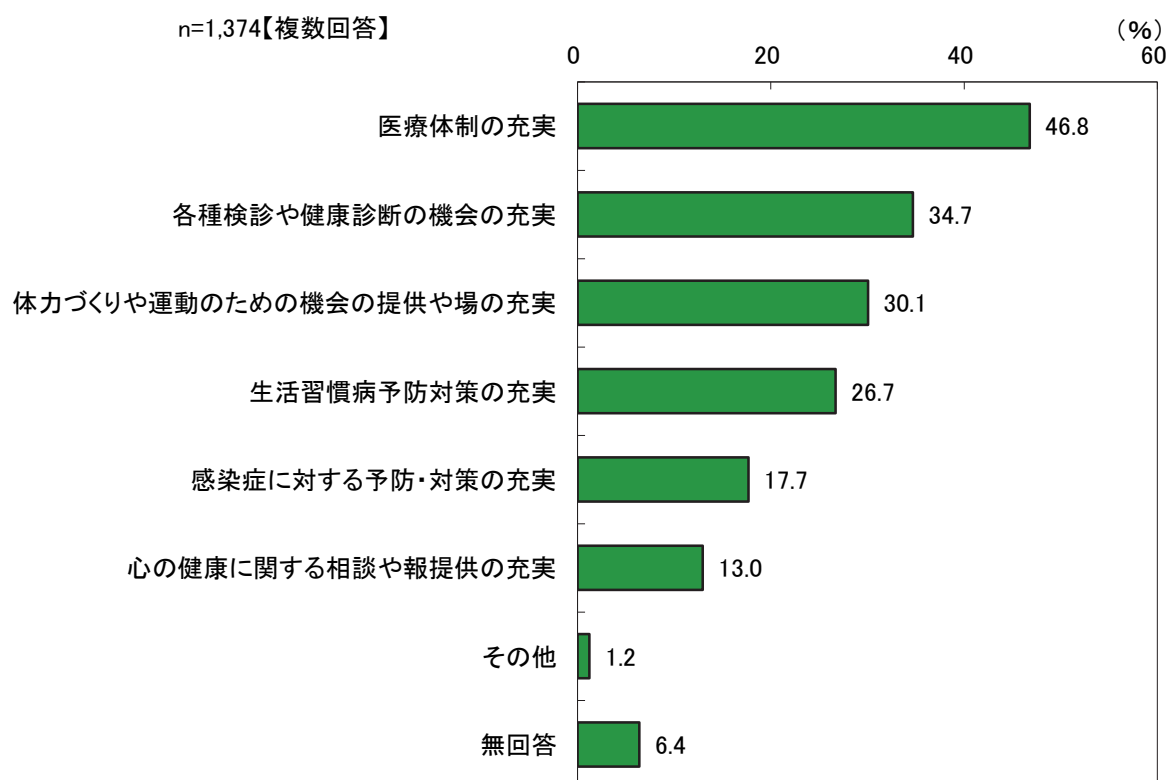
年代別にみると、60代以上では「週3日以上」、20代、40代～50代では「週1～2日程度」が最も多くなっています。また、30代では「していない」が35%を超えており、全ての年代のうち、最も多くなっています。

●運動スポーツをしている頻度（平成30年度からの推移）



問13 健康に暮らし続けるため、どのような環境が大切だと思いますか。(○印は2つ以内)

回答対象者(n=1,374)	集計値(件)	割合(%)	順位
医療体制の充実	643	46.8	1
各種検診や健康診断の機会の充実	477	34.7	2
体力づくりや運動のための機会の提供や場の充実	413	30.1	3
生活習慣病予防対策の充実	367	26.7	4
感染症に対する予防・対策の充実	243	17.7	5
心の健康に関する相談や情報提供の充実	178	13.0	6
その他	17	1.2	-
無回答	88	6.4	-



健康に暮らし続けるため、大切だと思う環境については、「医療体制の充実」が46.8%と最も多く、次いで「各種検診や健康診断の機会の充実」「体力づくりや運動のための機会の提供や場の充実」が3割程度となっています。

## 【属性別】

		回答対象者	生活習慣病予防対策の充実	体力づくりや運動のための 機会の提供や場の充実	心の健康に関する相談や 情報提供の充実	各種検診や健康診断の 機会の充実	医療体制の充実	感染症に対する予防・ 対策の充実	その他	無回答
回答対象者		1,374	367	413	178	477	643	243	17	88
		100.0	26.7	30.1	13.0	34.7	46.8	17.7	1.2	6.4
年齢	18～19歳	18	2	7	3	8	9	1	1	-
		100.0	11.1	38.9	16.7	44.4	50.0	5.6	5.6	-
	20～29歳	128	29	40	23	52	49	25	-	7
		100.0	22.7	31.3	18.0	40.6	38.3	19.5	-	5.5
	30～39歳	191	44	64	28	73	76	23	5	17
		100.0	23.0	33.5	14.7	38.2	39.8	12.0	2.6	8.9
	40～49歳	206	58	77	25	77	88	27	3	13
		100.0	28.2	37.4	12.1	37.4	42.7	13.1	1.5	6.3
	50～59歳	239	69	74	33	73	133	40	3	9
		100.0	28.9	31.0	13.8	30.5	55.6	16.7	1.3	3.8
60～69歳	209	72	54	23	70	112	35	2	8	
	100.0	34.4	25.8	11.0	33.5	53.6	16.7	1.0	3.8	
70～79歳	215	59	61	23	67	106	53	3	11	
	100.0	27.4	28.4	10.7	31.2	49.3	24.7	1.4	5.1	
80歳以上	133	29	32	16	50	56	33	-	13	
	100.0	21.8	24.1	12.0	37.6	42.1	24.8	-	9.8	
無回答	35	5	4	4	7	14	6	-	10	
	100.0	14.3	11.4	11.4	20.0	40.0	17.1	-	28.6	

年代別にみると、10代～20代では「各種検診や健康診断の機会の充実」が4割を超えていますが、20代を除くすべての年代で「医療体制の充実」が最も多くなっています。

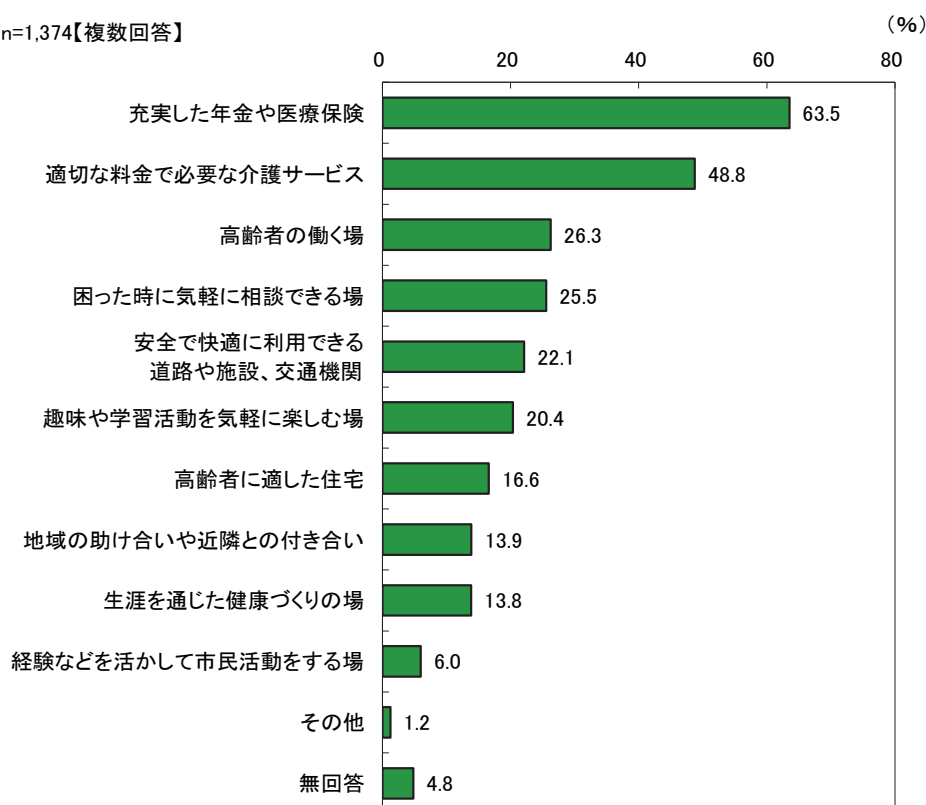


## ＜高齢期に大切なことについて＞

問14 高齢期を生き生きと過ごせるまちなするため、どのような環境が大切だと思いますか。  
(○印は3つ以内)

回答対象者(n=1,374)	集計値(件)	割合(%)	順位
充実した年金や医療保険	873	63.5	1
適切な料金で必要な介護サービス	670	48.8	2
高齢者の働く場	361	26.3	3
困った時に気軽に相談できる場	351	25.5	4
安全で快適に利用できる道路や施設、交通機関	304	22.1	5
趣味や学習活動を気軽に楽しむ場	280	20.4	6
高齢者に適した住宅	228	16.6	7
地域の助け合いや近隣との付き合い	191	13.9	8
生涯を通じた健康づくりの場	190	13.8	9
経験などを活かして市民活動をする場	82	6.0	10
その他	17	1.2	-
無回答	66	4.8	-

n=1,374【複数回答】



高齢期に大切なことについては、「充実した年金や医療保険」が63.5%と最も多く、次いで「適切な料金で必要な介護サービス」が48.8%、「高齢者の働く場」「困った時に気軽に相談できる場」が約25%程度となっています。

## 【属性別】

	回答対象者	充実した年金や医療保険	生涯を通じた健康づくりの場	高齢者の働く場	趣味や学習活動を気軽に楽しむ場	困った時に気軽に相談できる場	高齢者に適した住宅	適切な料金で必要な介護サービス	経験などを活かして市民活動をする場	地域の助け合いや近隣との付き合い	通機関 安全で快適に利用できる道路や施設、交	その他	無回答	
回答対象者	1,374	873	190	361	280	351	228	670	82	191	304	17	66	
	100.0	63.5	13.8	26.3	20.4	25.5	16.6	48.8	6.0	13.9	22.1	1.2	4.8	
年齢	18～19歳	18	11	3	7	2	3	4	6	1	5	4	1	-
		100.0	61.1	16.7	38.9	11.1	16.7	22.2	33.3	5.6	27.8	22.2	5.6	-
	20～29歳	128	75	11	29	39	20	27	49	11	20	34	1	8
		100.0	58.6	8.6	22.7	30.5	15.6	21.1	38.3	8.6	15.6	26.6	0.8	6.3
	30～39歳	191	104	30	61	47	43	34	75	13	23	37	3	16
		100.0	54.5	15.7	31.9	24.6	22.5	17.8	39.3	6.8	12.0	19.4	1.6	8.4
	40～49歳	206	123	34	79	45	41	31	119	12	29	39	4	7
		100.0	59.7	16.5	38.3	21.8	19.9	15.0	57.8	5.8	14.1	18.9	1.9	3.4
	50～59歳	239	147	28	84	42	68	39	131	19	26	47	2	10
		100.0	61.5	11.7	35.1	17.6	28.5	16.3	54.8	7.9	10.9	19.7	0.8	4.2
	60～69歳	209	155	30	54	39	56	30	101	13	30	50	2	3
		100.0	74.2	14.4	25.8	18.7	26.8	14.4	48.3	6.2	14.4	23.9	1.0	1.4
	70～79歳	215	153	32	37	41	67	37	108	6	27	55	2	7
		100.0	71.2	14.9	17.2	19.1	31.2	17.2	50.2	2.8	12.6	25.6	0.9	3.3
	80歳以上	133	85	20	9	19	46	20	69	4	27	31	2	7
		100.0	63.9	15.0	6.8	14.3	34.6	15.0	51.9	3.0	20.3	23.3	1.5	5.3
無回答	35	20	2	1	6	7	6	12	3	4	7	-	8	
	100.0	57.1	5.7	2.9	17.1	20.0	17.1	34.3	8.6	11.4	20.0	-	22.9	

年代別にみると、すべての年代で「充実した年金や医療保険」が最も多く、10代では「高齢者の働く場」が、20代以上では「適切な料金で必要な介護サービス」が続いています。

## ●高齢期を生き生きと過ごせるまちにするために大切な環境 上位5位（平成30年度からの推移）

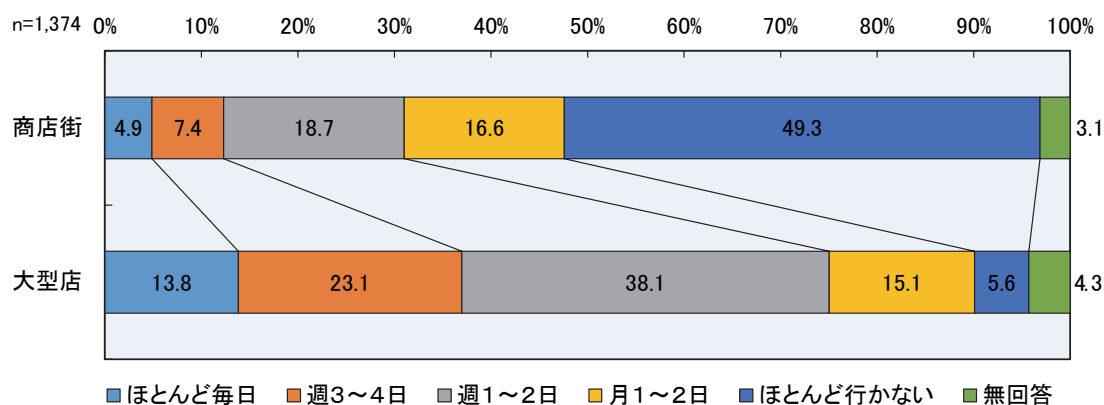
	1位	2位	3位	4位	5位
平成30年度	充実した年金や医療保険	適切な料金で必要な介護サービス	趣味や学習活動を気軽に楽しむ場	困った時に気軽に相談できる場	安全で快適に利用できる道路や施設、交通機関
	64.2%	49.9%	24.8%	23.2%	22.2%
令和元年度	充実した年金や医療保険	適切な料金で必要な介護サービス	安全で快適に利用できる道路や施設、交通機関	高齢者の働く場	困った時に気軽に相談できる場
	65.3%	55.9%	25.9%	23.3%	20.3%
令和2年度	充実した年金や医療保険	適切な料金で必要な介護サービス	困った時に気軽に相談できる場	趣味や学習活動を気軽に楽しむ場	高齢者の働く場
	69.2%	52.1%	25.2%	21.3%	20.6%
令和3年度	充実した年金や医療保険	適切な料金で必要な介護サービス	安全で快適に利用できる道路や施設、交通機関	困った時に気軽に相談できる場	高齢者に適した住宅
	68.4%	49.4%	22.5%	22.3%	20.3%
今回	充実した年金や医療保険	適切な料金で必要な介護サービス	高齢者の働く場	困った時に気軽に相談できる場	安全で快適に利用できる道路や施設、交通機関
	63.5%	48.8%	26.3%	25.5%	22.1%

※今回調査にて選択肢を一部見直し。

<にぎわいづくりについて>

問15 あなたが商店街や大型店（スーパーマーケット、デパート）へ行く頻度について、それぞれあてはまるものをお選びください。

回答対象者 (n=1,374)	商店街			大型店		
	集計値(件)	割合(%)	順位	集計値(件)	割合(%)	順位
ほとんど毎日	67	4.9	5	190	13.8	4
週3~4日	102	7.4	4	318	23.1	2
週1~2日	257	18.7	2	523	38.1	1
月1~2日	228	16.6	3	207	15.1	3
ほとんど行かない	677	49.3	1	77	5.6	5
無回答	43	3.1	-	59	4.3	-



商店街や大型店（スーパーマーケット、デパート）へ行く頻度については、「ほとんど毎日」「週3~4日」「週1~2日」の合計は、商店街が31.0%に対して、大型店は75.0%で2倍以上となっています。

また、「ほとんど行かない」は、商店街が49.3%に対し、大型店は5.6%となっています。

●商店街【属性別】

		回答対象者	ほとんど毎日	週3日	週1日	月1日	ほとんど行かない	無回答
回答対象者		1,374	67	102	257	228	677	43
		100.0	4.9	7.4	18.7	16.6	49.3	3.1
年齢	18～19歳	18	2	-	3	4	9	-
		100.0	11.1	-	16.7	22.2	50.0	-
	20～29歳	128	2	6	22	21	75	2
		100.0	1.6	4.7	17.2	16.4	58.6	1.6
	30～39歳	191	9	11	31	28	110	2
		100.0	4.7	5.8	16.2	14.7	57.6	1.0
	40～49歳	206	8	15	39	28	116	-
		100.0	3.9	7.3	18.9	13.6	56.3	-
	50～59歳	239	7	17	36	40	134	5
		100.0	2.9	7.1	15.1	16.7	56.1	2.1
60～69歳	209	9	21	39	40	96	4	
	100.0	4.3	10.0	18.7	19.1	45.9	1.9	
70～79歳	215	13	15	50	43	86	8	
	100.0	6.0	7.0	23.3	20.0	40.0	3.7	
80歳以上	133	14	11	32	21	43	12	
	100.0	10.5	8.3	24.1	15.8	32.3	9.0	
無回答	35	3	6	5	3	8	10	
	100.0	8.6	17.1	14.3	8.6	22.9	28.6	

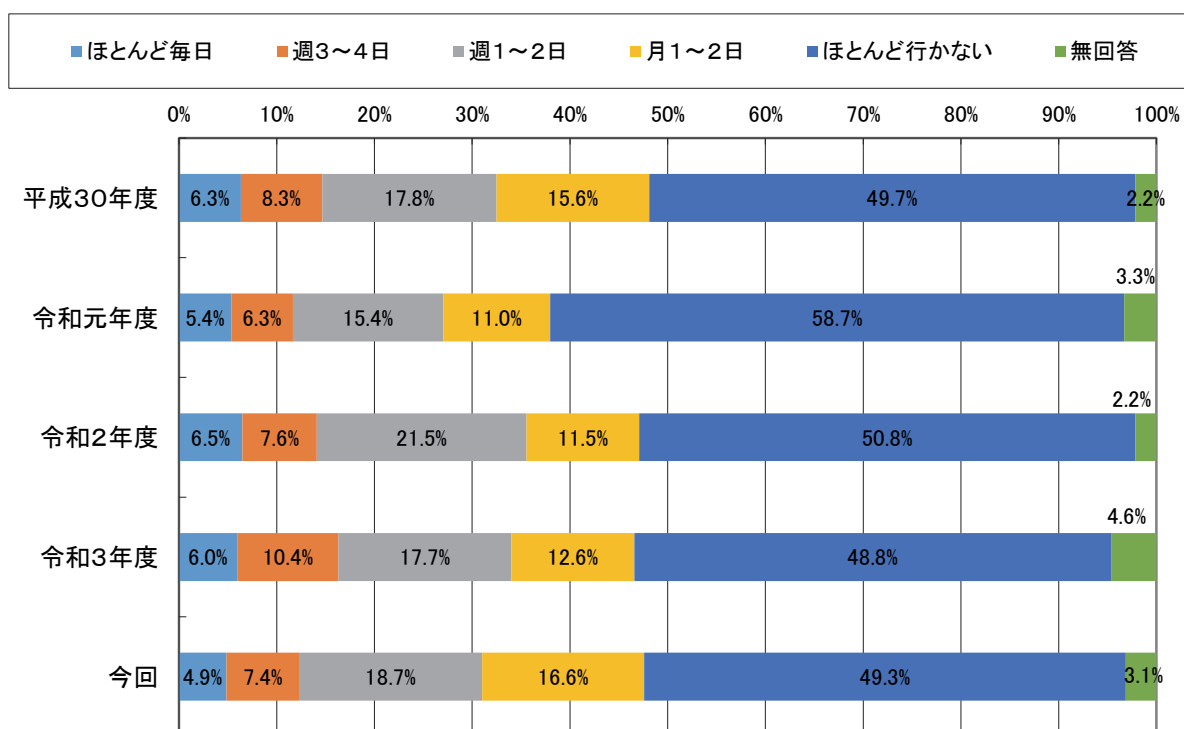
年代別にみると、すべての年代で「ほとんど行かない」が最も多く、年代が若くなるにつれて多くなる傾向にあります。

●大型店【属性別】

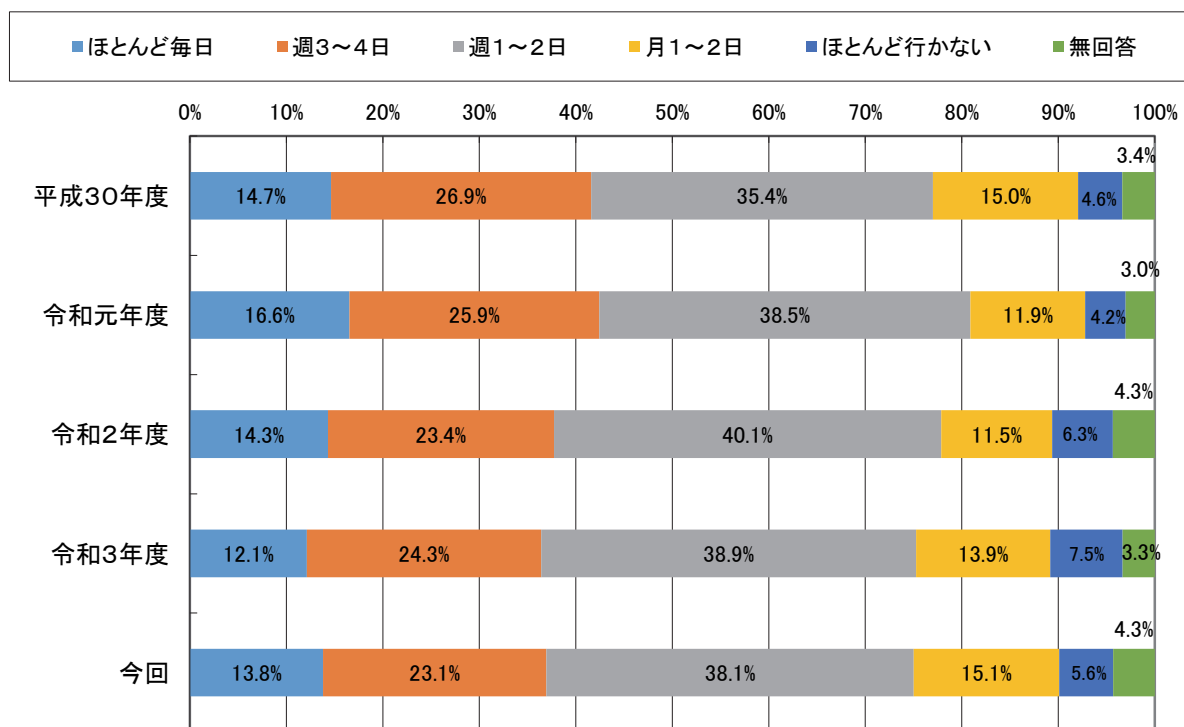
		回答対象者	ほとんど毎日	週3日	週1日	月1日	ほとんど行かない	無回答
回答対象者		1,374	190	318	523	207	77	59
		100.0	13.8	23.1	38.1	15.1	5.6	4.3
年齢	18～19歳	18	-	1	6	10	1	-
		100.0	-	5.6	33.3	55.6	5.6	-
	20～29歳	128	8	17	56	33	8	6
		100.0	6.3	13.3	43.8	25.8	6.3	4.7
	30～39歳	191	14	41	86	34	12	4
		100.0	7.3	21.5	45.0	17.8	6.3	2.1
	40～49歳	206	25	51	88	34	4	4
		100.0	12.1	24.8	42.7	16.5	1.9	1.9
	50～59歳	239	48	50	96	28	7	10
		100.0	20.1	20.9	40.2	11.7	2.9	4.2
60～69歳	209	42	52	75	23	13	4	
	100.0	20.1	24.9	35.9	11.0	6.2	1.9	
70～79歳	215	31	64	70	27	13	10	
	100.0	14.4	29.8	32.6	12.6	6.0	4.7	
80歳以上	133	18	33	37	17	17	11	
	100.0	13.5	24.8	27.8	12.8	12.8	8.3	
無回答	35	4	9	9	1	2	10	
	100.0	11.4	25.7	25.7	2.9	5.7	28.6	

年代別にみると、10代を除くすべての年代で「週1～2日」が最も多くなっています。

●商店街に買い物に行く頻度（平成30年度からの推移）



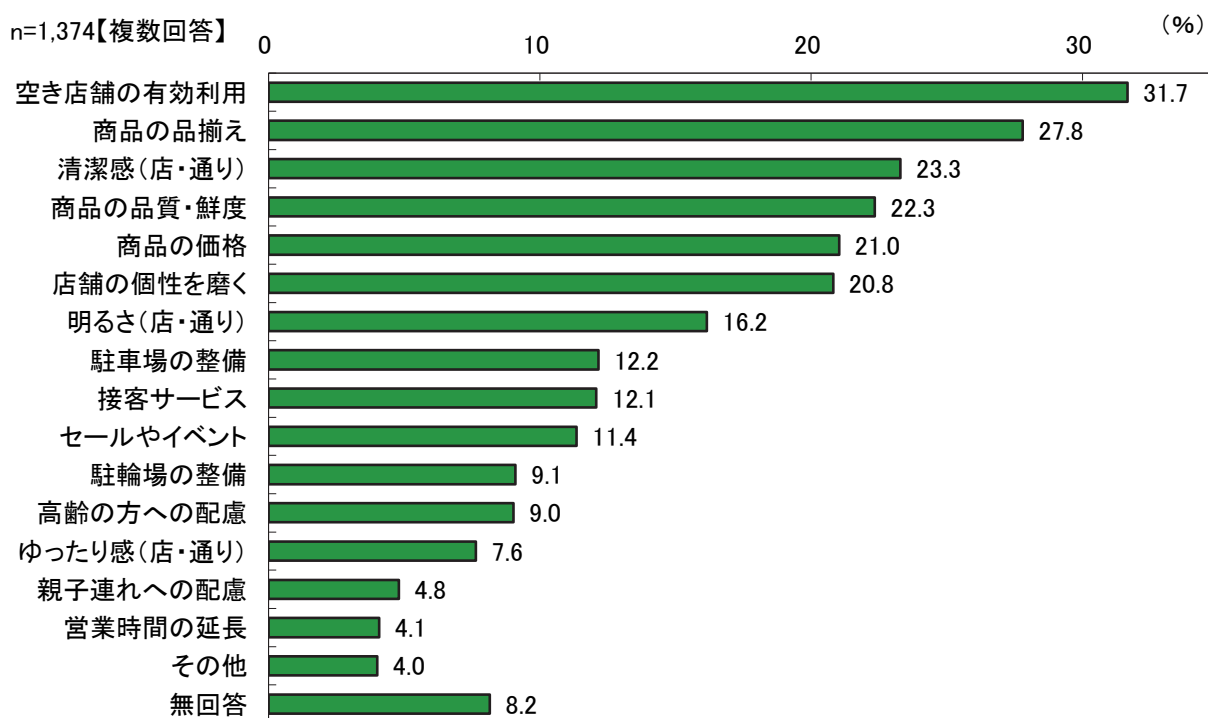
●大型店に買い物に行く頻度（平成30年度からの推移）



問16 あなたが商店街に望むことについて、あてはまるものをお選びください。  
(○印は3つ以内)

回答対象者 (n=1,374)	集計値(件)	割合(%)	順位
空き店舗の有効利用	435	31.7	1
商品の品揃え	382	27.8	2
清潔感(店・通り)	320	23.3	3
商品の品質・鮮度	307	22.3	4
商品の価格	289	21.0	5
店舗の個性を磨く	286	20.8	6
明るさ(店・通り)	222	16.2	7
駐車場の整備	167	12.2	8
接客サービス	166	12.1	9
セールやイベント	156	11.4	10
駐輪場の整備	125	9.1	11
高齢の方への配慮	124	9.0	12
ゆったり感(店・通り)	105	7.6	13
親子連れへの配慮	66	4.8	14
営業時間の延長	56	4.1	15
その他	55	4.0	-
無回答	112	8.2	-

商店街に望むことについては、「空き店舗の有効利用」が31.7%と最も多く、次いで「商品の品揃え」が27.8%、「清潔感(店・通り)」が23.3%、「商品の品質・鮮度」が22.3%となっています。



【属性別】

●商店街に望むこと×商店街へ行く頻度

	回答対象者	接客サービス	店舗の個性を磨く	明るさ（店・通り）	ゆったり感（店・通り）	清潔感（店・通り）	セールやイベント	高齢の方への配慮	親子連れへの配慮	営業時間の延長	商品の価格	商品の品揃え	商品の品質・鮮度	
回答対象者	1,374 100.0	166 12.1	286 20.8	222 16.2	105 7.6	320 23.3	156 11.4	124 9.0	66 4.8	56 4.1	289 21.0	382 27.8	307 22.3	
商店街へ行く頻度	ほとんど毎日	67 100.0	11 16.4	10 14.9	8 11.9	3 4.5	17 25.4	8 11.9	12 17.9	2 3.0	4 6.0	19 28.4	17 25.4	15 22.4
	週3～4日	102 100.0	21 20.6	15 14.7	16 15.7	9 8.8	26 25.5	20 19.6	14 13.7	5 4.9	3 2.9	31 30.4	26 25.5	26 25.5
	週1～2日	257 100.0	35 13.6	55 21.4	43 16.7	29 11.3	75 29.2	34 13.2	32 12.5	9 3.5	10 3.9	71 27.6	80 31.1	70 27.2
	月1～2日	228 100.0	33 14.5	68 29.8	38 16.7	10 4.4	56 24.6	27 11.8	18 7.9	9 3.9	12 5.3	37 16.2	71 31.1	47 20.6
	ほとんど行かない	677 100.0	64 9.5	135 19.9	113 16.7	51 7.5	145 21.4	64 9.5	43 6.4	40 5.9	26 3.8	128 18.9	183 27.0	143 21.1
	無回答	43 100.0	2 4.7	3 7.0	4 9.3	3 7.0	1 2.3	3 7.0	5 11.6	1 2.3	1 2.3	3 7.0	5 11.6	6 14.0

	空き店舗の有効利用	駐車場の整備	駐輪場の整備	その他	無回答	
回答対象者	435 31.7	167 12.2	125 9.1	55 4.0	112 8.2	
商店街へ行く頻度	ほとんど毎日	20 29.9	8 11.9	7 10.4	2 3.0	6 9.0
	週3～4日	32 31.4	9 8.8	6 5.9	3 2.9	7 6.9
	週1～2日	65 25.3	24 9.3	20 7.8	5 1.9	16 6.2
	月1～2日	81 35.5	21 9.2	22 9.6	9 3.9	10 4.4
	ほとんど行かない	228 33.7	103 15.2	70 10.3	36 5.3	51 7.5
	無回答	9 20.9	2 4.7	-	-	22 51.2

商店街に望むことと商店街に行く頻度の関係を見ると、商店街に行く頻度が高くなるにつれて「商品の価値」を求める割合が高くなる傾向にあります。他方では、商店街に行く頻度が低くなるにつれて、「店舗の個性を磨く」を求める割合が高くなるという傾向もみられます。



## ●商店街に望むこと 上位5位（平成30年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成30年度	空き店舗の有効利用	商品の品揃え	店舗の個性を磨く 商品の品質・鮮度		商品の価格
	28.9%	26.7%	25.5%		23.6%
令和元年度	商品の品揃え	空き店舗の有効利用	商品の品質・鮮度	商品の価格	店舗の個性を磨く
	26.1%	25.6%	24.2%	21.7%	21.2%
令和2年度	商品の品揃え	空き店舗の有効利用	商品の品質・鮮度	清潔感(店・通り)	店舗の個性を磨く
	32.1%	27.5%	25.8%	21.0%	20.6%
令和3年度	商品の品揃え	空き店舗の有効利用	商品の価格	清潔感(店・通り)	商品の品質・鮮度
	32.2%	25.2%	24.5%	23.6%	23.4%
今回	空き店舗の有効利用	商品の品揃え	清潔感(店・通り)	商品の品質・鮮度	商品の価格
	31.7%	27.8%	23.3%	22.3%	21.0%

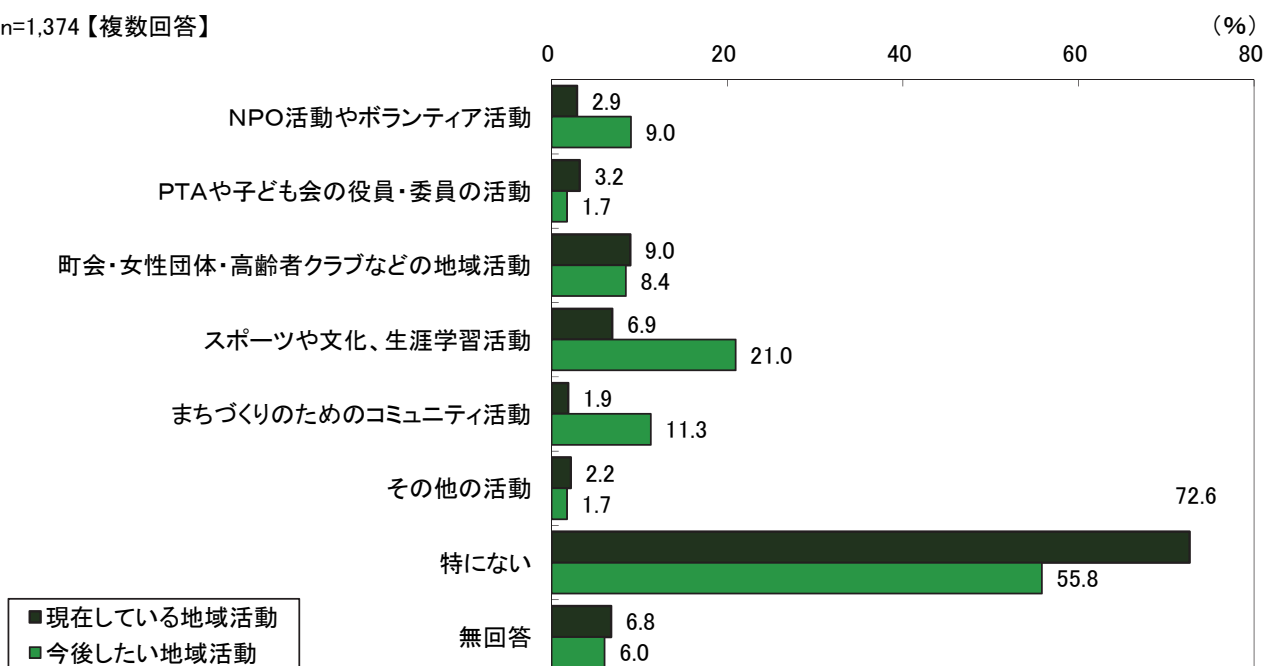
※今回調査にて選択肢を一部見直し。

<市民参画・協働について>

問17 あなたは現在、お住まいの地域などで何か活動をしていますか。また、今後したいと思う活動は何ですか。それぞれあてはまるものをお選びください。(○印はそれぞれいくつでも)

回答対象者(n=1,374)	現在している地域活動			今後したい地域活動		
	集計値(件)	割合(%)	順位	集計値(件)	割合(%)	順位
NPO活動やボランティア活動	40	2.9	4	124	9.0	3
PTAや子ども会の役員・委員の活動	44	3.2	3	24	1.7	5
町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動	123	9.0	1	116	8.4	4
スポーツや文化、生涯学習活動	95	6.9	2	288	21.0	1
まちづくりのためのコミュニティ活動	26	1.9	5	155	11.3	2
その他の活動	30	2.2	-	24	1.7	-
特になし	998	72.6	-	767	55.8	-
無回答	93	6.8	-	83	6.0	-

n=1,374【複数回答】



現在している地域活動については、活動に参加している方の中では、「町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動」が9.0%と最も多く、次いで「スポーツや文化、生涯学習活動」が6.9%となっています。

今後したい地域活動については、「スポーツや文化、生涯学習活動」が21.0%と最も多く、次いで「まちづくりのためのコミュニティ活動」が11.3%となっています。

## ●現在している地域活動【属性別】

		回答対象者	NPO活動やボランティア活動	PTAや子ども会の役員・委員の活動	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動	スポーツや文化、生涯学習活動	まちづくりのためのコミュニティ活動	その他の活動	特にない	無回答
回答対象者		1,374	40	44	123	95	26	30	998	93
		100.0	2.9	3.2	9.0	6.9	1.9	2.2	72.6	6.8
年齢	18～19歳	18	-	-	2	1	1	-	14	1
		100.0	-	-	11.1	5.6	5.6	-	77.8	5.6
	20～29歳	128	1	-	3	4	-	-	116	7
		100.0	0.8	-	2.3	3.1	-	-	90.6	5.5
	30～39歳	191	2	15	8	5	1	2	156	8
		100.0	1.0	7.9	4.2	2.6	0.5	1.0	81.7	4.2
	40～49歳	206	2	25	8	11	2	1	156	7
		100.0	1.0	12.1	3.9	5.3	1.0	0.5	75.7	3.4
	50～59歳	239	7	1	17	10	4	6	192	11
		100.0	2.9	0.4	7.1	4.2	1.7	2.5	80.3	4.6
60～69歳	209	8	1	26	20	7	4	149	9	
	100.0	3.8	0.5	12.4	9.6	3.3	1.9	71.3	4.3	
70～79歳	215	15	1	32	29	8	9	131	13	
	100.0	7.0	0.5	14.9	13.5	3.7	4.2	60.9	6.0	
80歳以上	133	5	1	22	13	3	8	67	25	
	100.0	3.8	0.8	16.5	9.8	2.3	6.0	50.4	18.8	
無回答	35	-	-	5	2	-	-	17	12	
	100.0	-	-	14.3	5.7	-	-	48.6	34.3	

年代別にみると、「PTAや子ども会の役員・委員の活動」(12.1%)が40代で多くなっていますが、概ね年代が上がるにつれて地域活動に参加する人が多くなる傾向にあります。

## ●今後したい地域活動【属性別】

		回答対象者	NPO活動やボランティア活動	PTAや子ども会の役員・委員の活動	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動	スポーツや文化、生涯学習活動	まちづくりのためのコミュニティ活動	その他の活動	特にない	無回答
回答対象者		1,374 100.0	124 9.0	24 1.7	116 8.4	288 21.0	155 11.3	24 1.7	767 55.8	83 6.0
年齢	18～19歳	18 100.0	4 22.2	- -	- -	4 22.2	2 11.1	- -	8 44.4	1 5.6
	20～29歳	128 100.0	8 6.3	3 2.3	5 3.9	23 18.0	7 5.5	1 0.8	90 70.3	4 3.1
	30～39歳	191 100.0	9 4.7	8 4.2	6 3.1	38 19.9	18 9.4	3 1.6	123 64.4	7 3.7
	40～49歳	206 100.0	16 7.8	8 3.9	6 2.9	34 16.5	23 11.2	5 2.4	129 62.6	2 1.0
	50～59歳	239 100.0	31 13.0	2 0.8	20 8.4	50 20.9	40 16.7	4 1.7	126 52.7	7 2.9
	60～69歳	209 100.0	25 12.0	- -	23 11.0	64 30.6	27 12.9	3 1.4	108 51.7	8 3.8
	70～79歳	215 100.0	24 11.2	3 1.4	29 13.5	52 24.2	24 11.2	4 1.9	104 48.4	18 8.4
	80歳以上	133 100.0	5 3.8	- -	23 17.3	18 13.5	9 6.8	3 2.3	67 50.4	23 17.3
	無回答	35 100.0	2 5.7	- -	4 11.4	5 14.3	5 14.3	1 2.9	12 34.3	13 37.1

年代別にみると、ほぼすべての年代で「スポーツや文化、生涯学習活動」が多くなっています。一方、「特にない」は年代が下がるにつれて多くなる傾向となっており、20代では7割を超えています。

## ●現在している市民活動 上記5位（平成30年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位	特にない
平成30年度	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動	スポーツや文化、生涯学習	PTAや子ども会の役員・委員	NPO活動やボランティア活動	まちづくり主体のコミュニティ活動	66.1%
	11.9%	6.7%	6.1%	5.1%	3.6%	
令和元年度	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動	スポーツや文化、生涯学習	PTAや子ども会の役員・委員	NPO活動やボランティア活動	まちづくり主体のコミュニティ活動	71.8%
	10.0%	4.9%	4.4%	4.0%	0.7%	
令和2年度	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動	スポーツや文化、生涯学習	NPO活動やボランティア活動	PTAや子ども会の役員・委員	まちづくり主体のコミュニティ活動	70.5%
	9.8%	6.7%	6.1%	4.8%	0.9%	
令和3年度	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動	スポーツや文化、生涯学習	NPO活動やボランティア活動 PTAや子ども会の役員・委員		まちづくり主体のコミュニティ活動	78.6%
	6.6%	3.3%	1.3%		0.7%	
今回	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動	スポーツや文化、生涯学習活動	PTAや子ども会の役員・委員の活動	NPO活動やボランティア活動	まちづくりのためのコミュニティ活動	72.6%
	9.0%	6.9%	3.2%	2.9%	1.9%	

※「その他」・「無回答」は除く。今回調査にて選択肢を一部見直し。

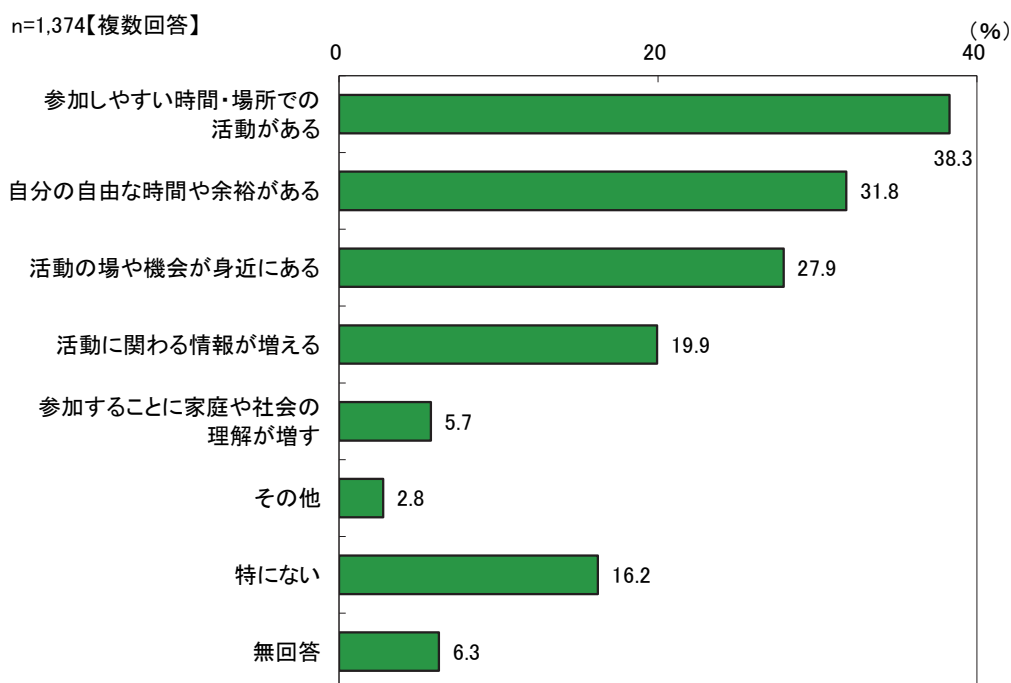
## ●今後したいと思う市民活動 上位5位（平成30年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位	特にない
平成30年度	スポーツや文化、生涯学習	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動	NPO活動やボランティア活動	まちづくり主体のコミュニティ活動	PTAや子ども会の役員・委員	52.5%
	21.2%	9.9%	9.3%	7.1%	2.2%	
令和元年度	スポーツや文化、生涯学習	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動	NPO活動やボランティア活動	まちづくり主体のコミュニティ活動	PTAや子ども会の役員・委員	57.3%
	17.9%	10.3%	9.1%	4.7%	3.3%	
令和2年度	スポーツや文化、生涯学習	NPO活動やボランティア活動	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動	まちづくり主体のコミュニティ活動	PTAや子ども会の役員・委員	56.0%
	19.7%	10.6%	7.4%	6.1%	1.5%	
令和3年度	スポーツや文化、生涯学習	NPO活動やボランティア活動	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動	まちづくり主体のコミュニティ活動	PTAや子ども会の役員・委員	61.6%
	16.8%	8.2%	6.2%	6.0%	1.1%	
今回	スポーツや文化、生涯学習活動	まちづくりのためのコミュニティ活動	NPO活動やボランティア活動	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動	PTAや子ども会の役員・委員の活動	55.8%
	21.0%	11.3%	9.0%	8.4%	1.7%	

※「その他」・「無回答」は除く。今回調査にて選択肢を一部見直し。

問18 問17の活動に参加しやすくするためには、どのようなことが必要だと思いますか。  
(○印は2つ以内)

回答対象者(n=1,374)	集計値(件)	割合(%)	順位
参加しやすい時間・場所での活動がある	526	38.3	1
自分の自由な時間や余裕がある	437	31.8	2
活動の場や機会が身近にある	383	27.9	3
活動に関わる情報が増える	274	19.9	4
参加することに家庭や社会の理解が増す	79	5.7	5
その他	38	2.8	-
特にない	223	16.2	-
無回答	86	6.3	-



活動に参加しやすくするために必要なことについては、「参加しやすい時間・場所での活動がある」が38.3%と最も多く、次いで「自分の自由な時間や余裕がある」が31.8%となっています。

## 【属性別】

		回答対象者	参加しやすい時間・場所での活動がある	参加することにより家庭や社会の理解が増す	活動の場や機会が身近にある	自分の自由な時間や余裕がある	活動に関わる情報が増える	その他	特にない	無回答
回答対象者		1,374 100.0	526 38.3	79 5.7	383 27.9	437 31.8	274 19.9	38 2.8	223 16.2	86 6.3
年齢	18～19歳	18 100.0	7 38.9	2 11.1	5 27.8	3 16.7	6 33.3	1 5.6	3 16.7	– –
	20～29歳	128 100.0	45 35.2	9 7.0	28 21.9	54 42.2	23 18.0	2 1.6	23 18.0	6 4.7
	30～39歳	191 100.0	76 39.8	16 8.4	42 22.0	84 44.0	34 17.8	7 3.7	28 14.7	8 4.2
	40～49歳	206 100.0	83 40.3	11 5.3	52 25.2	91 44.2	29 14.1	9 4.4	27 13.1	7 3.4
	50～59歳	239 100.0	101 42.3	17 7.1	57 23.8	80 33.5	60 25.1	8 3.3	31 13.0	8 3.3
	60～69歳	209 100.0	87 41.6	8 3.8	70 33.5	51 24.4	61 29.2	5 2.4	31 14.8	8 3.8
	70～79歳	215 100.0	81 37.7	12 5.6	74 34.4	41 19.1	45 20.9	5 2.3	44 20.5	14 6.5
	80歳以上	133 100.0	38 28.6	3 2.3	49 36.8	23 17.3	13 9.8	1 0.8	31 23.3	22 16.5
	無回答	35 100.0	8 22.9	1 2.9	6 17.1	10 28.6	3 8.6	–	5 14.3	13 37.1

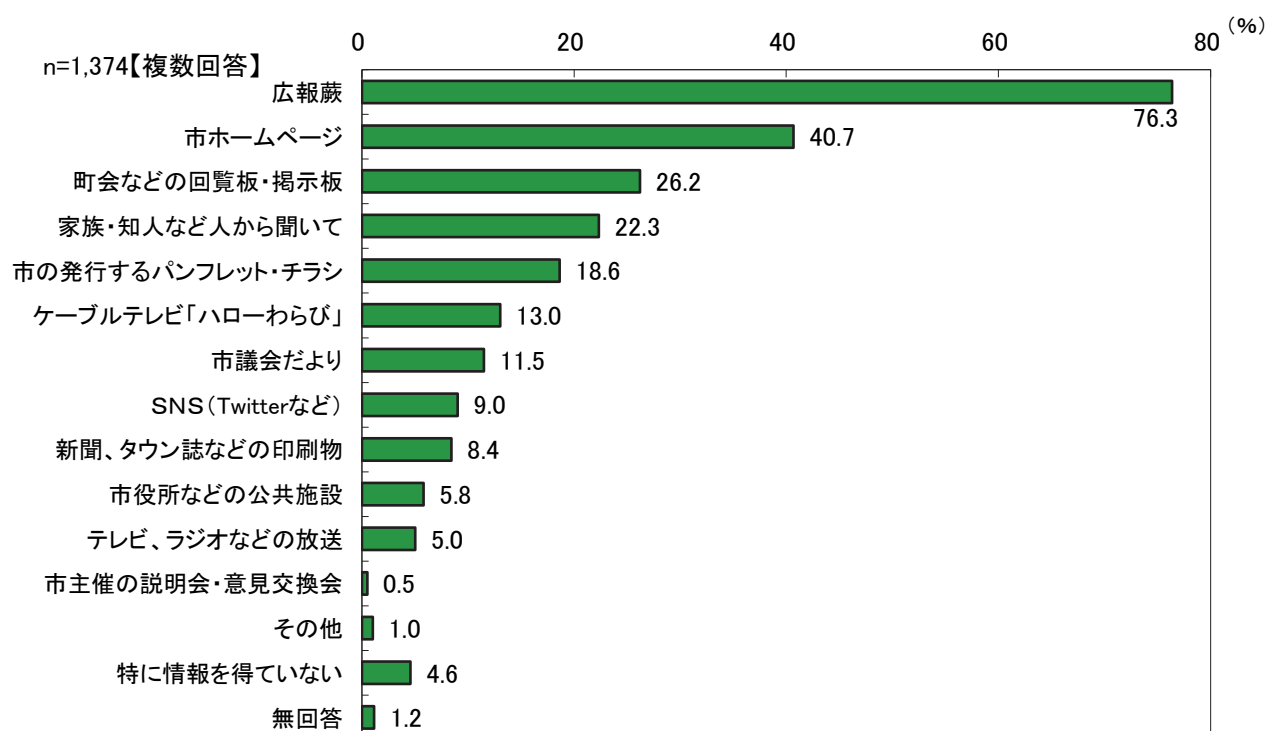
年代別にみると、10代では「参加しやすい時間・場所での活動がある」、20代～40代では「自分の自由な時間や余裕がある」、50代～70代では「参加しやすい時間・場所での活動がある」、80代以上では「活動の場や機会が身近にある」が最も多くなっています。

## ＜情報取得について＞

問19 あなたは、市の情報を得るときに、どのような方法を利用していますか。  
(○印はいくつでも)

回答対象者(n=1,374)	集計値(件)	割合(%)	順位
広報蕨	1,049	76.3	1
市ホームページ	559	40.7	2
町会などの回覧板・掲示板	360	26.2	3
家族・知人など人から聞いて	307	22.3	4
市の発行するパンフレット・チラシ	256	18.6	5
ケーブルテレビ「ハローわらび」	179	13.0	6
市議会だより	158	11.5	7
SNS(Twitterなど)	124	9.0	8
新聞、タウン誌などの印刷物	116	8.4	9
市役所などの公共施設	80	5.8	10
テレビ、ラジオなどの放送	69	5.0	11
市主催の説明会・意見交換会	7	0.5	12
その他	14	1.0	-
特に情報を得ていない	63	4.6	-
無回答	16	1.2	-

市の情報取得の方法については、「広報蕨」が76.3%と最も多く、次いで「市ホームページ」が40.7%、「町会などの回覧板・掲示板」が26.2%となっています。





【属性別】

		回答対象者	広報蕨	市の発行するパンフレット・チラシ	市議会だより	市ホームページ	町会などの閲覧板・掲示板	「ハローわらび」	ケーブルテレビ	SNS (Twitterなど)	市主催の説明会・意見交換会	市役所などの公共施設	家族・知人など人から聞いて	新聞、タウン誌などの印刷物	テレビ、ラジオなどの放送
回答対象者		1,374	1,049	256	158	559	360	179	124	7	80	307	116	69	
		100.0	76.3	18.6	11.5	40.7	26.2	13.0	9.0	0.5	5.8	22.3	8.4	5.0	
年齢	18～19歳	18	9	1	1	8	3	-	4	-	1	3	1	-	
		100.0	50.0	5.6	5.6	44.4	16.7	-	22.2	-	5.6	16.7	5.6	-	
	20～29歳	128	58	13	4	57	13	11	22	1	3	37	3	1	
		100.0	45.3	10.2	3.1	44.5	10.2	8.6	17.2	0.8	2.3	28.9	2.3	0.8	
	30～39歳	191	128	25	10	102	23	11	35	1	12	46	5	4	
		100.0	67.0	13.1	5.2	53.4	12.0	5.8	18.3	0.5	6.3	24.1	2.6	2.1	
	40～49歳	206	150	34	13	127	34	19	32	-	5	49	11	7	
		100.0	72.8	16.5	6.3	61.7	16.5	9.2	15.5	-	2.4	23.8	5.3	3.4	
	50～59歳	239	194	41	25	133	53	33	14	1	9	44	13	8	
		100.0	81.2	17.2	10.5	55.6	22.2	13.8	5.9	0.4	3.8	18.4	5.4	3.3	
60～69歳	209	177	44	36	78	71	40	12	-	19	37	16	14		
	100.0	84.7	21.1	17.2	37.3	34.0	19.1	5.7	-	9.1	17.7	7.7	6.7		
70～79歳	215	194	47	38	39	93	40	2	2	16	45	34	15		
	100.0	90.2	21.9	17.7	18.1	43.3	18.6	0.9	0.9	7.4	20.9	15.8	7.0		
80歳以上	133	117	43	27	9	60	19	1	2	12	39	30	17		
	100.0	88.0	32.3	20.3	6.8	45.1	14.3	0.8	1.5	9.0	29.3	22.6	12.8		
無回答	35	22	8	4	6	10	6	2	-	3	7	3	3		
	100.0	62.9	22.9	11.4	17.1	28.6	17.1	5.7	-	8.6	20.0	8.6	8.6		

		その他	特に情報を得ていない	無回答
回答対象者		14	63	16
		1.0	4.6	1.2
年齢	18～19歳	-	2	-
		-	11.1	-
	20～29歳	4	14	-
		3.1	10.9	-
	30～39歳	1	11	-
		0.5	5.8	-
	40～49歳	3	10	1
		1.5	4.9	0.5
	50～59歳	4	9	-
		1.7	3.8	-
60～69歳	-	9	1	
	-	4.3	0.5	
70～79歳	1	5	4	
	0.5	2.3	1.9	
80歳以上	1	2	4	
	0.8	1.5	3.0	
無回答	-	1	6	
	-	2.9	17.1	

年代別にみると、すべての年代で「広報蕨」が最も多く、50代以上では8割を超えています。また、10代～60代では「市ホームページ」が「広報蕨」に次いで多く、特に30代～50代では5割を超えています。このほか、10代～40代では「SNS (Twitter など)」が他の年代と比較して多くなっています。

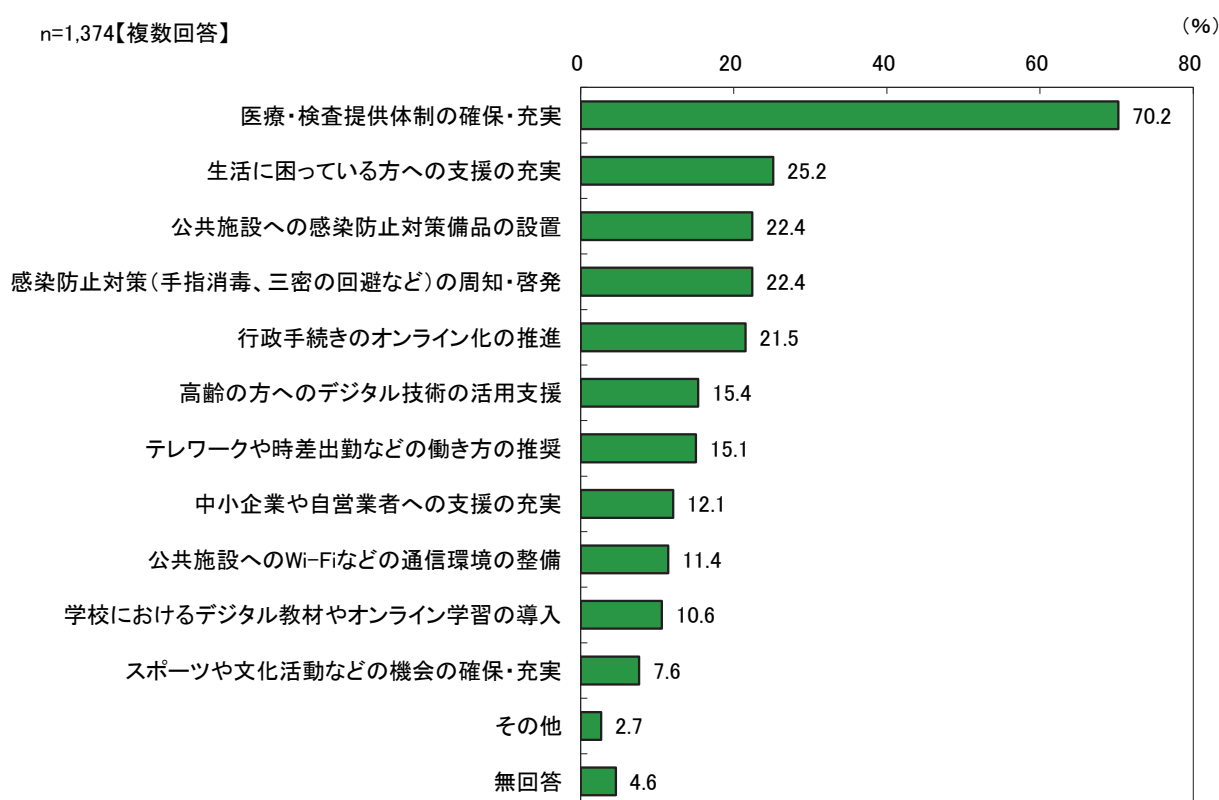
## ＜社会潮流への対応について＞

問20 アフターコロナ、ウィズコロナといわれる時代では、あなたは、どのような取組が大切だと思いますか。(○印は3つ以内)

回答対象者(n=1,374)	集計値(件)	割合(%)	順位
医療・検査提供体制の確保・充実	965	70.2	1
生活に困っている方への支援の充実	346	25.2	2
公共施設への感染防止対策備品の設置	308	22.4	3
感染防止対策(手指消毒、三密の回避など)の周知・啓発	308	22.4	3
行政手続きのオンライン化の推進	296	21.5	5
高齢の方へのデジタル技術の活用支援	211	15.4	6
テレワークや時差出勤などの働き方の推奨	207	15.1	7
中小企業や自営業者への支援の充実	166	12.1	8
公共施設へのWi-Fiなどの通信環境の整備	157	11.4	9
学校におけるデジタル教材やオンライン学習の導入	146	10.6	10
スポーツや文化活動などの機会の確保・充実	105	7.6	11
その他	37	2.7	-
無回答	63	4.6	-

アフターコロナ、ウィズコロナ時代の取り組みについては、「医療・検査提供体制の確保・充実」が70.2%と最も多く、次いで「生活に困っている方への支援の充実」が25.2%、「公共施設への感染防止対策備品の設置」「感染防止対策(手指消毒、三密の回避など)の周知・啓発」「行政手続きのオンライン化の推進」などがそれぞれ2割程度となっています。

n=1,374【複数回答】



【属性別】

		回答対象者	公共施設への感染防止対策備品の設置	スポーツや文化活動などの機会の確保・充実	医療・検査提供体制の確保・充実	感染防止対策（手指消毒、三密の回避など）の周知・啓発	学校におけるデジタル教材やオンライン学習の導入	高齢の方へのデジタル技術の活用支援	公共施設へのWi-Fiなどの通信環境の整備	行政手続きのオンライン化の推進	テレワークや時差出勤などの働き方の推奨	中小企業や自営業者への支援の充実	生活に困っている方への支援の充実	その他	無回答
回答対象者		1,374	308	105	965	308	146	211	157	296	207	166	346	37	63
		100.0	22.4	7.6	70.2	22.4	10.6	15.4	11.4	21.5	15.1	12.1	25.2	2.7	4.6
年齢	18～19歳	18	4	2	9	3	4	1	-	4	6	-	4	1	-
		100.0	22.2	11.1	50.0	16.7	22.2	5.6	-	22.2	33.3	-	22.2	5.6	-
	20～29歳	128	25	15	76	24	20	10	14	36	34	21	21	3	8
		100.0	19.5	11.7	59.4	18.8	15.6	7.8	10.9	28.1	26.6	16.4	16.4	2.3	6.3
	30～39歳	191	36	21	119	34	43	12	23	61	44	29	39	3	14
		100.0	18.8	11.0	62.3	17.8	22.5	6.3	12.0	31.9	23.0	15.2	20.4	1.6	7.3
	40～49歳	206	40	19	132	35	46	14	38	69	30	28	47	12	7
		100.0	19.4	9.2	64.1	17.0	22.3	6.8	18.4	33.5	14.6	13.6	22.8	5.8	3.4
	50～59歳	239	47	13	184	41	19	22	39	66	42	28	67	10	4
		100.0	19.7	5.4	77.0	17.2	7.9	9.2	16.3	27.6	17.6	11.7	28.0	4.2	1.7
	60～69歳	209	48	14	162	49	6	52	23	33	26	21	64	5	6
		100.0	23.0	6.7	77.5	23.4	2.9	24.9	11.0	15.8	12.4	10.0	30.6	2.4	2.9
	70～79歳	215	60	14	169	59	2	60	12	17	16	25	69	2	6
		100.0	27.9	6.5	78.6	27.4	0.9	27.9	5.6	7.9	7.4	11.6	32.1	0.9	2.8
	80歳以上	133	45	7	95	49	5	33	6	9	7	11	28	-	10
		100.0	33.8	5.3	71.4	36.8	3.8	24.8	4.5	6.8	5.3	8.3	21.1	-	7.5
無回答	35	3	-	19	14	1	7	2	1	2	3	7	1	8	
	100.0	8.6	-	54.3	40.0	2.9	20.0	5.7	2.9	5.7	8.6	20.0	2.9	22.9	

年代別にみると、すべての年代で「医療・検査提供体制の確保・充実」が最も多くなっています。また、50代以下では「行政手続きのオンライン化の推進」、60代以上では「高齢の方へのデジタル技術の活用支援」が比較的多くなっています。

## (5) 【重点施策】

※項目は、「コンパクトシティ」未来ビジョン実現計画の柱に沿って掲載しています

問21 あなたにとって、次に示す市の施策の重要度・満足度はどのくらいですか。  
1～36の各項目について、あなたの気持ちに近いものをそれぞれ1つずつお選びください。

## 【P65～72ページの見方】

## 《平均値について》

重点施策における平均値とは、設問の選択肢である「重要である」・「満足している」を5点、「どちらかといえば重要である」・「どちらかといえば満足している」を4点、「どちらともいえない」を3点、「どちらかといえば重要ではない」・「どちらかといえば満足していない」を2点、「重要ではない」・「満足していない」を1点と数値化し、その加重平均のことを示します。

平均値は1～5点の間におさまり、5点に近ければ近いほどそれぞれ「重要度が高い」・「満足度が高い」と捉えられます。

## 《ポジショニングマップ》

施策の重要度と満足度の2つの基準を使用し、その平面上の位置を表したものです。このマップは重要度と満足度の平均点を中心に、4つのブロックに分かれています。位置するブロックごとに下記のようなことがわかります。

- 「右上部分」: 重要度・満足度ともに高い
- 「右下部分」: 重要度は高いが、満足度は低い
- 「左上部分」: 重要度は低いが、満足度は高い
- 「左下部分」: 重要度・満足度ともに低い

## 補足説明

- ・ 「重要度」「満足度」とも市の施策だけでなく、国の施策などその他の社会経済環境の影響を受けることを考慮する必要があります。
- ・ 年齢層・地区など対象が限定される施策は、施策への認識が乏しい、施策効果の実感が難しい等の理由により、加重平均の計算から除かれる「わからない」の回答が多くなる傾向があります。
- ・ 前年度との比較については、±0.1ポイント程度は、誤差の範囲となります。

●重点施策（重要度） ※項目は、「コンパクトシティ蔵」将来ビジョン実現計画の柱に沿って掲載しています

1：重要である 2：どちらかといえば重要である 3：どちらともいえない  
4：どちらかといえば重要ではない 5：重要ではない 6：わからない

	(件)						誤記・無回答	平均値	順位
	1	2	3	4	5	6			
【安全で安心して暮らせるまち】 ( ) 内は昨年の順位									
1) 防災対策	951	310	37	3	1	15	57	4.70	1(3)
2) 防犯対策	934	318	43	1	2	15	61	4.68	3(2)
3) 交通安全対策	753	435	84	8	3	18	73	4.50	7(4)
4) 消費者保護	475	466	260	28	2	69	74	4.12	18(17)
5) 消防・救急体制	940	301	52	0	1	19	61	4.68	2(1)

【豊かな個性を育み子供たちの未来輝くまち】									
6) 子育て支援	719	308	126	13	7	109	92	4.47	9(8)
7) 学校教育の充実	696	325	127	16	4	110	96	4.45	10(10)
8) 青少年の健全育成	548	406	189	22	8	107	94	4.25	15(14)

【みんなにあなたかく健康に生活できるまち】									
9) 地域における支え合いなど地域福祉活動の促進	350	562	284	46	8	44	80	3.96	26(22)
10) 国民健康保険、介護など社会保障の充実	786	373	107	7	4	33	64	4.51	6(7)
11) 高齢者の生きがいがづくりと社会参加の促進	391	549	275	18	17	50	74	4.02	23(23)
12) 障害者支援	550	494	169	11	6	63	81	4.28	14(15)
13) 健康づくりの推進	420	545	249	21	14	45	80	4.07	20(19)
14) 市立病院の充実	851	325	92	10	8	32	56	4.56	5(5)

【にぎわいと活力、市民文化と歴史がとけあう元気なまち】									
15) 地域資源を活用したまちの魅力の発信	308	494	322	69	29	71	81	3.80	28(27)
16) 商店街の活性化	462	485	243	51	29	39	65	4.02	22(21)
17) 勤労者支援	402	461	310	29	12	78	82	4.00	24(25)
18) 生涯学習の充実	275	484	385	45	20	87	78	3.78	29(30)
19) 芸術・文化活動の振興	230	479	387	91	32	73	82	3.64	33(31)
20) スポーツ・レクリエーション活動の推進	216	486	418	74	33	69	78	3.63	34(34)

【快適で過ごしやすく環境にやさしいまち】									
21) 蔵駅周辺の整備	695	415	120	29	17	20	78	4.37	11(12)
22) 区画整理の推進	439	432	276	47	30	59	91	3.98	25(26)
23) 道路・歩道の整備	637	485	140	11	9	11	81	4.35	12(11)
24) コミュニティバスなどの公共交通の充実	473	506	226	35	24	27	83	4.08	19(24)
25) 上・下水道の整備、雨水対策	816	362	88	0	3	22	83	4.57	4(6)
26) 公園緑地の整備、身近な緑と花の充実	420	573	220	31	20	20	90	4.06	21(20)
27) 市営住宅の整備	242	306	440	80	58	148	100	3.53	36(35)
28) ごみの減量とリサイクル、自然エネルギーの利用促進	514	514	179	20	16	41	90	4.20	16(16)

【一人ひとりの心でつなぐ笑顔あふれるまち】									
29) 地域コミュニティ・市民活動の活性化	268	487	366	50	28	85	90	3.76	30(29)
30) 人権擁護と平和意識の高揚	335	419	355	33	25	104	103	3.86	27(28)
31) 国際交流・多文化共生の推進	231	394	406	69	73	105	96	3.55	35(36)
32) 男女共同参画の推進	286	394	400	54	28	113	99	3.74	31(33)

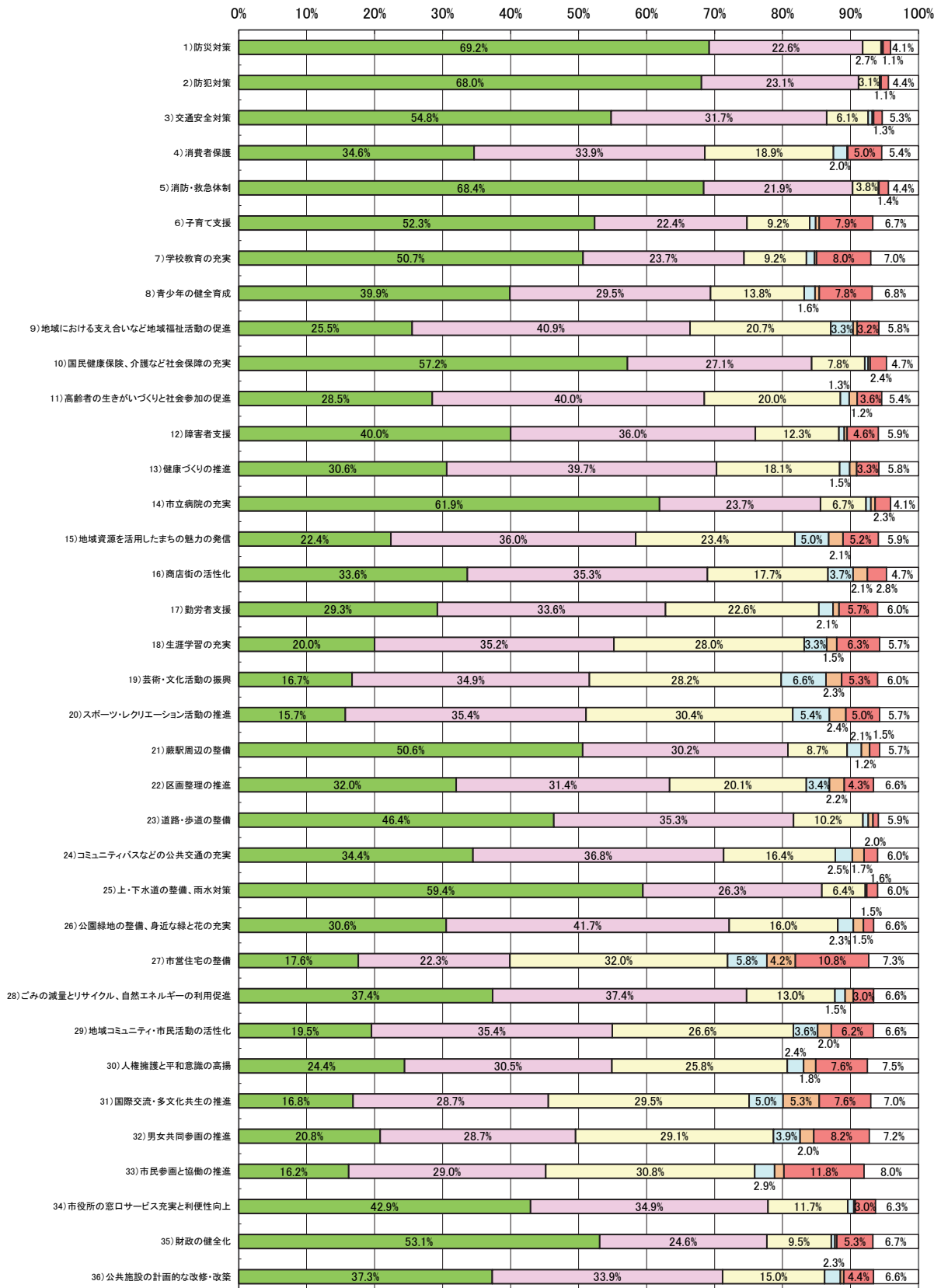
【その他】									
33) 市民参画と協働の推進	222	398	423	40	19	162	110	3.69	32(32)
34) 市役所の窓口サービス充実と利便性向上	590	480	161	12	3	41	87	4.32	13(13)
35) 財政の健全化	730	338	130	7	4	73	92	4.47	8(9)
36) 公共施設の計画的な改修・改築	513	466	206	31	7	60	91	4.18	17(18)

施策重要度平均 4.13

### 施策重要度 回答別割合

■ 重要である      □ どちらかといえば重要である      □ どちらともいえない      □ どちらかといえば重要ではない  
■ 重要ではない      ■ わからない      □ 誤記・無回答

※1.0%未満の数字は記載を省略



## 第2章 調査結果

- 1：重要である 2：どちらかといえば重要である 3：どちらともいえない  
4：どちらかといえば重要ではない 5：重要ではない 6：わからない

### 平均値順（重要度）

※各項目の上位3つは黄色、下位3つは緑色で網掛け。

順位	項目	1	2	3	4	5	6	平均値	R3	R2	R1	過去 3か年 平均	3か年平均 との比較
1 (3)	防災対策	951	310	37	3	1	15	4.70	4.69	4.65	4.60	4.65	0.05
2 (1)	消防・救急体制	940	301	52	0	1	19	4.68	4.70	4.59	4.57	4.62	0.06
3 (2)	防犯対策	934	318	43	1	2	15	4.68	4.69	4.64	4.65	4.66	0.02
4 (6)	上・下水道の整備、雨水対策	816	362	88	0	3	22	4.57	4.50	4.48	4.40	4.46	0.11
5 (5)	市立病院の充実	851	325	92	10	8	32	4.56	4.51	4.37	4.41	4.43	0.13
6 (7)	国民健康保険、介護など社会保障の充実	786	373	107	7	4	33	4.51	4.44	4.40	4.36	4.40	0.11
7 (4)	交通安全対策	753	435	84	8	3	18	4.50	4.53	4.33	4.42	4.43	0.07
8 (9)	財政の健全化	730	338	130	7	4	73	4.47	4.40	4.49	4.38	4.42	0.05
9 (8)	子育て支援	719	308	126	13	7	109	4.47	4.41	4.35	4.31	4.36	0.11
10 (10)	学校教育の充実	696	325	127	16	4	110	4.45	4.40	4.35	4.37	4.37	0.08
11 (12)	蕨駅周辺の整備	695	415	120	29	17	20	4.37	4.30	4.25	4.25	4.27	0.10
12 (11)	道路・歩道の整備	637	485	140	11	9	11	4.35	4.32	4.22	4.21	4.25	0.10
13 (13)	市役所の窓口サービス充実と利便性向上	590	480	161	12	3	41	4.32	4.29	4.24	4.17	4.23	0.09
14 (15)	障害者支援	550	494	169	11	6	63	4.28	4.23	4.21	4.14	4.19	0.09
15 (14)	青少年の健全育成	548	406	189	22	8	107	4.25	4.26	4.13	4.17	4.19	0.06
16 (16)	ごみの減量とリサイクル、自然エネルギーの利用促進	514	514	179	20	16	41	4.20	4.22	4.16	3.99	4.12	0.08
17 (18)	公共施設の計画的な改修・改築	513	466	206	31	7	60	4.18	4.08	4.16	4.15	4.13	0.05
18 (17)	消費者保護	475	466	260	28	2	69	4.12	4.13	3.97	3.83	3.98	0.14
19 (24)	コミュニティバスなどの公共交通の充実	473	506	226	35	24	27	4.08	3.94	3.88	4.05	3.96	0.12
20 (19)	健康づくりの推進	420	545	249	21	14	45	4.07	4.01	4.02	3.97	4.00	0.07
21 (20)	公園緑地の整備、身近な緑と花の充実	420	573	220	31	20	20	4.06	4.00	4.02	3.93	3.98	0.08
22 (21)	商店街の活性化	462	485	243	51	29	39	4.02	3.99	3.89	3.94	3.94	0.08
23 (23)	高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進	391	549	275	18	17	50	4.02	3.96	3.94	3.92	3.94	0.08
24 (25)	勤労者支援	402	461	310	29	12	78	4.00	3.92	3.91	3.82	3.88	0.12
25 (26)	区画整理の推進	439	432	276	47	30	59	3.98	3.89	3.80	3.87	3.85	0.13
26 (22)	地域における支え合いなど地域福祉活動の促進	350	562	284	46	8	44	3.96	3.97	3.89	3.88	3.91	0.05
27 (28)	人権擁護と平和意識の高揚	335	419	355	33	25	104	3.86	3.77	3.70	3.62	3.70	0.16
28 (27)	地域資源を活用したまちの魅力の発信	308	494	322	69	29	71	3.80	3.82	3.72	3.71	3.75	0.05
29 (30)	生涯学習の充実	275	484	385	45	20	87	3.78	3.70	3.68	3.62	3.67	0.11
30 (29)	地域コミュニティ・市民活動の活性化	268	487	366	50	28	85	3.76	3.70	3.69	3.70	3.70	0.06
31 (33)	男女共同参画の推進	286	394	400	54	28	113	3.74	3.64	3.54	3.52	3.57	0.17
32 (32)	市民参画と協働の推進	222	398	423	40	19	162	3.69	3.65	3.63	3.60	3.63	0.06
33 (31)	芸術・文化活動の振興	230	479	387	91	32	73	3.64	3.66	3.64	3.50	3.60	0.04
34 (34)	スポーツ・レクリエーション活動の推進	216	486	418	74	33	69	3.63	3.57	3.62	3.50	3.56	0.07
35 (36)	国際交流・多文化共生の推進	231	394	406	69	73	105	3.55	3.49	3.44	3.32	3.42	0.13
36 (35)	市営住宅の整備	242	306	440	80	58	148	3.53	3.55	3.35	3.38	3.43	0.10
	施策重要度平均							4.13	4.09	4.04	4.01	4.05	0.08

市民が重要と思う施策は、平均値からみると、1位「防災対策」（前年3位）、2位「消防・救急体制」（前年1位）、3位「防犯対策」（前年2位）となり、昨年度に続いて【安全で安心して暮らせるまち】の分野が上位を占めています。それに対し、「市営住宅の整備」、「国際交流・多文化共生の推進」、「スポーツ・レクリエーション活動の推進」などの施策は、重要度が下位となっており、各項目の順位はこれまでと似たような傾向となっています。

施策全体の平均は、過去3か年平均よりも0.08ポイント上昇しています。上昇率の高い施策としては、「男女共同参画の推進」、「人権擁護と平和意識の高揚」、「消費者保護」となっており、全ての施策の重要度が過去3か年平均を上回っています。



●重点施策（満足度） ※項目は、「コンパクトシティ蕨」将来ビジョン実現計画の柱に沿って掲載しています

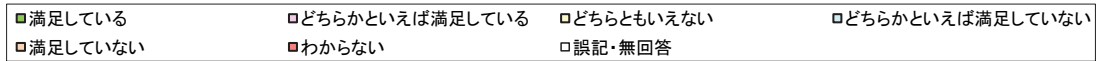
1：満足している 2：どちらかといえば満足している 3：どちらともいえない  
4：どちらかといえば満足していない 5：満足していない 6：わからない

(件)									
	1	2	3	4	5	6	誤記・無回答	平均値	順位
<b>【安全で安心して暮らせるまち】</b> ( ) 内は昨年の順位									
1) 防災対策	41	384	602	69	51	138	89	3.26	5(3)
2) 防犯対策	45	332	554	119	109	131	84	3.07	17(13)
3) 交通安全対策	52	341	574	116	71	130	90	3.16	8(10)
4) 消費者保護	32	183	667	85	53	262	92	3.05	20(8)
5) 消防・救急体制	100	432	485	67	40	162	88	3.43	1(1)
<b>【豊かな個性を育み子供たちの未来輝くまち】</b>									
6) 子育て支援	55	299	382	75	52	385	126	3.27	3(6)
7) 学校教育の充実	29	251	438	71	50	410	125	3.16	7(15)
8) 青少年の健全育成	28	157	528	45	35	452	129	3.12	12(16)
<b>【みんなに愛され健康に生活できるまち】</b>									
9) 地域における支え合いなど地域福祉活動の促進	34	208	597	63	37	329	106	3.15	10(12)
10) 国民健康保険、介護など社会保障の充実	57	268	520	91	74	269	95	3.14	11(7)
11) 高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進	24	167	589	81	37	371	105	3.07	18(14)
12) 障害者支援	31	150	533	66	34	454	106	3.10	16(11)
13) 健康づくりの推進	27	228	584	89	37	307	102	3.12	13(19)
14) 市立病院の充実	45	202	393	194	242	212	86	2.64	34(34)
<b>【にぎわいと活力、市民文化と歴史がとけあう元気なまち】</b>									
15) 地域資源を活用したまちの魅力の発信	25	194	530	133	102	284	106	2.91	29(32)
16) 商店街の活性化	11	91	394	256	347	184	91	2.24	36(36)
17) 勤労者支援	9	84	555	133	105	384	104	2.73	33(33)
18) 生涯学習の充実	21	174	563	88	52	377	99	3.03	22(28)
19) 芸術・文化活動の振興	36	210	575	86	51	318	98	3.10	15(30)
20) スポーツ・レクリエーション活動の推進	23	172	598	88	60	338	95	3.01	23(31)
<b>【快適で過ごしやすい環境にやさしいまち】</b>									
21) 蕨駅周辺の整備	41	229	383	265	253	81	122	2.61	35(35)
22) 区画整理の推進	49	193	521	159	125	199	128	2.89	30(26)
23) 道路・歩道の整備	57	283	415	238	174	79	128	2.84	32(29)
24) コミュニティバスなどの公共交通の充実	115	381	396	136	105	120	121	3.23	6(5)
25) 上・下水道の整備、雨水対策	92	370	431	113	76	171	121	3.27	2(2)
26) 公園緑地の整備、身近な緑と花の充実	100	395	448	132	79	95	125	3.26	4(4)
27) 市営住宅の整備	19	67	533	58	50	507	140	2.93	28(25)
28) ごみの減量とリサイクル、自然エネルギーの利用促進	37	195	527	124	69	295	127	3.01	24(18)
<b>【一人ひとりの心でつながる笑顔あふれるまち】</b>									
29) 地域コミュニティ・市民活動の活性化	36	207	579	65	38	315	134	3.15	9(20)
30) 人権擁護と平和意識の高揚	34	161	576	55	37	373	138	3.12	14(17)
31) 国際交流・多文化共生の推進	34	120	570	75	70	370	135	2.97	26(27)
32) 男女共同参画の推進	29	112	604	55	41	397	136	3.04	21(22)
<b>【その他】</b>									
33) 市民参画と協働の推進	16	125	594	50	28	420	141	3.06	19(21)
34) 市役所の窓口サービス充実と利便性向上	65	310	427	173	133	147	119	3.00	25(9)
35) 財政の健全化	27	189	508	100	86	338	126	2.97	27(23)
36) 公共施設の計画的な改修・改築	26	211	494	141	119	255	128	2.88	31(24)

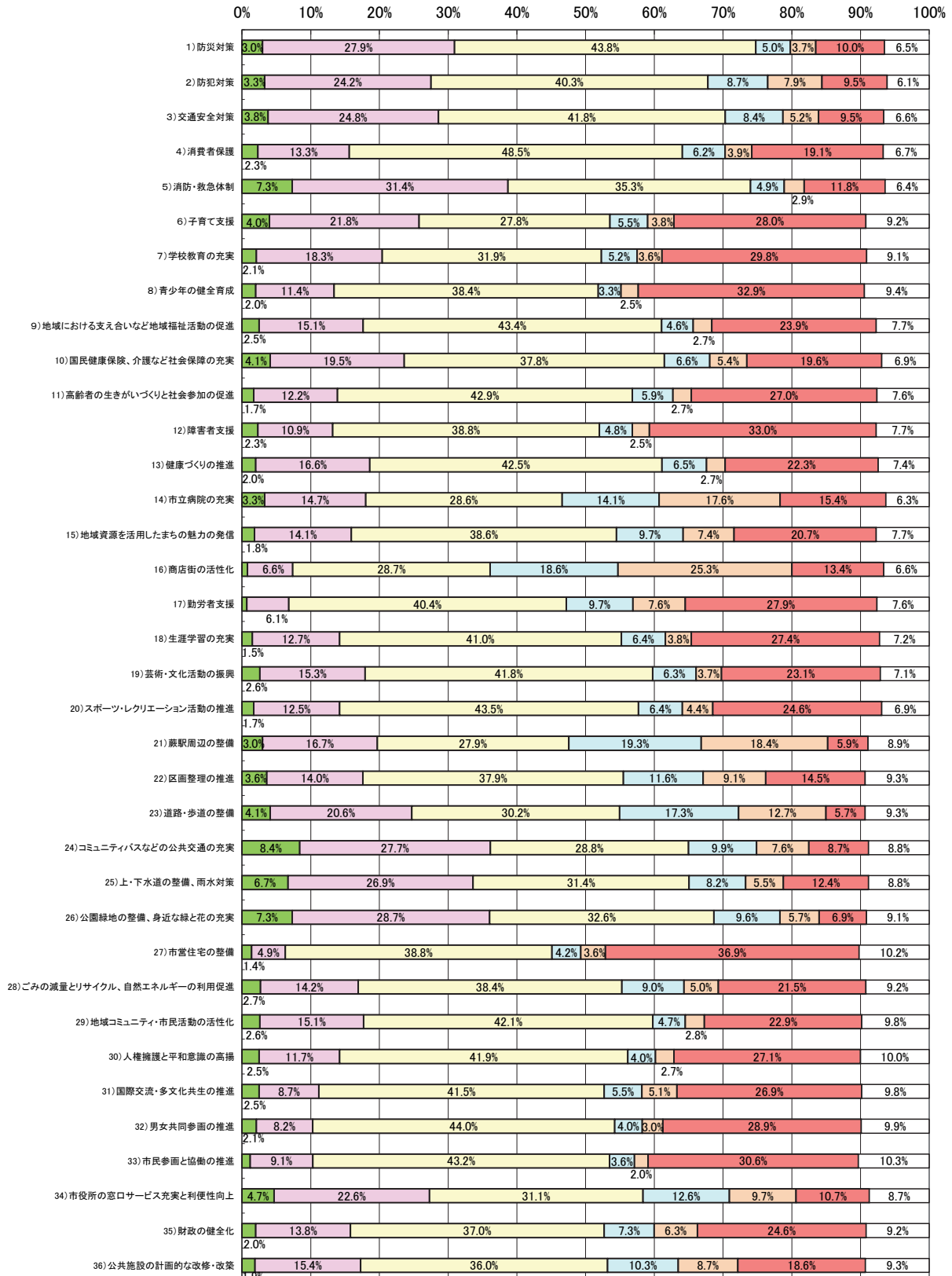
施策満足度平均 3.03



## 施策満足度 回答別割合



※1.0%未満の数字は記載を省略



1：満足している 2：どちらかといえば満足している 3：どちらともいえない  
 4：どちらかといえば満足していない 5：満足していない 6：わからない

平均値順（満足度）

※各項目の上位3つは黄色、下位3つは緑色で網掛け。

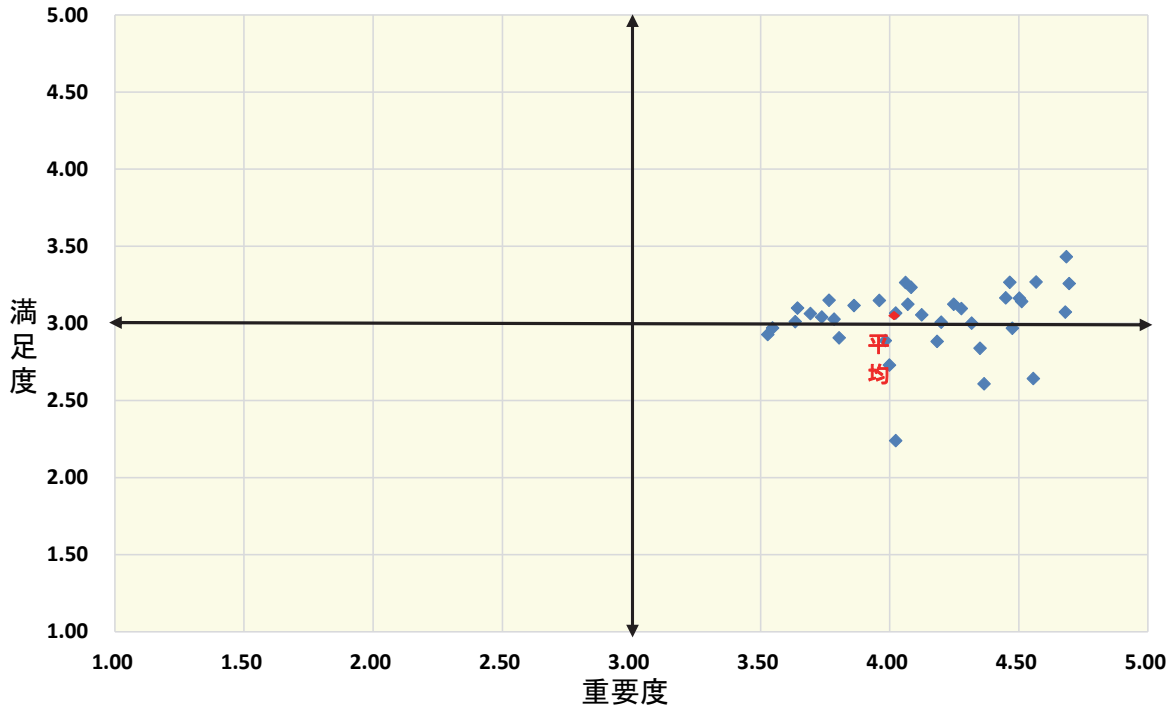
順位	項目	1	2	3	4	5	6	平均値	R3	R2	R1	過去 3か年 平均	3か年平均 との比較	
1 (1)	消防・救急体制	100	432	485	67	40	162	3.43	3.49	3.46	3.46	3.47	▲ 0.04	
2 (2)	上・下水道の整備、雨水対策	92	370	431	113	76	171	3.27	3.34	3.16	3.27	3.26	0.01	
3 (6)	子育て支援	55	299	382	75	52	385	3.27	3.21	3.26	3.26	3.24	0.03	
4 (4)	公園緑地の整備、身近な緑と花の充実	100	395	448	132	79	95	3.26	3.21	3.20	3.19	3.20	0.06	
5 (3)	防災対策	41	384	602	69	51	138	3.26	3.26	3.20	3.18	3.21	0.05	
6 (5)	コミュニティバスなどの公共交通の充実	115	381	396	136	105	120	3.23	3.21	3.30	3.07	3.19	0.04	
7 (15)	学校教育の充実	29	251	438	71	50	410	3.16	3.08	3.22	3.11	3.14	0.02	
8 (10)	交通安全対策	52	341	574	116	71	130	3.16	3.13	3.13	2.99	3.08	0.08	
9 (20)	地域コミュニティ・市民活動の活性化	36	207	579	65	38	315	3.15	3.01	3.14	3.14	3.10	0.05	
10 (12)	地域における支え合いなど地域福祉活動の促進	34	208	597	63	37	329	3.15	3.12	3.14	3.11	3.12	0.03	
11 (7)	国民健康保険、介護など社会保障の充実	57	268	520	91	74	269	3.14	3.18	3.16	3.07	3.14	0.00	
12 (16)	青少年の健全育成	28	157	528	45	35	452	3.12	3.07	3.10	3.06	3.08	0.04	
13 (19)	健康づくりの推進	27	228	584	89	37	307	3.12	3.05	3.16	3.12	3.11	0.01	
14 (17)	人権擁護と平和意識の高揚	34	161	576	55	37	373	3.12	3.06	3.08	3.05	3.06	0.06	
15 (30)	芸術・文化活動の振興	36	210	575	86	51	318	3.10	2.87	3.06	3.06	3.00	0.10	
16 (11)	障害者支援	31	150	533	66	34	454	3.10	3.13	3.13	2.99	3.08	0.02	
17 (13)	防犯対策	45	332	554	119	109	131	3.07	3.12	3.02	2.83	2.99	0.08	
18 (14)	高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進	24	167	589	81	37	371	3.07	3.11	3.11	3.07	3.10	▲ 0.03	
19 (21)	市民参画と協働の推進	16	125	594	50	28	420	3.06	3.00	3.09	3.04	3.04	0.02	
20 (8)	消費者保護	32	183	667	85	53	262	3.05	3.16	3.11	3.06	3.11	▲ 0.06	
21 (22)	男女共同参画の推進	29	112	604	55	41	397	3.04	2.99	3.04	3.03	3.02	0.02	
22 (28)	生涯学習の充実	21	174	563	88	52	377	3.03	2.89	3.06	3.06	3.00	0.03	
23 (31)	スポーツ・レクリエーション活動の推進	23	172	598	88	60	338	3.01	2.86	3.03	3.01	2.97	0.04	
24 (18)	ごみの減量とリサイクル、自然エネルギーの利用促進	37	195	527	124	69	295	3.01	3.05	3.12	3.06	3.08	▲ 0.07	
25 (9)	市役所の窓口サービス充実と利便性向上	65	310	427	173	133	147	3.00	3.15	3.06	3.10	3.10	▲ 0.10	
26 (27)	国際交流・多文化共生の推進	34	120	570	75	70	370	2.97	2.89	3.01	2.93	2.94	0.03	
27 (23)	財政の健全化	27	189	508	100	86	338	2.97	2.97	2.85	2.82	2.88	0.09	
28 (25)	市営住宅の整備	19	67	533	58	50	507	2.93	2.92	2.94	2.93	2.93	0.00	
29 (32)	地域資源を活用したまちの魅力の発信	25	194	530	133	102	284	2.91	2.81	2.91	2.79	2.84	0.07	
30 (26)	区画整理の推進	49	193	521	159	125	199	2.89	2.90	2.94	2.80	2.88	0.01	
31 (24)	公共施設の計画的な改修・改築	26	211	494	141	119	255	2.88	2.95	2.86	2.78	2.86	0.02	
32 (29)	道路・歩道の整備	57	283	415	238	174	79	2.84	2.87	2.90	2.77	2.85	▲ 0.01	
33 (33)	勤労者支援	9	84	555	133	105	384	2.73	2.79	2.82	2.70	2.77	▲ 0.04	
34 (34)	市立病院の充実	45	202	393	194	242	212	2.64	2.72	2.78	2.61	2.70	▲ 0.06	
35 (35)	蕨駅周辺の整備	41	229	383	265	253	81	2.61	2.67	2.66	2.51	2.61	0.00	
36 (36)	商店街の活性化	11	91	394	256	347	184	2.24	2.37	2.24	2.16	2.26	▲ 0.02	
								施策満足度平均	3.03	3.02	3.04	2.98	3.01	0.02

市民の満足度が高い施策は、1位「消防・救急体制」（前年1位）、2位「上・下水道の整備、雨水対策」（前年2位）、3位「子育て支援」（前年6位）となっています。それに対し、「商店街の活性化」、「蕨駅周辺の整備」、「市立病院の充実」は、満足度が低くなっており、各項目の順位はこれまでと概ね似たような傾向となっています。

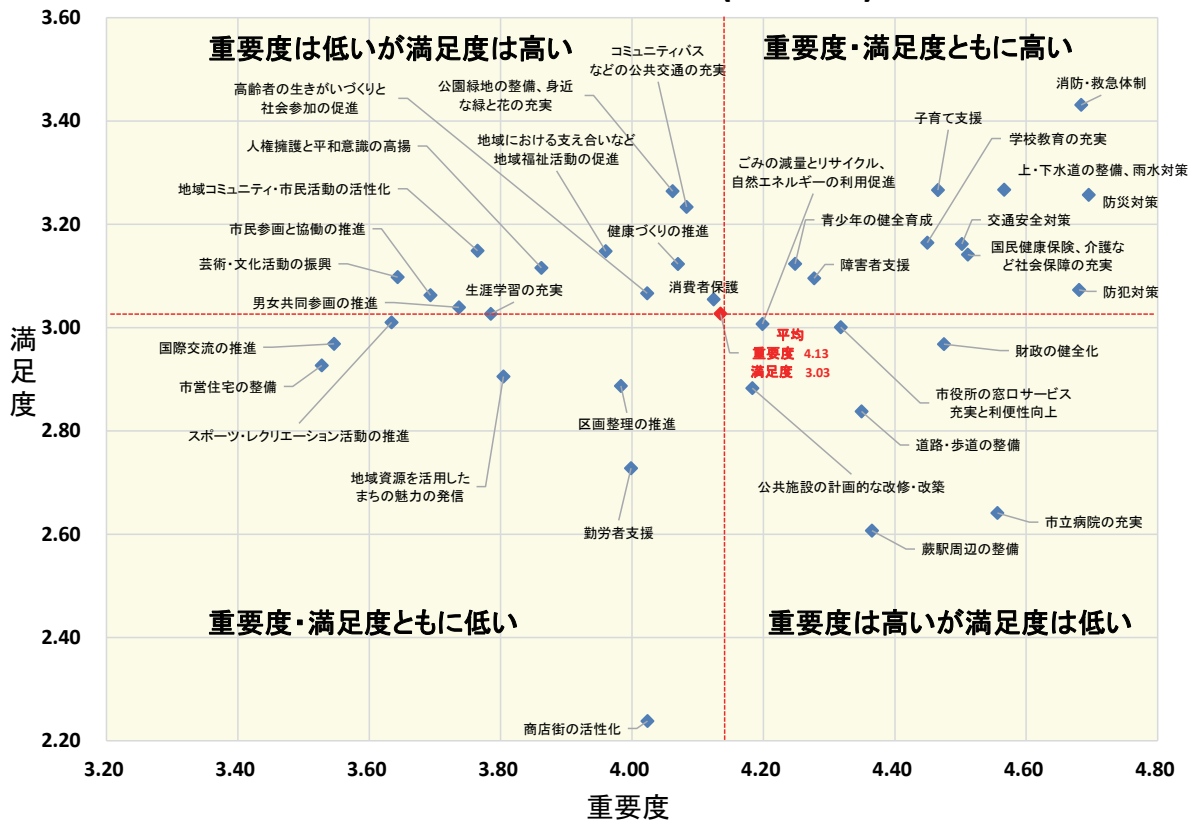
施策全体の平均が過去3か年平均よりも0.02ポイント増加しています。上昇している施策としては、「芸術・文化活動の振興」、「財政の健全化」、「交通安全対策」と続き、減少している施策としては、「市役所の窓口サービス充実と利便性向上」、「ごみの減量とリサイクル、自然エネルギーの利用促進」、「市立病院の充実」、「消費者保護」と続いています。

満足度は「わからない」という回答が全体的に多く、市民が日常生活の中で関わりを実感しにくい施策については、その効果がよく分からないことが考えられます。そうした傾向が顕著な施策としては、「わからない」の割合が3割を超える「市営住宅の整備」、「障害者支援」、「青少年の健全育成」などが挙げられます。

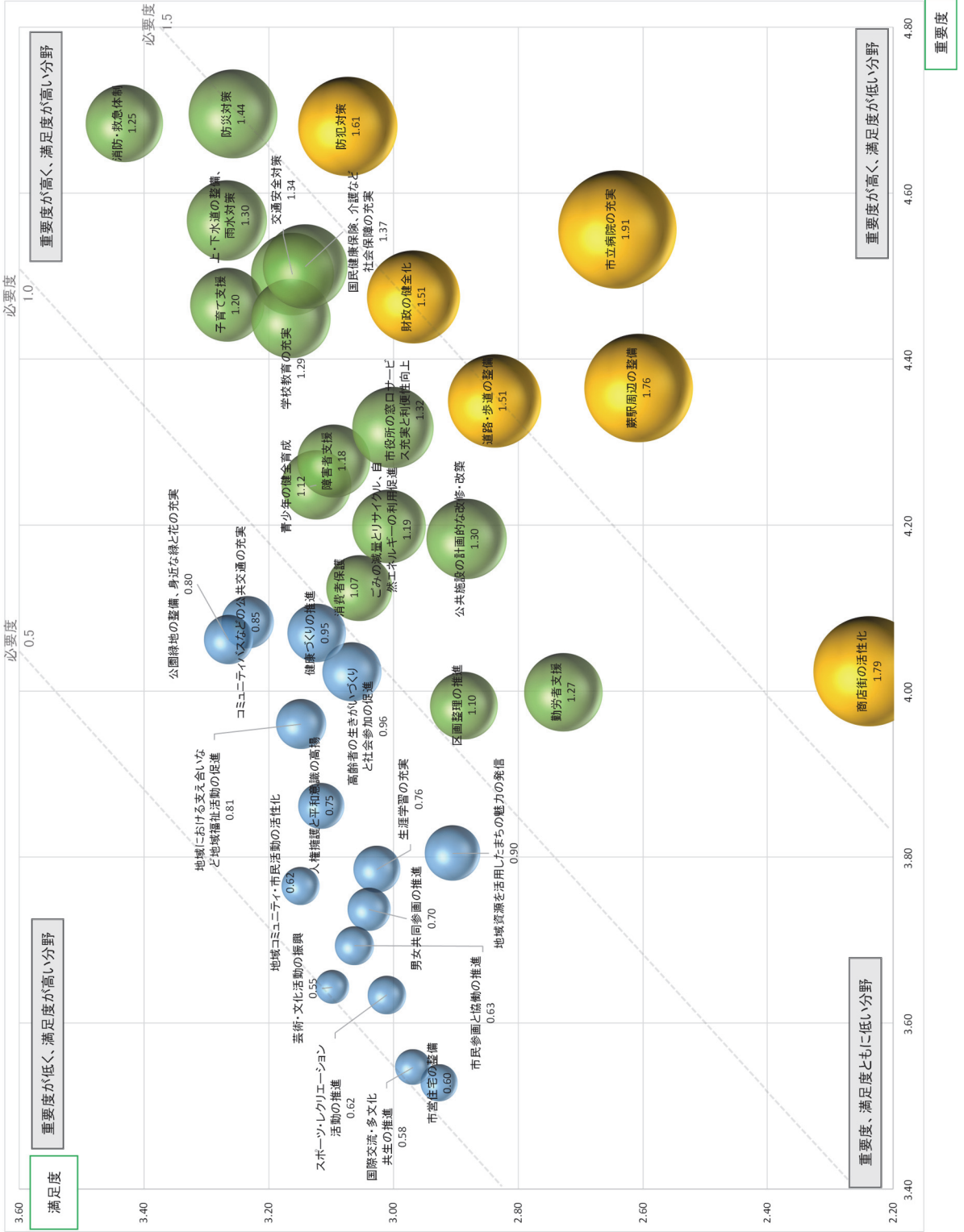
### ポジショニングマップ(全体)



### ポジショニングマップ(拡大図)



●重点施策（必要度）：重点施策における「重要度」と「満足度」の差を「必要度」と定義し、バブルチャートで示しています。重要度と満足度の差が大きいほど必要度が高いことを示しており、グラフ中の数値(円)が大きくなります。

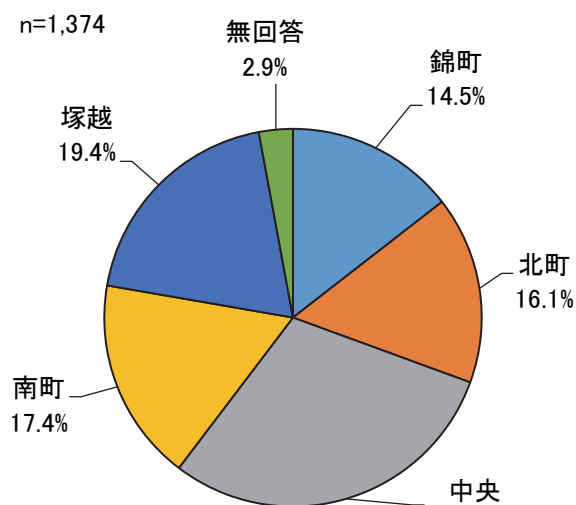


(6) 【属性】

問22 あなた(調査対象者:封筒宛名のご本人様)ご自身のことについておたずねいたします。

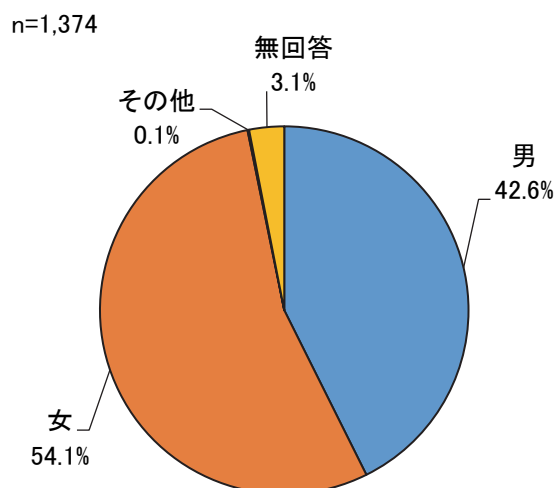
(ア) お住まいの地区

回答対象者(n=1,374)	集計値(件)	割合(%)
錦町	199	14.5
北町	221	16.1
中央	409	29.8
南町	239	17.4
塚越	266	19.4
無回答	40	2.9



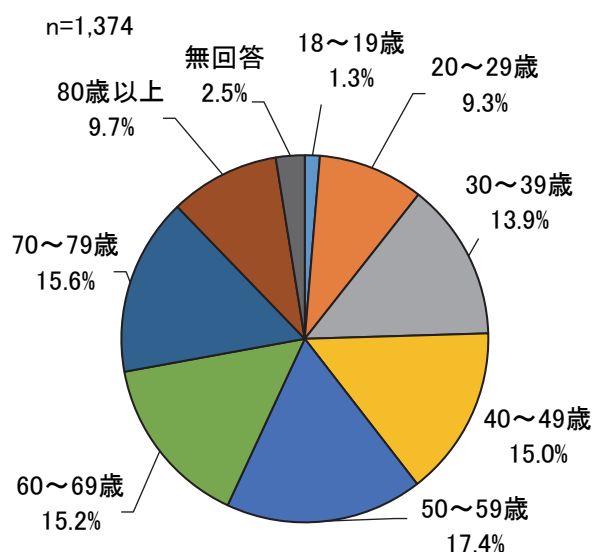
(イ) 性別

回答対象者(n=1,374)	集計値(件)	割合(%)
男	586	42.6
女	744	54.1
その他	2	0.1
無回答	42	3.1



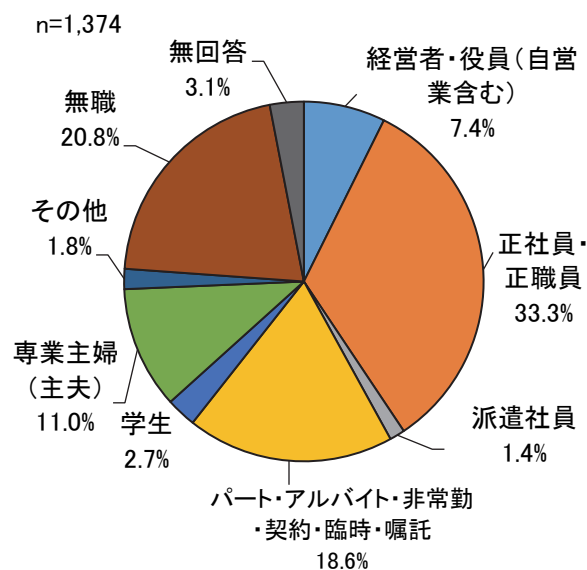
(ウ) 年齢

回答対象者(n=1,374)	集計値(件)	割合(%)
18～19歳	18	1.3
20～29歳	128	9.3
30～39歳	191	13.9
40～49歳	206	15.0
50～59歳	239	17.4
60～69歳	209	15.2
70～79歳	215	15.6
80歳以上	133	9.7
無回答	35	2.5



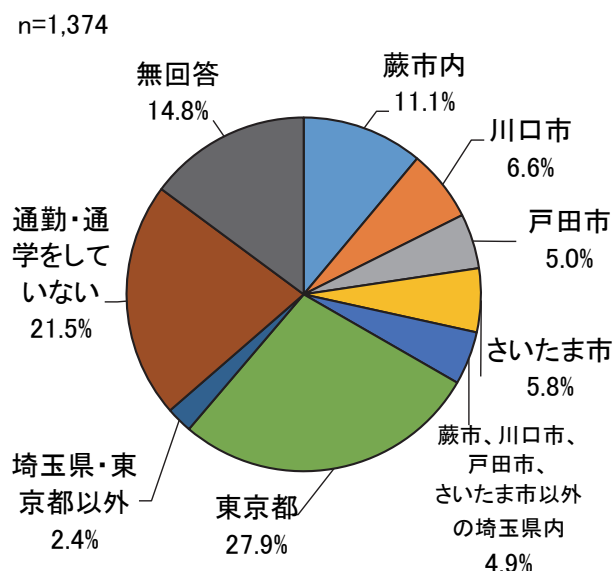
(工) 職業

回答対象者(n=1,374)	集計値(件)	割合(%)	順位
経営者・役員(自営業含む)	101	7.4	5
正社員・正職員	457	33.3	1
派遣社員	19	1.4	8
パート・アルバイト・非常勤・契約・臨時・嘱託	256	18.6	3
学生	37	2.7	6
専業主婦(主夫)	151	11.0	4
その他	25	1.8	7
無職	286	20.8	2
無回答	42	3.1	-



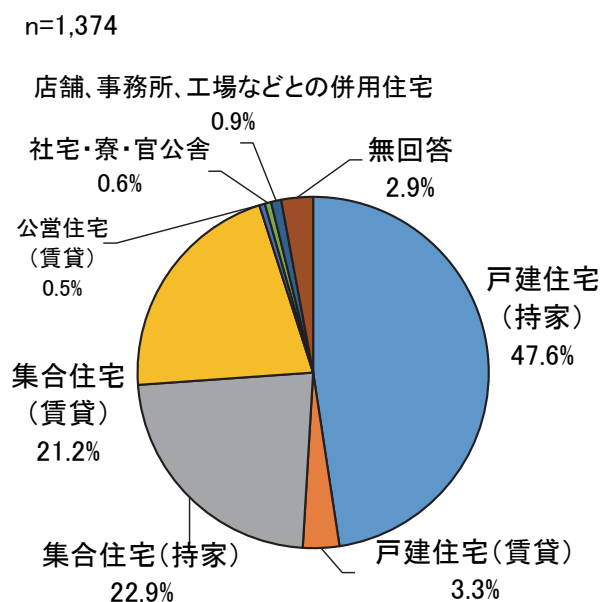
(オ) 通勤・通学地

回答対象者(n=1,374)	集計値(件)	割合(%)	順位
蕨市内	152	11.1	3
川口市	90	6.6	4
戸田市	69	5.0	6
さいたま市	80	5.8	5
蕨市、川口市、戸田市、さいたま市以外の埼玉県内	67	4.9	7
東京都	383	27.9	1
埼玉県・東京都以外	33	2.4	8
通勤・通学をしていない	296	21.5	2
無回答	204	14.8	-



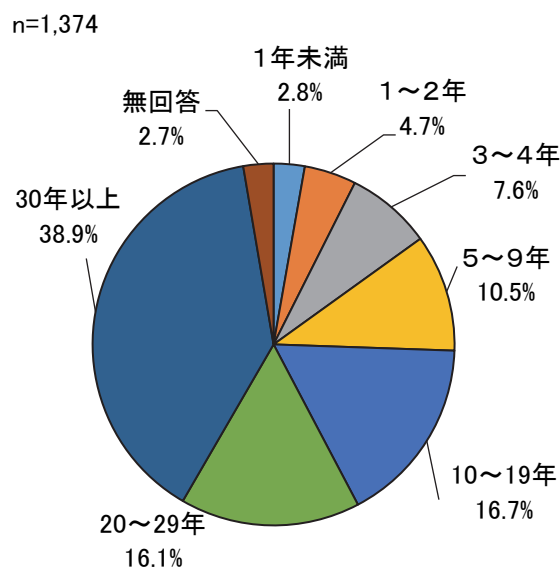
(カ) 住宅形態

回答対象者(n=1,374)	集計値(件)	割合(%)	順位
戸建住宅(持家)	654	47.6	1
戸建住宅(賃貸)	46	3.3	4
集合住宅(持家)	315	22.9	2
集合住宅(賃貸)	291	21.2	3
公営住宅(賃貸)	7	0.5	7
社宅・寮・官公舎	8	0.6	6
店舗、事務所、工場などの併用住宅	13	0.9	5
無回答	40	2.9	-



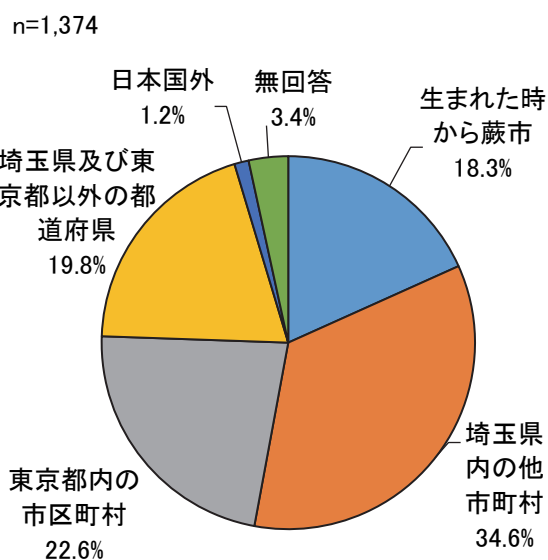
(キ) 居住年数

回答対象者(n=1,374)	集計値(件)	割合(%)	順位
1年未満	38	2.8	7
1～2年	64	4.7	6
3～4年	105	7.6	5
5～9年	144	10.5	4
10～19年	230	16.7	2
20～29年	221	16.1	3
30年以上	535	38.9	1
無回答	37	2.7	-



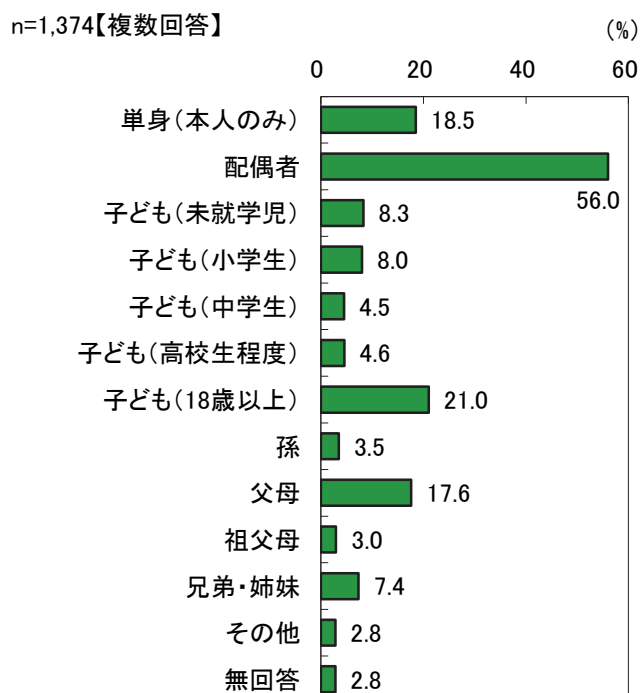
(ク) 蕨市に住む以前の状況

回答対象者(n=1,374)	集計値(件)	割合(%)	順位
生まれた時から蕨市	251	18.3	4
埼玉県内の他市町村	476	34.6	1
東京都内の市区町村	311	22.6	2
埼玉県及び東京都以外の都道府県	272	19.8	3
日本国外	17	1.2	5
無回答	47	3.4	-



(ケ) 家族構成

回答対象者(n=1,374)	集計値(件)	割合(%)	順位
単身(本人のみ)	254	18.5	3
配偶者	769	56.0	1
子ども(未就学児)	114	8.3	5
子ども(小学生)	110	8.0	6
子ども(中学生)	62	4.5	9
子ども(高校生程度)	63	4.6	8
子ども(18歳以上)	289	21.0	2
孫	48	3.5	10
父母	242	17.6	4
祖父母	41	3.0	11
兄弟・姉妹	101	7.4	7
その他	39	2.8	12
無回答	39	2.8	-



**新たな「将来ビジョン」策定に向けた市民意識調査報告書**

令和5年3月

蕨市 総務部 政策企画室

〒335-8501 埼玉県蕨市中央5丁目14番15号

TEL 048-433-7698